



第68回 The 68<sup>th</sup> Annual Meeting of the Japanese Society for Virology

# 日本ウイルス学会学術集会

Program Book

2021.11.16 Tue → 18 Thu

神戸国際会議場

Kobe International Conference Center

会長 森 康子 Yasuko Mori

神戸大学大学院医学研究科附属感染症センター臨床ウイルス学分野  
Division of Clinical Virology, Center for Infectious Diseases  
Kobe University Graduate School of Medicine

ウイルスの神秘を探る

- Illuminating the Depths of Virology -



URL:<http://web.apollon.nta.co.jp/jsv68/>



あなたの  
研究をお手伝い  
します!



# 「研究機器オンライン」

# 「受託オンライン」



ワケンくん

気になる  
ワードで検索!

製品情報の充実  
随時・追加・更新を  
行っております。

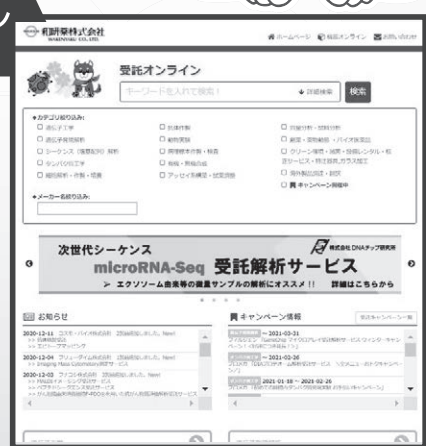
HPトップバナーから

HPトップから  
一目でラクラク  
検索だワン!



研究機器オンライン  
トップへ!

受託オンライン  
トップへ!



## 研究機器オンラインの特徴

- ▶ 研究用途に合わせた検索もラクラク!
- ▶ 予算申請の金額に合わせた検索もラクラク!
- ▶ 予算申請に便利  
…指定範囲の金額で検索が可能に!
- ▶ あのメーカーの製品を  
…フリーワード検索や  
メーカーの絞り込み検索も可能!

## 受託オンラインの特徴

- ▶ 遺伝子発現解析や抗体作製から  
病理標本作製まで幅広い受託サービスを掲載
- ▶ 研究用途から受託サービス検索  
…遺伝子工学、シーケンス解析、タンパク質工学などの  
カテゴリー検索!
- ▶ キャンペーン情報の確認も可能
- ▶ あのメーカーの受託サービスを  
…フリーワード検索やメーカーの絞り込み検索も可能!

 **和研薬株式会社**  
WAKENYAKU CO., LTD.

和研薬の研究機器オンライン・受託オンラインは、  
PC、スマートフォンやタブレット端末からアクセス!

WEBサイト  
随時更新中

<https://www.wakenyaku.co.jp>

和研薬

検索



和研薬ホームページ

第68回 日本ウイルス学会学術集会 市民公開講座

# これだけは知っておきたい 新型コロナウイルス感染症

2021年11月15日 13時30分-16時  
会場：神戸新聞松方ホール

**主 催** 第68回 日本ウイルス学会学術集会  
**共 催** 神戸大学大学院医学研究科  
兵庫県  
神戸新聞社  
**協 賛** 株式会社三井住友銀行

座長  
杉村 和朗 氏 兵庫県病院局病院事業管理者

開会の挨拶  
齋藤 元彦 氏 兵庫県知事

講演1  
森 康子 氏 神戸大学大学院医学研究科 附属感染症センター 臨床ウイルス学分野  
教授

「新型コロナウイルス感染症 ―ワクチンと免疫―」

講演2  
有井 潤 氏 神戸大学大学院医学研究科 附属感染症センター 臨床ウイルス学分野  
特命准教授、卓越研究員

「コロナウイルスについて知っておくべきこと」

講演3  
岩田 幸代 氏 兵庫県立加古川医療センター 循環器内科部長・院内感染対策委員長

「新型コロナウイルス感染症時代における医療現場の工夫と課題」

講演4  
山下 輝夫 氏 兵庫県健康福祉部 感染症等対策室長

「兵庫県の新型コロナウイルス感染症対策」

閉会の挨拶  
杉村 和朗 氏 兵庫県病院局病院事業管理者

# 目次／Contents

ご挨拶／Welcome Message	2
開催概要／Summary of JSV 2021	4
交通案内図／Access Map	7
会場案内図／Floor Map	9
参加者へのご案内／General Information	11
座長・発表者へのご案内／Guidelines for Chairs／Presenters	19
日本ウイルス学会各種会議	23
歴代日本ウイルス学会会長・理事長（総務幹事）	24
日本ウイルス学会杉浦奨励賞受賞者一覧	25
日程表／Program at a Glance	26
プログラム／Program	29
Keynote Lecture	31
Nobel Prize Memorial Lecture	32
教育講演	32
Symposium	33
共催シンポジウム	39
Mini Symposium	40
杉浦奨励賞受賞講演	42
日本小児科学会、日本皮膚科学会 専門医共通講習	43
共催セミナー	44
モーニングセミナー	45
Oral Sessions	46
Poster Sessions	91
協賛企業・団体一覧／Sponsorship	110

## 会長挨拶

第68回日本ウイルス学会学術集会を、2021年11月16日(火)~18日(木)の3日間、ハイブリッド形式で神戸国際会議場において開催させて頂くこととなりました。本学術集会は昨年開催予定でしたが、COVID-19パンデミックの影響を受け、延期させて頂きました。皆様に大変ご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

ウイルス感染症の歴史を考えると、それは紀元前に遡ります。宿主にとってウイルスは脅威ではありますが、時には必要な存在なのかもしれません。長い歴史における進化の過程で、ウイルスは自身の遺伝子変異に加えて、宿主と共存する、という道も選びました。そんなウイルスの生存戦略、つまり、巧妙な手口を紐解くことで、生命の謎にも迫っていくことができるのではないかと考えます。そこで、今回は、学会メインテーマを「ウイルスの神秘を探る-illuminating the depths of virology-」としました。

新たなウイルスは突如出現し、そして時には大流行を引き起こし、生命体を脅かします。研究が発展し、たとえ既存のウイルスを駆逐することができても、未知のウイルスがまた出現するでしょう。COVID-19パンデミックは、世界を恐怖に陥れ、世の中を大きく変えることになりました。科学は進歩しても、ウイルス感染症がこの世界から消え去ることはないでしょう。ウイルス学研究の深遠を感じます。

一方で科学の進歩は、ウイルス学の歴史を大きくプラスにも変動させていきます。本学術集会では、ノーベル賞受賞記念講演を企画し、Michael Houghton博士およびCharles M Rice博士にC型肝炎ウイルスについてご講演頂きます。さらに、Keynote lectureとしてDavid M Knipe博士にヘルペスウイルスについてご講演頂きます。そこで関連するシンポジウムとして「C型肝炎ウイルス」および「持続感染ウイルス」を企画しました。

文部科学省新学術領域研究「ネオウイルス学」との共催により、国際シンポジウムを開催します。さらに、初めての取り組みとして日本臨床ウイルス学会との共催シンポジウム「COVID-19-基礎から臨床まで-」を行います。また、日米医学ウイルス性疾患専門部会共催による国際シンポジウム「Emerging Virus Infections: Pathogens, pathogenesis, and pathophysiology」を開催し、海外からの著名な研究者に、最新の新興・再興感染ウイルス感染症についてご講演頂きます。さらに、教育講演、ミニシンポジウムや緊急セッションとして「新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)」を開催いたします。また、神戸大学大学院医学研究科、兵庫県および神戸新聞の共催により市民公開講座「これだけは知っておきたい新型コロナウイルス感染症」を開催いたします。

シンポジウムは、会場での対面式を予定しております。一般口演およびポスターセッションはWEB発表とし、オンデマンド配信といたしますが、WEBでのリアルタイムディスカッションを行います。WEB懇親会も企画しております。

本学術集会は、国内外の研究者が一堂に会し、ウイルス学の基礎から応用に関する研究成果を熱く議論できる場所と考えております。ウイルス学を基礎、臨床を含めた多方面から議論することで、疑問の解決や新たな発想を導き出せる貴重な機会であると信じております。ご参加頂き、活発な議論をお願い申し上げます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

# Welcome Message

I am delighted to announce that the 68th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology will be held at Kobe International Conference Center in a hybrid format from November 16th, 2021 (Tue) to November 18th, 2021 (Thu). This academic meeting was originally scheduled to be held last year, but it was postponed due to the COVID-19 pandemic. We sincerely apologize for the inconvenience caused.

The first example of disease attributed to a virus dates back to B.C. While it is true that viruses can be threatening to their hosts, as viruses have coevolved with their hosts, they have also helped to shape host evolution. Thus, elucidating strategies for virus survival may also lead to illumination and understanding of host processes. For this reason, “Illuminating the Depths of Virology” was chosen as the theme of this annual meeting.

Unknown life-threatening viruses like SARS-CoV-2 can emerge suddenly. However, even if existing viruses are eradicated, newer, as-yet-unknown viruses will continue to surface. We recognize that infectious disease will not disappear and that virology will always be important in the world.

On the other hand, advances in science have greatly changed the history of virology. At this academic meeting, to commemorate the awarding of the 2020 Nobel Prize, Dr. Michael Houghton and Dr. Charles M Rice will lecture on Hepatitis C virus. The keynote lecture will be given by Dr. David M Knipe, who will lecture on herpesvirus. These plenary lectures tie together our two symposia, “Hepatitis C virus” and “persistent infections”.

During this annual meeting, we plan to organize an international symposium by co-hosting the meeting with the research program “Neovirology”, supported by the Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas from the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of the Japan and Japanese Society of Microbial Ecology, a symposium by co-hosting with Japanese society of clinical virology titled ‘COVID-19-from Basic to Clinical-’, and an international symposium by co-hosting with US-Japan Cooperative Medical Science Program (USJCMP), Viral Disease Panel, titled ‘Emerging Virus Infections: Pathogens, pathogenesis, and pathophysiology’ focused on emerging and reemerging infectious diseases.

In addition, we plan to hold an educational lecture, a mini-symposium, and an emergency session on SARS-CoV-2.

The symposium will be in person at the venue. The sessions for oral and poster presentations will be virtual, with real-time discussions, and the presentations will also be delivered virtually, on demand.

We hope that this annual meeting will provide an opportunity for domestic and foreign researchers in virology to gather in one place and discuss their recent data encompassing basic, epidemiological and clinical researches on various viruses. It is our sincere hope that all of you will participate. We would be extremely delighted for you to come to the meeting and while you are here.

We look forward to seeing you at the meeting!

第68回日本ウイルス学会学術集会

会長 森 康子

神戸大学大学院医学研究科附属感染症センター 臨床ウイルス学分野教授

Yasuko Mori, M.D., Ph.D.

Chairperson, The 68th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology

Professor, Division of Clinical Virology, Center for Infectious Diseases,

Kobe University Graduate School of Medicine



## 開催概要

### 第68回日本ウイルス学会学術集会

会期 2021年11月16日(火)~18日(木)

会場 神戸国際会議場

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1

会長 森 康子 (神戸大学大学院医学研究科附属感染症センター 臨床ウイルス学分野 教授)

テーマ ウイルスの神秘を探る (Illuminating the Depths of Virology)

運営委員長 有井 潤 (神戸大学)

### プログラム委員

委員長 勝二 郁夫 (神戸大学)

阿部 隆之 (神戸大学)

相崎 英樹 (国立感染症研究所)

浅田 秀夫 (奈良県立医科大学)

有海 康雄 (熊本大学)

石橋 和大 (農業・食品産業技術総合研究機構)

伊藤 嘉規 (名古屋大学)

伊藤 直人 (岐阜大学)

一戸 猛志 (東京大学)

岩崎 正治 (大阪大学)

浦田 秀造 (長崎大学)

大野 真治 (琉球大学)

岡本 徹 (大阪大学)

小澤 真 (鹿児島大学)

加藤 哲久 (東京大学)

神谷 亘 (群馬大学)

亀岡 正典 (神戸大学)

川口 敦史 (筑波大学)

喜多村晃一 (国立感染症研究所)

河本 聡志 (藤田医科大学)

腰塚 哲朗 (岐阜薬科大学)

小林 郷介 (東京都医学総合研究所)

小林 剛 (大阪大学)

左近 直美 ((地独)大阪健康安全基盤研究所)

佐藤 佳 (東京大学)

佐藤 賢文 (熊本大学)

櫻井 文教 (大阪大学)

下島 昌幸 (国立感染症研究所)

末永 忠広 (福島県立医科大学)

鈴木 忠樹 (国立感染症研究所)

武内 寛明 (東京医科歯科大学)

武本 眞清 (北陸大学)

多屋 馨子 (国立感染症研究所)

立川 (川名) 愛 (国立感染症研究所)

中山 英美 (大阪大学)

南保明日香 (長崎大学)

西村 順裕 (国立感染症研究所)

野田 岳志 (京都大学)

橋口 隆生 (京都大学)

日紫喜隆行 (神奈川県衛生研究所)

福原 崇介 (北海道大学)

本田 知之 (岡山大学)

牧野 晶子 (京都大学)

松尾 栄子 (神戸大学)

皆川 洋子 (愛知県衛生研究所)

Moi Meng Ling (東京大学)

村上 耕介 (国立感染症研究所)

森田 英嗣 (弘前大学)

村田 貴之 (藤田医科大学)

矢野 嘉彦 (神戸大学)

山根 大典 (東京都医学総合研究所)

山吉 誠也 (東京大学)

渡士 幸一 (国立感染症研究所)

渡辺 俊平 (岡山理科大学)

渡辺登喜子 (大阪大学)

## 共催

- 日米医学ウイルス性疾患専門部会  
「Emerging Virus Infections : Pathogens, Pathogenesis, and Pathophysiology」
- 文部科学省新学術領域研究「ネオウイルス学：生命源流から超個体，そしてエコ・スフィアへ」
- 日本臨床ウイルス学会
- 神戸大学大学院医学研究科附属感染症センター

## 学術事務局

神戸大学大学院医学研究科附属感染症センター臨床ウイルス学分野  
〒650-0017 神戸市中央区楠町7丁目5番1号

## 運営事務局

株式会社キョードープラス  
〒701-0205 岡山県岡山市南区妹尾2346-1  
TEL : 086-250-7681  
FAX : 086-250-7682  
E-mail : jsv68@kwcs.jp

株式会社日本旅行  
大阪法人営業統括部 MICE営業部  
〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-1  
山口玄ビル6階  
TEL : 06-4256-3869  
FAX : 06-6204-1763  
E-mail : jsv68@nta.co.jp

# Summary of JSV 2021

## The 68th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology

**Date** November 16 (Tue) - 18 (Thu), 2021  
**Venue** Kobe International Conference Center  
6-9-1, Minatojima-nakamachi, Chuo-ku, Kobe-shi, Hyogo,  
650-0046, Japan  
**Chairperson** Yasuko Mori  
(Professor, Division of Clinical Virology, Center for Infectious  
Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine)  
**Theme** Illuminating the Depths of Virology  
**Chairperson of the Steering Committee** Jun Arii

## Program Committee

<b>Chair</b> Ikuo Shoji		
Takayuki Abe	Satoshi Komoto	Takeshi Noda
Hideki Aizaki	Tetsuo Koshizuka	Takao Hashiguchi
Hideo Asada	Kyousuke Kobayashi	Takayuki Hishiki
Yasuo Ariumi	Takeshi Kobayashi	Takasuke Fukuhara
Kazuhiro Ishibashi	Sakon Naomi	Tomoyuki Honda
Yoshinori Ito	Kei Sato	Akiko Makino
Naoto Ito	Yorifumi Satou	Eiko Matsuo
Takeshi Ichinohe	Fuminori Sakurai	Hiroko Minagawa
Masaharu Iwasaki	Masayuki Shimojima	Moi Meng Ling
Urata Shuzo	Tadahiro Suenaga	Kosuke Murakami
Shinji Ohno	Tadaki Suzuki	Eiji Morita
Toru Okamoto	Takeuchi Hiroaki	Takayuki Murata
Makoto Ozawa	Masaya Takemoto	Yano Yoshihiko
Akihisa Kato	Keiko Tanaka-Taya	Daisuke Yamane
Wataru Kamitani	Ai Kawana-Tachikawa	Seiya Yamayoshi
Masanori Kameoka	Emi E. Nakayama	Koichi Watashi
Atsushi Kawaguchi	Asuka Nanbo	Watanabe Shumpei
Kouichi Kitamura	Yorihiko Nishimura	Tokiko Watanabe

## Co-Sponsor

- The AMED research grant for US-Japan Cooperative Medical Science Program (USJCMS).
- The research program "Neo-virology : the raison d'être of viruses" supported by Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas from the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan.
- The Japanese Society of Clinical Virology.
- Center for Infectious Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine

## Scientific Secretariat

Division of Clinical Virology, Center for Infectious Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine

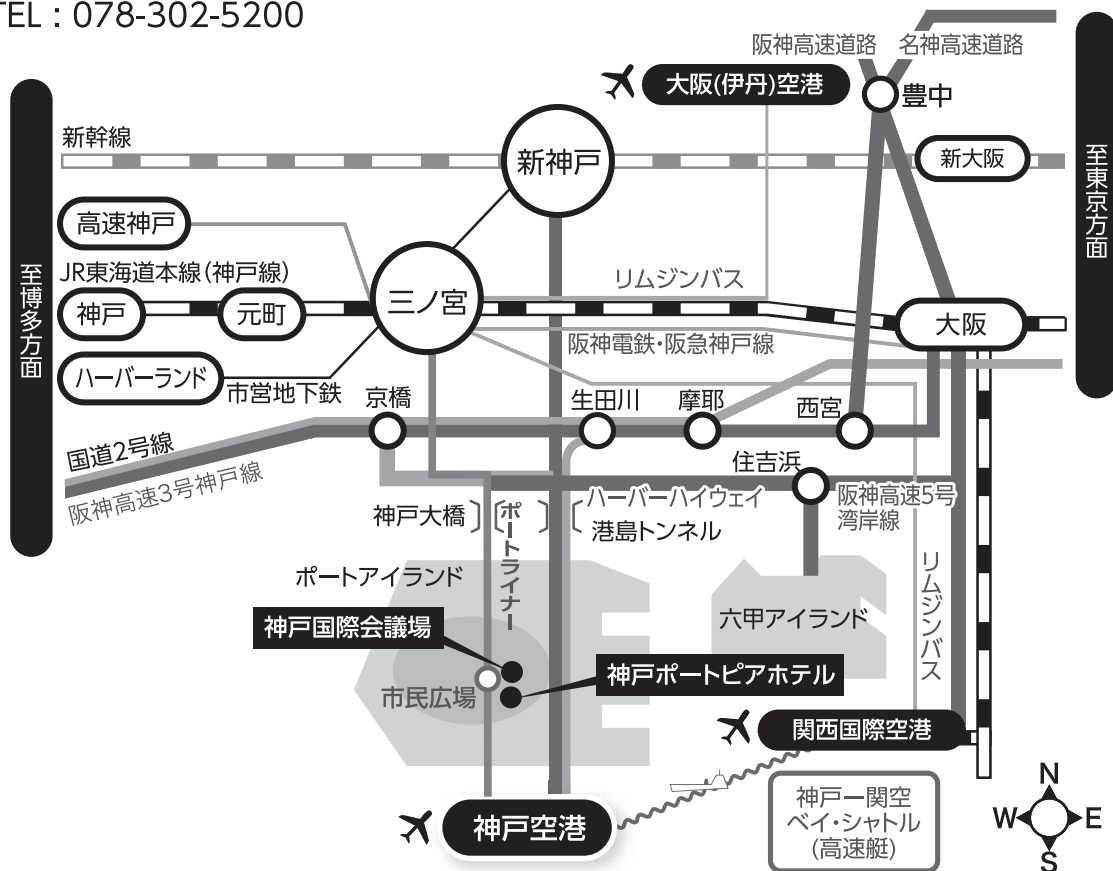
## Secretariat

Kyodo Plus Corporation  
2346-1 Senoo, Minami-ku, Okayama  
701-0205, JAPAN  
TEL : +81-86-250-7681  
FAX : +81-86-250-7682  
E-mail : jsv68@kwcs.jp

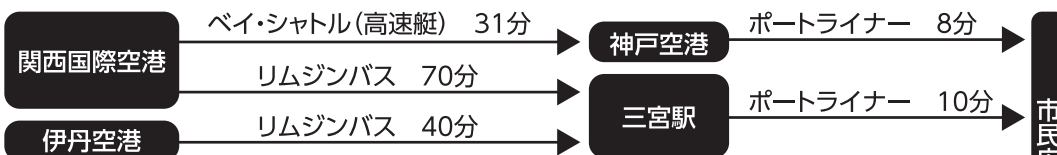
Osaka Corporate Sales Headquarters MICE Dept., Nippon  
Travel Agency Co., Ltd.  
Yamaguchigen Bldg. 6F, 3-4-1, Bingomachi, Chuo-ku,  
Osaka-City, Osaka, 541-0051 JAPAN  
TEL : +81-6-4256-3869  
FAX : +81-6-6204-1763  
E-mail : jsv68@nta.co.jp

# 交通案内図

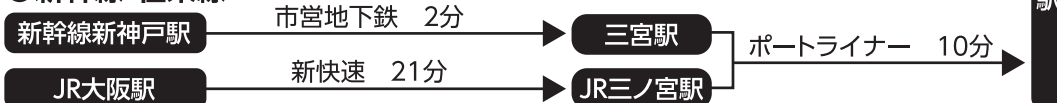
神戸国際会議場  
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1  
TEL : 078-302-5200



## ●飛行機



## ●新幹線・在来線



(時間は目安です)



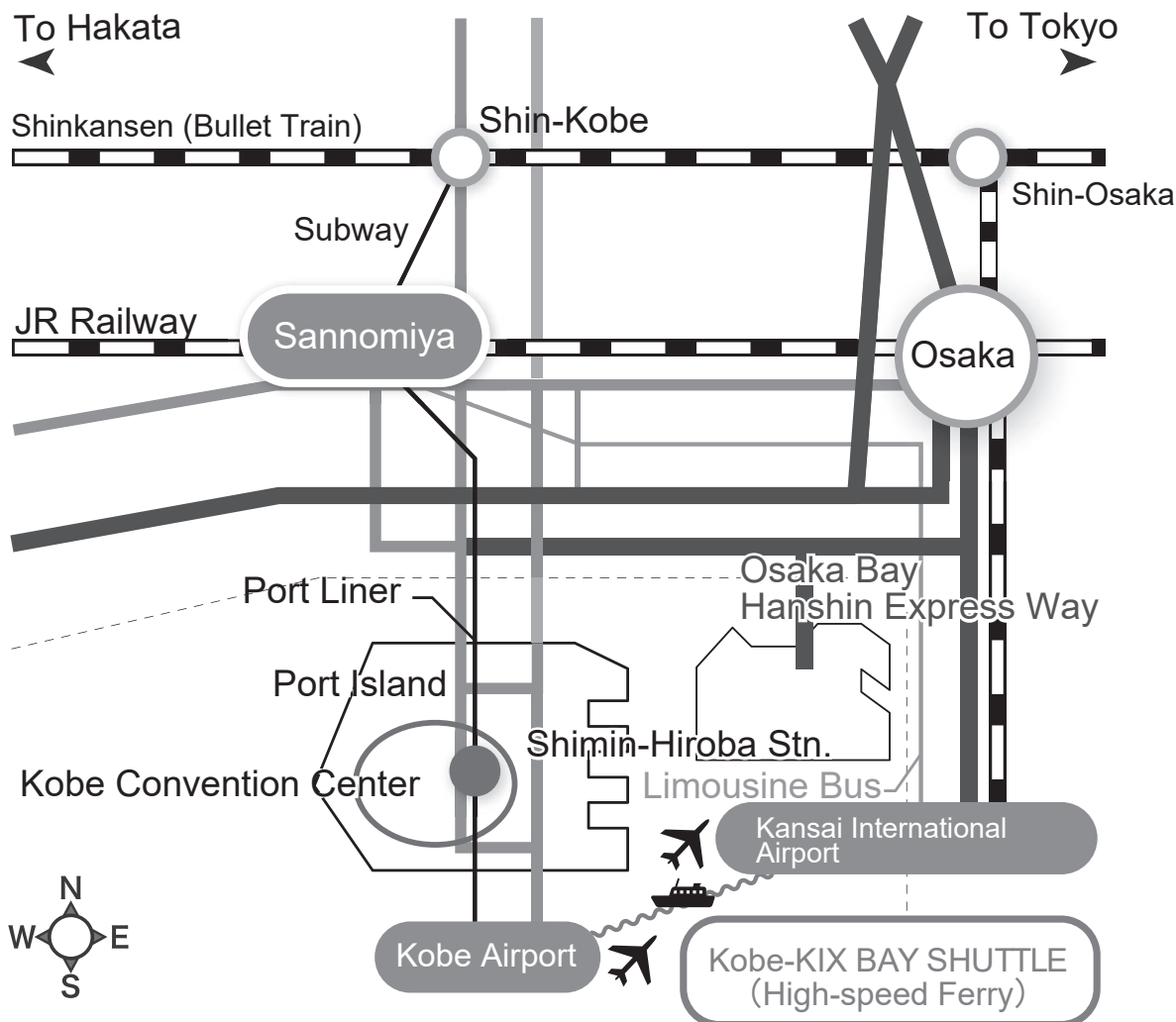
\*市民広場駅から会場入口までは5分程度かかります。  
お時間に余裕をもってお越しください。

会場へは公共交通機関をご利用ください。

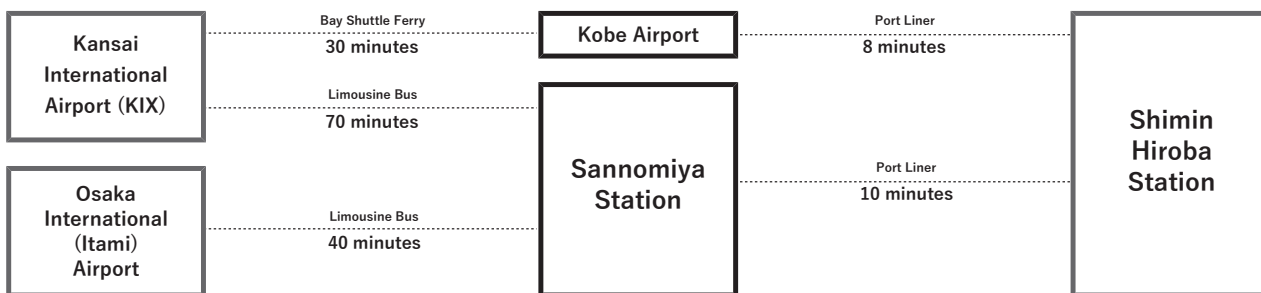
# Access Map

**Venue** Kobe International Conference Center

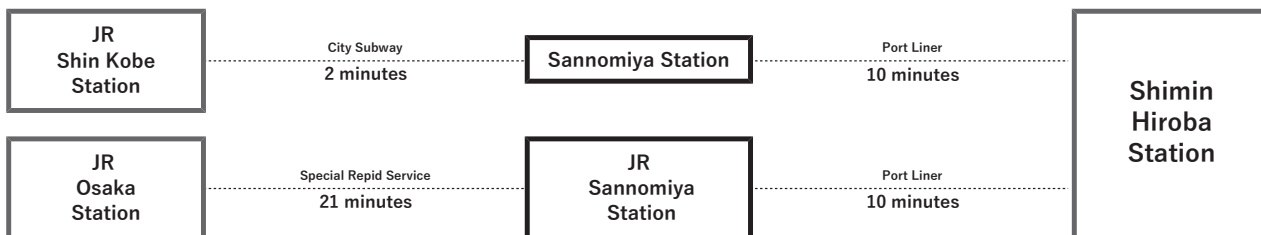
6-9-1, Minatojima-nakamachi, Chuo-ku, Kobe-shi, Hyogo, 650-0046, Japan



## By airplane

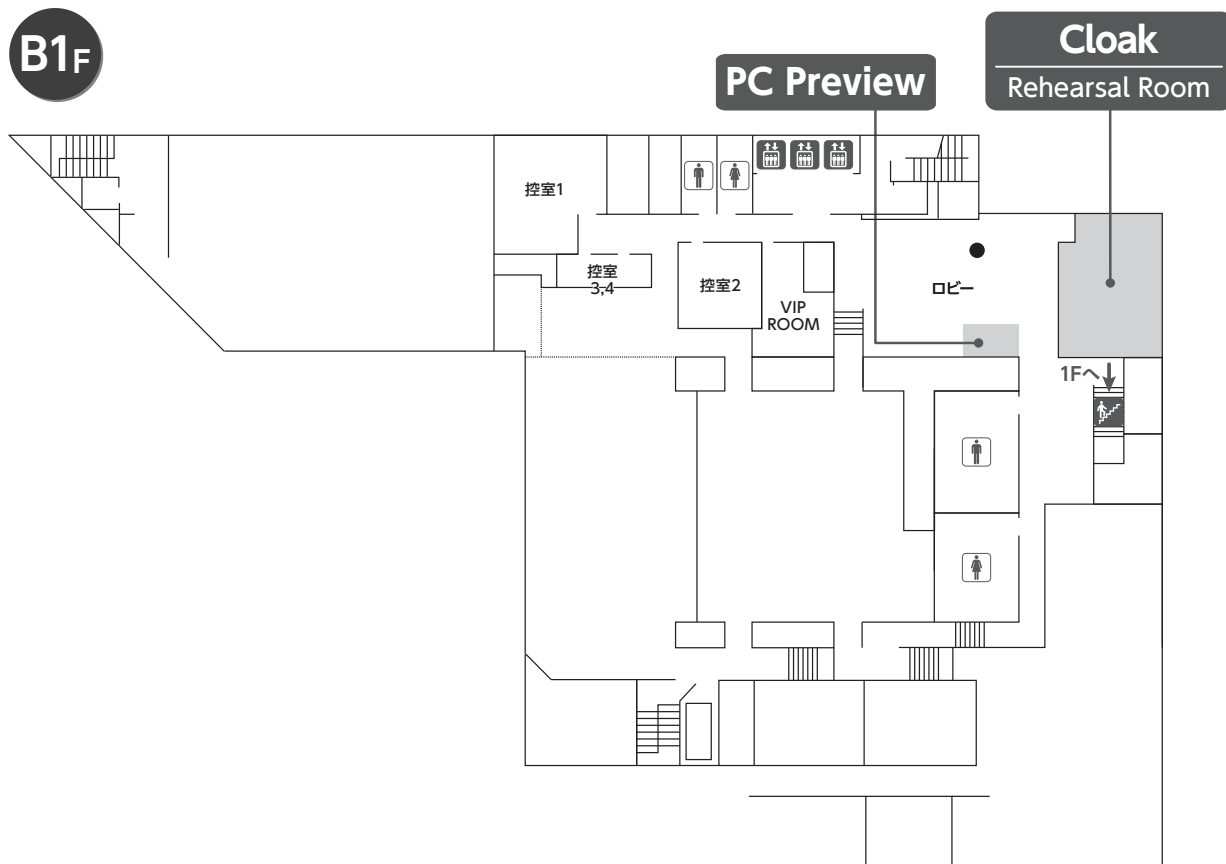


## By Shinkansen · Conventional lines

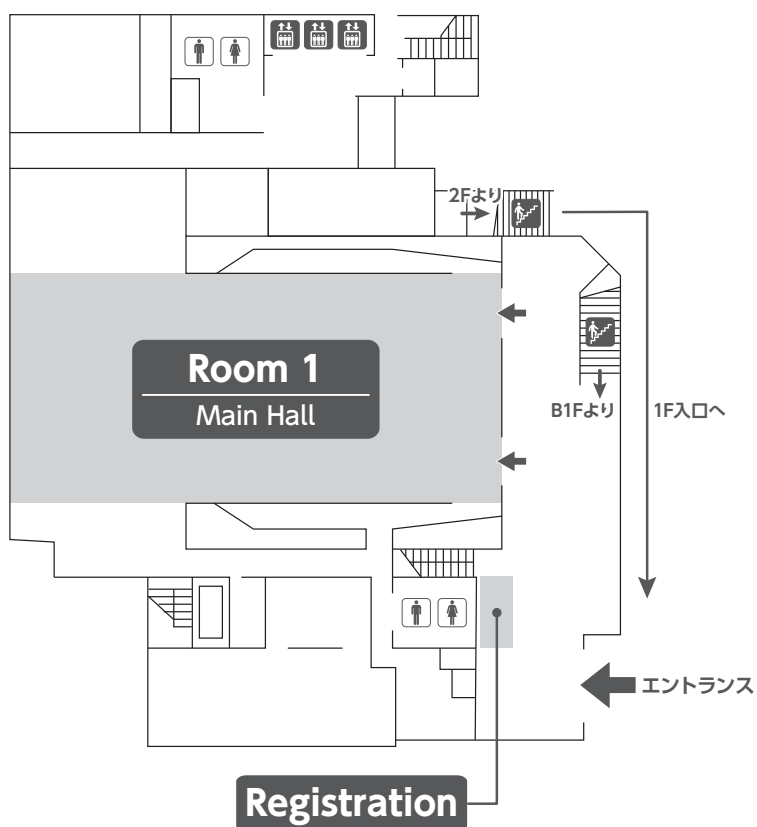


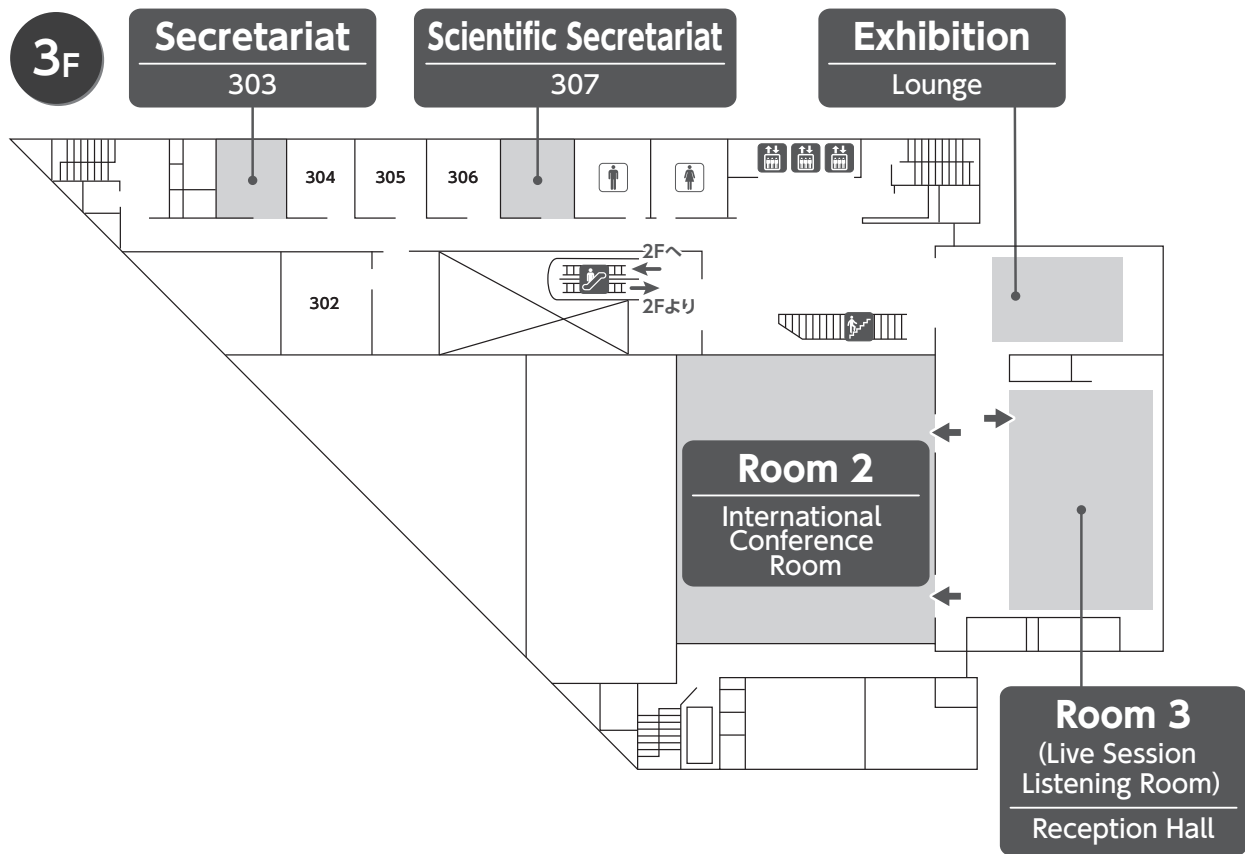
# 会場案内図 / Floor Map

B1F



1F





## 参加者へのご案内

第68回日本ウイルス学会学術集会は神戸国際会議場での現地開催（従来通り会場に来場してご聴講していただく形式）および、オンライン開催（インターネットを使用してライブ配信でご視聴していただく形式）とを併用するハイブリッド開催で実施いたします。

現地からもオンライン視聴可能でございますので、ご来場の際にはぜひ、ご自身のPCあるいはスマートフォンに適したイヤフォンを持参ください。

※会場内でのオンライン視聴には、イヤフォンをご使用頂くことが条件となります。

### 1. 参加登録

〈受付日時・場所〉

日付	時間	場所
11月17日(水)	8:30~17:30	神戸国際会議場 1F ロビー
11月18日(木)	7:30~15:00	

〈参加費〉

参加区分	当日参加登録（電子抄録含む）
会員	16,000円
学生会員*1	5,000円
非学会員	17,000円

\*1 学生会員：

学生会員は日本ウイルス学会の学生会員が対象となります。日本ウイルス学会に所属されていない学生の参加は、非学会員となりますのでご注意ください。

《事前参加登録がお済みの方》

- 事前参加登録区分（～10/15）にて参加費をお支払いいただいた方には、参加証（電子抄録のアクセス情報）を会期前にご登録の住所へ送付いたします。参加証は学術集会当日に必ずご持参ください。
- 事前発送は、ご登録の住所が国内の方を対象といたします。海外在住の方は、学術集会当日受付にてお渡しいたします。
- 事前（後期）参加登録区分（10/16～11/11）にて参加費をお支払いいただいた方の参加証（電子抄録のアクセス情報）は、現地参加の場合は会場にてお渡しさせていただきます。また、Web参加の方は電子抄録のアクセス情報を会期前にメールにてご連絡させて頂き、参加証は会期終了後郵送させていただきます。
- 参加証は、学術集会期間中、会場内では常時ご着用ください。参加証は再発行いたしませんのでご注意ください。なお、お忘れになった場合や紛失された場合には、再登録手続きが必要となります。

### 2. 電子抄録について

第68回日本ウイルス学会学術集会では電子抄録をご用意いたします。

事前登録手続きが完了された方には、会期前に電子抄録にアクセスできる「ID」「パスワード」をご連絡いたします。

大会当日は簡易プログラムを配布予定ですが、抄録の冊子は配布いたしません。

### 3. 日本ウイルス学会入会について

学術集会期間中、学会事務局窓口を設置いたします。入会、年会費お支払い、各種手続きが可能です。  
日本ウイルス学会事務局窓口：神戸国際会議場 1F ロビー

### 4. クローク

〈受付日時・場所〉

日付	時間	場所
11月17日(水)	8:30~20:00	神戸国際会議場 B1Fリハーサル室
11月18日(木)	7:30~18:10	

※傘や貴重品（財布・PCなど）のお預かりはいたしかねます。

### 5. 共催セミナー・モーニングセミナー

第68回日本ウイルス学会学術集会では、以下の共催セミナーおよびモーニングセミナーを予定しています。

事前参加登録をされ、現地参加でお弁当のお申込みをされた方には、事前に共催セミナー整理券をお送りしておりますので、ご持参ください。

事前（後期）参加登録区分で共催セミナー整理券のお申込みをされた方は、受付で参加証と整理券をお受け取り下さい。

※整理券の当日配布分はございません。

※整理券はセミナー開始と同時に無効となりますので、開始時刻までに会場へお越しください。

※モーニングセミナー、共催セミナー3（WEB）の整理券はございません。

※お弁当を個別にご購入された方は、引換券とお弁当を引き換えていただき、3F レセプションホールなどでご飲食ください。

**共催セミナー1** 11月17日(水) 12:30~13:30 Room1 (1F メインホール)

〈日本語/対面/LIVE〉

「COVID-19流行下における小児感染症－おたふくかぜを中心に－」

座長：中山 哲夫（大村智記念研究所）

演者：西村 直子（江南厚生病院 こども医療センター）

共催：武田薬品工業株式会社

**共催セミナー2** 11月17日(水) 12:30~13:30 Room2 (3F 国際会議室)

〈日本語/対面/LIVE〉

「带状疱疹の最新知見を探る」

座長：渡辺 大輔（愛知医科大学医学部 皮膚科学講座）

演者：浅田 秀夫（奈良県立医科大学 皮膚科学教室）

共催：マルホ株式会社

**共催セミナー3（WEB）** 11月17日(水) 12:30~13:30

〈日本語/WEB配信/LIVE〉

「B型肝炎ウイルス治療の現状とその根絶に向けて」

座長：上田 佳秀（神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 消化器内科学分野）

演者：矢野 嘉彦（神戸大学医学部附属病院 消化器内科）

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

共催セミナー4 11月18日(木) 12:20~13:20 Room2 (3F 国際会議室)

〈日本語/対面/LIVE〉

「Varicella-zoster virus感染症：ワクチンによる感染症制御の成果と課題」

座長：尾崎 隆男（江南厚生病院 こども医療センター）

演者：吉川 哲史（藤田医科大学医学部 小児科学）

共催：一般財団法人 阪大微生物病研究会

モーニングセミナー 11月18日(木) 8:00~8:50 Room2 (3F 国際会議室)

〈英語/対面/LIVE〉

「Lethal and nonlethal small animal models of SARS-CoV-2 infection for evaluation of vaccines and therapeutics」

司会：林 俊英（株式会社イナリサーチ 営業部）

演者：Kempaiah Rayavara（Infectious Disease Research, Southern Research）

共催：株式会社イナリサーチ

## 6. 機器展示

日付	時間	場所
11月17日(水)	8:30~17:30	神戸国際会議場 3F ラウンジ
11月18日(木)	8:00~15:00	

## 7. 注意事項・呼び出し

- 会場内では、発表スライドなどの写真撮影、ビデオ撮影、および録音は禁止いたします。
- 携帯電話は、マナーモードに設定をお願いいたします。
- 会場内は全て禁煙です。喫煙は所定の喫煙所をご利用ください。
- 会場内での伝言や呼び出しは、主催者が緊急と判断した場合を除き、原則行いません。  
受付付近に設置している掲示板をご利用ください。掲示板に添付された用紙は、用件が済み次第、各自で撤去してください。

## 8. ライブ配信視聴について

- 1) WEB視聴で参加する場合も、学会への参加登録が必要です。
- 2) 事前登録を完了された方には、運営事務局より、WEB会場にログインするための接続ログイン情報とパスワードをご案内いたします。
- 3) ログインページは、参加登録者宛に事前にお送りしておりますご案内メール内のURLからアクセスできます。また、大会開始前には、インターネット接続が安定していることをご確認ください。  
Zoomアプリを更新して最新版としてご視聴ください。

[ライブ視聴いただく際の推奨OSとブラウザ]

OS ・バージョン Windows7 以上

・バージョンMacOS 10.9 以上

ブラウザ ・Internet Explorer 10 以上

・Microsoft Edge 最新版

・Mozilla FirefoxTne 最新版

・Mozilla Firefox 最新版

・Safari 最新版

・Google Chrome 最新版

- 4) ライブ配信期間：11月16日(火) 8:00~11月18日(木) 24:00
- 5) 各セッションは現地会場の進行に沿って配信されます。進行状況によっては時間が前後いたします。事後配信は行いません。  
一般演題(口頭発表およびポスター発表)は、11月16日(火) 8:00~11月18日(木) 24:00にオンデマンド配信され、期間中はいつでも視聴できます。
- 6) ライブセッションは、Zoom Webinarで配信されます。事前にZoomアプリをインストールしてください。  
ライブ配信中に、Zoom Webinarの「Q&A」機能を使って質問を投稿することができます。
- 7) 11月16日(火)のライブディスカッションについてはZoomのブレイクアウトルームを使って開催致します。  
発表者・参加者が直接ディスカッションいただけます。  
※個人情報の保護について  
パソコン、タブレット、スマートフォンなど、あらゆる機器を使った写真やスクリーンショットの撮影、資料のダウンロードは固く禁じられています。禁止行為が確認された場合は、厳正に対処いたします。  
本会で知り得た個人情報を、本人・団体の許可なく拡散することを禁止します。
- 8) 会場内でWEB視聴される場合には、Room3(ライブセッション視聴室)にてイヤホンを使用のうえ、ご視聴ください。  
(飲食可、会話禁止)
- 9) 日本小児科学会、日本皮膚科学会専門医共通講習について、WEB視聴の場合はZoomの視聴ログから受講管理をいたします。  
セッション開始5分以降の入室、途中退出は単位付与の対象外となります。

## 9. 第372回ICD講習会

日 時：2021年11月18日(木曜日) 16:00~17:30

会 場：Room1 (1F メインホール)

開催形式：現地開催

テ ー マ：新型コロナワクチン

司 会：竹田 誠(国立感染症研究所)

演 者：1. コロナワクチンについて

白戸 憲也(国立感染症研究所)

2. コロナワクチンの有効性と安全性

多屋 馨子(国立感染症研究所)

3. コロナワクチン接種の実際

三崎 貴子(川崎市健康安全研究所)

※ICD講習会参加には事前に申し込みが必要です。

ICD制度協議会ホームページよりお申し込みください。

# General Information

The 68th Annual Meeting of the Japanese Society of Virology will be held locally at the Kobe International Convention Center (as usual, you will come to the venue to listen to it) and online you can watch the Live via Internet (We will hold a hybrid event in combination with the format).

You can also watch The Live online from the site, so please bring earphones suitable for your PC or smartphone when you come to the venue.

\* Earphones are required for online viewing in the venue.

## 1. Registration

《Opening hours/Location》

Date	Time	Location
November 17 (Wed)	8 : 30~17 : 30	1F Lobby
November 18 (Thu)	7 : 30~15 : 00	Kobe International Conference Center

《Registration Fee》

Category	Onsite Registration* 2
JSV Member	JPY 16,000
JSV Student Member*1	JPY 5,000
Non-JSV Member	JPY 17,000

\*1. Only student members of the Japanese Society for Virology are eligible. Students who do not belong to the Japanese Society for Virology are “Non-JSV members” .

\*2. Includes Online Presentation Search System Fee.

《Pre-registrants》

[Resident in Japan]

- Your name badge, which Includes an Online Presentation Search System ID/PW (only those who paid for it), will be sent to the registered mailing address before the meeting. Please be sure bring them to the meeting.

[Non-resident in Japan]

- Your name badge (only those who paid for it) will be given at the meeting venue. Please come to the registration desk with your registration ID.
- An Online Presentation Search System ID/PW (only those who paid for it) will be sent to the registered e-mail address before the meeting.
- Name badges issued at the registration desk must be worn for admittance to all sessions.
- Name badges will not be re-issued.

## 2. Online Presentation Search System

The 68th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology will offer an official JSV meeting application, which will allow participants to look up presentations and manage their own schedules.

\*The ID and the password for using Online Presentation Search System will be sent to your registered e-mail address prior to the meeting.

\*We will not prepare an abstract book, but a program book will be provided to participants.

### 3. Application for membership to the Japanese Society for Virology (JSV)

Membership registration is available at the meeting venue.

Reception Desk of JSV : Kobe International Conference Center 1F Lobby

### 4. Cloak

〈Opening hours/Location〉

Date	Time	Location
November 17 (Wed)	8 : 30~20 : 00	B1F Rehearsal Room
November 18 (Thu)	7 : 30~18 : 10	Kobe International Conference Center

\*Please note that umbrellas or valuable items (Computer, wallets, etc...) cannot be accepted.

### 5. Co-Sponsored Seminar • Morning Seminar

Those who have registered in advance and applied for a box lunch for on-site participation will receive a numbered ticket for the co-hosted seminar in advance, so please be sure bring it.

Those who have applied for a numbered ticket for the co-sponsored seminar in the advance Onsite registration category should receive a registration card and numbered ticket at the registration desk.

※There will be no numbered tickets distributed on the day.

※There will be no numbered tickets for Morning Seminar and Co-sponsored Seminar 3.

※For those who have purchased individual lunch boxes, please exchange the exchange ticket for the boxed lunch and eat or drink at the reception hall on the 3rd floor.

Co-Sponsored Seminar 1 November 17 (Wed) 12 : 30~13 : 30 Room1 (1F Main Hall)

〈Japanese/In-person/Live-streaming〉

「Mumps during the covid-19 outbreak」

Chair : Tetsuo Nakayama (Omura Satoshi Memorial Institute)

Speaker : Naoko Nishimura (Department of Pediatrics, Konan Kosei Hospital)

Co-Sponsor : Takeda Pharmaceuticals Co., Ltd.

Co-Sponsored Seminar 2 November 17 (Wed) 12 : 30 ~ 13 : 30 Room2 (3F International conference room)

〈Japanese/In-person/Live-streaming〉

「Explore the latest findings on herpes zoster」

Chair : Daisuke Watanabe (Department of Dermatology, Aichi Medical University School of Medicine)

Speaker : Hideo Asada (Department of Dermatology, Nara Medical University School of Medicine)

Co-Sponsor : Maruho Co., Ltd.

Co-Sponsored Seminar 3 (WEB) November 17 (Wed) 12 : 30~13 : 30

〈Japanese/On-line/ Live-streaming〉

「Current status of hepatitis B virus treatment and its eradication」

Chair : Yoshihide Ueda (Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Kobe University)

Speaker : Yoshihiko Yano (Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Kobe University)

Co-Sponsor : Gilead Sciences Inc.

Co-Sponsored Seminar 4    November 18 (Thu) 12 : 20 ~ 13 : 20    Room2 (3F International conference room)

〈Japanese/In-person/Live-streaming〉

「Varicella-zoster virus infection : Achievement of infection control by universal vaccination and future problems」

Chair : Takao Ozaki (Department of Pediatrics, Konan Kosei Hospital)

Speaker : Tetsushi Yoshikawa (Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine)

Co-Sponsor : The Research Foundation for Microbial Diseases of Osaka University (BIKEN)

Morning Seminar    November 18 (Thu) 8 : 00~8 : 50    Room2 (3F International conference room)

〈English/In-person/Live-streaming〉

「Lethal and nonlethal small animal models of SARS-CoV-2 infection for evaluation of vaccines and therapeutics」

Chair : Toshihide Hayashi (Ina Research Inc.)

Speaker : Kempaiah Rayavara (Infectious Disease Research Southern Research)

Co-Sponsor : Ina Research Inc.

## 6. Exhibition

Date	Time	Location
November 17 (Wed)	8 : 30~17 : 30	3F Lounge Kobe International Conference Center
November 18 (Thu)	8 : 00~15 : 00	

## 7. Important Notice

- Photographing, video recording and audio recording of presentations without prior permission are strictly prohibited.
- Please ensure that your mobile phone is set to silent mode during all sessions.
- Smoking is Not permitted anywhere other than in the designated outside smoking areas.
- There will be no paging services at the meeting venue except for emergency situations. Please use the message board near the registration desk.

## 8. How to participate the Live-streaming Congress

- 1) To participate Live-streaming Congress (online), pre-registration is required.
- 2) Those who completed pre-registration will receive a message from the Congress Secretariat that contains the connection log-in and password information to log in to the Live-streaming Congress.
- 3) The login page can be accessed by clicking on the URL in the information email sent to those who have registered in advance. Please also be sure to confirm your internet connection is stable before the Congress starts.

Please update your Zoom app to view the latest version.

- Recommended OS and browsers for the Live-streaming Congress

OS    • version Windows 7 or above

      • version MacOS 10.9 or above

Browsers    • Internet Explorer 10 or above

              • The latest version of Microsoft Edge

              • The latest version of Mozilla FirefoxTne

              • The latest version of Safari

              • The latest version of Google Chrome

- 4) Live-streaming period : from 8 : 00 on November 16 (Tue) to 24 : 00 on November 18 (Thu)
- 5) As with a physical meeting, each session will proceed in the order identified and maintain the schedule. You cannot watch any presentations if you miss the schedule.  
NO presentations will be on-demand streamed.  
※Oral presentations and Poster presentations will be posted on the Live-streaming Congress from 8 : 00 on November 16 (Tue) to 24 : 00 on November 18 (Thu) and available at any time during this period.
- 6) Live sessions will be streamed via the Zoom Webinar. Please install the Zoom app in advance. You can post your question using the Zoom Webinar's "Q & A" feature during live streaming. Session chairs reserves the right to pick up questions.
- 7) The live discussion on Tuesday, November 16 will be held in the Zoom breakout room.  
Direct discussion between presenters and participants  
※Note the Live-streaming Congress  
Protection of personal information  
Taking of photos or screenshots using any device including computers, tablets and smartphones and downloading any materials are strictly prohibited. We will deal with the matter strictly when any prohibited actions are confirmed.  
Spreading any personal information which you learn from this Congress without the permission of the person/organization is strictly prohibited.
- 8) Please use earphones in Room 3 (Live Session Listening Room) when watching the webcast in the venue.  
(Eating and drinking are allowed.No conversation)

## 座長・発表者へのご案内

### 座長の方へ

- セッション開始15分前までに、各セッション会場内右手前方の次座長席にお越しください。
- セッション時間を厳守した進行をお願いいたします。

### 演者の方へ

#### 1. 発表時間

セッション詳細につきましては別途、事務局よりご連絡いたします。

※次演者は、前演者が登壇されましたら、会場内左手前方の次演者席にお越しください。

#### 2. 発表言語

[英語] Keynote Lecture, Nobel Prize Memorial Lecture, Symposium 1・2・4, Mini Symposium 2・3, Morning Seminar

[日本語] 教育講演、シンポジウム 3・5、ミニシンポジウム 1・2・3、共催シンポジウム、共催セミナー 1～4

#### 3. PC受付・発表データ作成について

- 会場には、以下のPCをご用意いたします。

OS：Windows 10

アプリケーションソフト：Windows 版 PowerPoint

※PC本体のお持込みは出来ません。

- 発表セッション開始30分前までに、PC受付にて試写・動作確認を行ってください。

#### ◆ご発表データについて

- 発表データはWindows PowerPointのみとし、USBメモリのメディアにてご持参ください。

- 発表データのファイル名は、「演題番号、氏名」をご入力ください。

例：「W-1-01\_〇〇〇〇.ppt」もしくは、「W-1-01\_〇〇〇〇.pptx」

フォント：OS (Windows10) 標準

※上記以外のフォントを使用されますと正常に表示されない場合がございます。

- メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新ウイルス駆除ソフトでチェックしてください。

- セッションの進行に影響が出るため、発表者ツールは使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。

- お預かりいたしました発表データは、学会終了後、責任を持って消去いたします。

#### 《PC受付日時・場所》

日付	時間	場所
11月17日(水)	8:30~17:30	神戸国際会議場 B1F ロビー
11月18日(木)	7:30~15:00	

#### 4. 利益相反 (COI) 開示

- 口演発表時には、利益相反 (COI) 開示が必須となります。

- 利益相反 (COI) の開示も発表スライド内に必ず含めてください。

※利益相反 (COI) に関する詳細は、本ページ最下部をご確認ください。

## 一般口演・ポスター発表の演者の方へ

### 1. 発表時間

- 一般口演・ポスター発表は全ての演題がウェブ上でのオンデマンド配信を行います。  
オンデマンド配信期間：2021年11月16日(火)～18日(木)
- 座長をおいての発表・討論は行いません。
- 11月16日(火)の所定の時間にZoomを使用したライブディスカッションを実施いたします。  
発表者の方は、事前に案内のあった時間にWEB配信システムからZoomにログインいただき待機いただきますようお願いいたします。  
また、Zoomによるライブディスカッション時間以外にもWEB会議ツール”Remo”を用いたフリーディスカッションがWEB上で可能です。

### 2. 発表言語

英語または日本語

### 3. ポスター賞

ポスター賞を選出いたします。受賞者の発表は17日に発表し、18日の閉会式で表彰式を行います。

### 4. 利益相反 (COI) 開示

- 口演・ポスター発表時には、利益相反 (COI) 開示が必須となります。
- 利益相反 (COI) の開示もポスター内に必ず含めてください。

## オンラインにて講演を希望される方へ

- ログイン用ZoomURLは11月12日までに運営事務局からご連絡します。  
当日はセッション開始60分前にはログインいただきますようお願い申し上げます。
- 事前にPCにZoomアプリをダウンロードしておいてください。
- カメラは外付けまたはPC内蔵カメラをご使用ください。音声接続にはコンピュータのオーディオを使用し、イヤホン付きマイクまたはヘッドセットマイク等をご使用いただき、講演中・質疑中を除き、マイクはミュート (マイクオフ) にしてください。
- インターネット接続が安定していること、接続場所が静かな場所であることを確認してください。
- ご発表スライドは発表者ご自身にて画面共有をいただきご講演ください。  
その際、Webカメラがオンになっていることを確認してください。
- 質疑応答では、オンライン参加者からの質問があれば、座長が選択いたします。

# Guidelines for Chairs/Presenters

## For Chairs

- Please come to the session room and be seated at Next Chair's Seat in the front row 15 minutes before the start of your session.
- Please start the session at the appointed time.

## For Presenters

### 1. Presentation Time

Education Lecture/Symposium : as informed in advance

### 2. Presentation Language

[English] Keynote lecture, Nobel Prize Memorial Lecture, Symposium 1 · 2 · 4, Mini Symposium 2 · 3, Morning Seminar

[Japanese] Educational Lecture, Symposium 3 · 5, Mini Symposium 1 · 2 · 3, Co-Sponsored Symposium, Co-Sponsored Seminars 1~4

### 3. PC Preview/Presentation Data

- The PCs provided will be equipped with the followings :  
OS : Windows 10  
Application : Windows PowerPoint  
※ You cannot bring your own PC.
- Please check your presentation data at PC Preview Center 30 minutes prior to the start of your session.

#### ◆ For Presenters using Removable Media

- Presentation data must be in Windows PowerPoint and can only be accepted on USB flash memory.
- The title of your presentation file should be "your presentation code + your name". e.g. : W-1-01\_XXXX.ppt or W-1-01\_XXXX.pptx  
※ Your presentation code have been sent to you by e-mail in early October.
- OS-standard fonts are recommended such as ;  
[English] Arial, Arial Black, Arial Narrow, Century, Century Gothic, Courier, Courier New, Georgia, Times New Roman
- To avoid spread computer viruses, always scan your presentation files beforehand with updated anti-virus software.
- Please note that you cannot use PowerPoint' Presenter View function.
- Any copies of your presentation data which the Secretariat has received will be deleted after the meeting.

《PC Preview Center》

Date	Time	Location
November 17 (Wed)	8 : 30~17 : 30	B1F Lobby
November 18 (Thu)	7 : 30~15 : 00	Kobe International Conference Center

### 4. Disclosure of Conflict of Interest (COI)

- COI disclosure is required at both oral and poster presentation.
- Please report any conflict of interest (COI) in your presentation date.

\*For Details, please see the bottom of this page.

## For Oral and Poster Presenters

### 1. Presentation Time

- All oral and poster presentations will be made available on the web.
- On-demand delivery : November 16-18, 2021
- Presentation Style : Free Discussion Style
- There will be a real-time question and answer session using Zoom at a predetermined time.
- About presentation on 16th Nov, “Remo” free discussion also available Other than “Zoom” live discussion on the web site.  
Both of them Log-in to WEB streaming system is needed.  
\*Remo is online discussion service

### 2. Presentation Language

English or Japanese

### 3. Poster Award

The Poster Award will be selected. The winner will be announced on the 17th and the award ceremony will be held at the closing remarks on the 18th.

### 4. Disclosure of Conflict of Interest (COI)

- COI disclosure is required at both oral and poster presentation.
- You must report any conflict of interest (COI) in your presentation data.

## For Speakers Who Need to Participate Online

- Zoom meeting account will be informed by the Secretariat on or before November 12.
- For speakers who are presenting via Zoom, your talk will continue as scheduled. As with a physical meeting, each session will proceed in the order identified and maintain the schedule.
- The Zoom link will be the same for each presenter for each session.
- Prior to the Congress, please download Zoom App in your PC.
- Please use your webcam (external or built-in camera) and for audio connection, use your computer audio, ensure your microphone, headphone or speakerphone is near you, and mute your Zoom session or phone when not in use.
- Please also be sure to confirm your internet connection is stable and your connecting place is in quiet area.
- While you are presenting live, you will “Share” your screen or document. Please ensure that your webcam is on so that attendees can view you during your presentation.
- Question and Answer will follow each presentation. If there are any questions submitted by online participants, and the session chair will read it for speakers.
- Please plan to join the meeting 60 minutes early in case there are any issues that need to be worked out.

## 日本ウイルス学会各種会議

理事会	11月16日(火) 16:00~18:00	神戸ポートピアホテル サファイア (南館B1F)
評議員会	11月17日(水) 12:30~13:00	神戸国際会議場 4階 401会議室
総会	11月17日(水) 14:00~14:30	神戸国際会議場 メインホール (Room1)
新理事会	11月18日(木) 12:30~13:15	神戸国際会議場 4階 402会議室

## 歴代日本ウイルス学会会長・理事長（総務幹事）

回数(年度)	会長(所属)	理事長(所属)
第1回(1953)	谷口 腆二(大阪大学)	
第2回(1954)	越智 勇一(東京大学)	
第3回(1955)	谷口 腆二(大阪大学)	
第4回(1956)	寺田 正中(東京慈恵会医科大学)	
第5回(1957)	福士 貞吉(北海道大学)	
第6回(1958)	越智 勇一(東京大学)	
第7回(1959)	長野 泰一(東京大学)	
第8回(1960)	東 昇(京都大学)	
第9回(1961)	北岡 正見(国立予防衛生研究所)	
第10回(1962)	中村 淳治(日本生物科学研究所)	
第11回(1963)	釜洞醇太郎(大阪大学)	
第12回(1964)	渡辺 格(慶應大学)	
第13回(1965)	福見 秀雄(国立予防衛生研究所、長崎大学)	
第14回(1966)	植竹 久雄(京都大学)	
第15回(1967)	川喜田愛郎(千葉大学)	
第16回(1968)	日高 醇(九州大学)	
第17回(1969)	山田 守英(北海道大学)	
第18回(1970)	甲野 礼作(国立予防衛生研究所)	中村 淳治(日本生物科学研究所)
第19回(1971)	松本 稔(東京大学)	〃
第20回(1972)	深井孝之助(大阪大学)	甲野 礼作(国立予防衛生研究所)
第21回(1973)	笹原 二郎(農林水産省家畜衛生試験場)	〃
第22回(1974)	石田名香雄(東北大学)	〃
第23回(1975)	金光 正次(札幌医科大学)	〃
第24回(1976)	松本 利貞(名古屋大学)	植竹 久雄(京都大学)
第25回(1977)	奥野 良臣(大阪大学)	〃
第26回(1978)	田島 正典(日本生物科学研究所)	〃
第27回(1979)	多ヶ谷 勇(国立予防衛生研究所)	〃
第28回(1980)	加地 正郎(久留米大学)	石田名香雄(東北大学)
第29回(1981)	吉野亀三郎(東京大学)	〃
第30回(1982)	松本 清一(京都大学)	〃
第31回(1983)	加藤 四郎(大阪大学)	〃
第32回(1984)	中尾 亨(札幌医科大学)	豊島久真男(東京大学)
第33回(1985)	大谷 明(国立予防衛生研究所)	〃
第34回(1986)	鮎沢 啓夫(九州大学)	森 良一(九州大学)
第35回(1987)	日沼 頼夫(京都大学)	〃
第36回(1988)	豊島久真男(東京大学)	加藤 四郎(大阪大学)
第37回(1989)	高橋 理明(大阪大学)	〃
第38回(1990)	三浦謹一郎(東京大学)	本間 守男(神戸大学)
第39回(1991)	森 良一(九州大学)	〃
第40回(1992)	本間 守男(神戸大学)	吉倉 廣(国立感染症研究所、東京大学)
第41回(1993)	大里外誉郎(北海道大学)	〃
第42回(1994)	山内 一也(日本生物科学研究所)	〃
第43回(1995)	新居 志郎(岡山大学)	〃
第44回(1996)	石浜 明(国立遺伝学研究所)	山西 弘一(大阪大学)
第45回(1997)	畑中 正一(シオノギ医学研究所)	〃
第46回(1998)	吉倉 廣(国立感染症研究所、東京大学)	〃
第47回(1999)	永井 美之(東京大学、国立感染症研究所)	〃
第48回(2000)	神谷 齋(国立療養所三重病院)	倉田 毅(国立感染症研究所)
第49回(2001)	山西 弘一(大阪大学)	〃
第50回(2002)	喜田 宏(北海道大学)	〃
第51回(2003)	下遠野邦忠(京都大学)	〃
第52回(2004)	倉田 毅(国立感染症研究所)	永井 美之(富山県衛生研究所)
第53回(2005)	野本 明男(東京大学)	〃(理化学研究所)
第54回(2006)	西山 幸廣(名古屋大学)	野本 明男(東京大学)
第55回(2007)	上田 一郎(北海道大学)	〃
第56回(2008)	森島 恒雄(岡山大学)	〃
第57回(2009)	宮村 達男(国立感染症研究所)	〃
第58回(2010)	足立 昭夫(徳島大学)	柳 雄介(九州大学)
第59回(2011)	河岡 義裕(東京大学)	〃
第60回(2012)	生田 和良(大阪大学)	〃
第61回(2013)	堀田 博(神戸大学)	〃
第62回(2014)	岩本 愛吉(東京大学)	倉根 一郎(国立感染症研究所)
第63回(2015)	柳 雄介(九州大学)	〃
第64回(2016)	有川 二郎(北海道大学)	〃
第65回(2017)	松浦 善治(大阪大学)	〃
第66回(2018)	小柳 義夫(京都大学)	松浦 善治(大阪大学)
第67回(2019)	倉根 一郎(国立感染症研究所)	〃
(2020)	(COVID-19のため延期)	〃
第68回(2021)	森 康子(神戸大学)	〃

# 日本ウイルス学会杉浦奨励賞受賞者一覧

平成4年度	伊藤 正恵 (神戸大)	マウス病原性を支配するセンダイウイルス蛋白の同定とその機構の解析
	後藤 敏 (名古屋大)	ウイルスの臓器向性を規定する組織プロテアーゼの研究
平成5年度	小池 智 (東京都臨床医学総合研)	ポリオウイルスレセプターの分子生物学的研究
	永田 恭介 (東工大)	インフルエンザウイルスゲノムの転写・複製の分子機構
平成6年度	鶴見 達也 (名古屋大)	Epstein-BarrウイルスDNAポリメラーゼ複合体の生化学的研究
	松田 道行 (国立予研)	CT10レトロウイルスの癌遺伝子v-crkとそのヒト相同遺伝子CRKの機能解析
平成7年度	松浦 善治 (国立予研)	C型肝炎ウイルス遺伝子の発現と制御
	柳 雄介 (九州大)	麻疹ウイルスの感染および免疫抑制機構に関する研究
平成8年度	受賞者なし	
平成9年度	加藤 篤 (東大医科研)	センダイウイルス遺伝子操作系の確立と展開
	鈴木 信弘 (秋田県立農業短大生物工学研)	イネ委縮ファイトレオウイルス (RDV) ゲノムの構造およびゲノムにコードされた蛋白質の機能
	豊田 哲也 (久留米大)	インフルエンザウイルスRNAポリメラーゼの分子解剖
平成10年度	清野 透 (愛知県がんセンター研)	「高発がん性」ヒトパピローマウイルスE6による発がん機構の研究
平成11年度	北村 義浩 (国立感染研)	レトロウイルスの組み込み酵素に関する研究
平成12年度	小原 恭子 (東大医科研)	C型肝炎ウイルスの病原性発現機序の解析
平成13年度	川口 寧 (東医歯大難治研)	ヘルペスウイルス遺伝子発現制御因子の機能発現機構の解明
平成14年度	片野 晴隆 (国立感染研)	ヒトヘルペスウイルス8の感染病理学的研究
	朝長 啓造 (阪大微研)	ボルナ病ウイルスの持続感染と病態機序に関する研究
平成15年度	五藤 秀男 (東大医科研)	A型インフルエンザウイルスノイラミナーゼの新規機能に関する研究
平成16年度	櫻木 淳一 (阪大微研)	霊長類レンチウイルス粒子内ゲノム二量体化機構の解析
平成17年度	高田 礼人 (北大獣共通感染症リサーチセンター)	エボラウイルス表面糖蛋白質の機能解析
平成18年度	佐々木 潤 (藤田保健衛生大)	アイチウイルスの複製機構の解析
	下島 昌幸 (東大医科研)	ネコ免疫不全ウイルスの感染指向性に関する研究
	竹田 誠 (九州大)	麻疹ウイルス遺伝子操作系の確立と複製および病原性発現の分子基盤の解析
平成19年度	新矢 (田中) 恭子 (鳥取大)	インフルエンザウイルスの宿主適応機序解明に関する研究
	渡士 幸一 (京大ウイルス研)	ケミカルバイオロジーを利用したC型肝炎ウイルス細胞内動態の解析
平成20年度	大岡 静衣 (東大)	ポリオウイルスの体内伝播機構解析
	野田 岳志 (東大医科研)	ウイルス粒子形成機構の電子顕微鏡解析
平成21年度	入江 崇 (広島大)	エンベロープウイルスの粒子形成・出芽機構の解析
平成22年度	谷 英樹 (阪大微研)	ウイルスベクターの開発とウイルスの感染機構解析への応用
	松山 州徳 (国立感染研)	コロナウイルス細胞侵入機構の解明
平成23年度	阿部 隆之 (阪大微研)	ウイルス感染による宿主自然免疫応答の解析と感染制御への応用
	佐藤 賢文 (京大ウイルス研)	HTLV-1 bZIP Factor遺伝子による HTLV-1病原性発現機構の解析
	西村 順裕 (国立感染研)	エンテロウイルス71の感染機構に関する研究
平成24年度	有田峰太郎 (国立感染研)	抗エンテロウイルス化合物群の探索とそのウイルス感染阻害機構の解析
	河本 聡志 (藤田保健衛生大)	ロタウイルス遺伝子操作系の開発とそれを用いた外殻スパイク蛋白質VP4の解析
平成25年度	村田 貴之 (愛知県がんセンター研)	EBウイルス潜伏感染と再活性化の制御機構
	米田美佐子 (東大医科研)	パラミクソウイルスの病原性発現機序とワクチン開発の研究
平成26年度	一戸 猛志 (東大医科研)	インフルエンザウイルス認識機構とワクチン開発に関する研究
	鈴木 忠樹 (国立感染研)	JCウイルスのチャンネルタンパク質ピロポリンに関する研究
	本田 知之 (京大ウイルス研)	ボルナ病ウイルスの神経病原性に関する研究
平成27年度	加藤 哲久 (東大医科研)	単純ヘルペスウイルス1型 Us3プロテインキナーゼによる病態発現機構の解明
	佐藤 佳 (京大ウイルス研)	ヒト化マウスモデルを用いたウイルス感染病態の解明
	高橋 忠伸 (静岡県立大)	インフルエンザウイルスが結合する糖鎖分子の機能解明
平成28年度	岡本 徹 (阪大微研)	肝炎ウイルスと相互作用する宿主因子の解析
	川口 敦史 (筑波大)	インフルエンザウイルスゲノムの細胞内動態を制御する宿主因子の研究
	橋口 隆生 (九州大)	マイナス鎖RNAウイルスの細胞侵入と抗体による中和の研究
平成29年度	福原 崇介 (阪大微研)	C型肝炎ウイルスの感染指向性に関する研究
	山吉 誠也 (東大医科研)	RNAウイルスの増殖過程に寄与する宿主蛋白質の機能解析
	好井健太郎 (北海道大)	ダニ媒介性フラビウイルスの病原性発現機序に関する研究
平成30年度	有井 潤 (東大医科研)	単純ヘルペスウイルスの細胞侵入および粒子形成過程の解明
	石橋 和夫 (農研機構)	植物のウイルス防御機構に関する研究
	MOI MENG LING (長崎大)	デングウイルスに対するワクチン・治療法の開発のための評価系構築とそれを用いた発症メカニズムの解析
	浦田 秀造 (長崎大)	高病原性ウイルスの増殖機構の解明及びその創薬への応用
令和元年度	佐藤 好隆 (名古屋大)	Epstein-Barr ウイルス溶解感染における細胞内環境変化に関する研究
	杉田 征彦 (大阪大)	マイナス鎖RNAウイルスの構造に関する研究
令和2年度	加藤 大志 (国立感染研)	ムンプスウイルス増殖に関わる宿主因子の機能解析
	小林進太郎 (北大)	ウエストナイルウイルスの脳炎病態の形成機構の解明
	山本 浩之 (国立感染研)	サル免疫不全ウイルス複製に対する中和抗体のin vivo防御機序の解析
令和3年度	岩崎 正治 (阪大微研)	マイナス鎖RNAウイルスの増殖分子機構の解明とワクチン開発への応用
	佐々木道仁 (北大)	動物由来ウイルスの探索および性状解析
	古瀬 祐気 (京大)	実地・実験・理論にもとづくウイルス感染症の包括的理解

## November 16 (Tuesday)

※11月16日(火)のプログラムは全てWEBで行われます。  
 会場にはご入場いただけませんので、会場外からWEB視聴ください。  
 Live discussionと平行してRemoを用いたFree discussionも行います。  
 17:30からのオンライン懇親会にもご参加ください。

	WEB ONLY (Zoom)	WEB ONLY (Remo)
10:00	<b>Live discussion1</b> 10:00~10:30 DNA virus 1 (O1-1~O1-18) / Hepatitis virus 1 (O2-19~O2-23 / P2-1~P2-7) / Retrovirus 1 (O7-1~O7-19) / (+)ss RNA virus 1 (O5-1~O5-32)	<b>Free discussion1</b> 10:00~12:30
11:00	<b>Live discussion2</b> 11:00~11:30 DNA virus 2 (O1-19~O1-42) / (-)ss RNA virus 1 (O4-1~O4-34)	
12:00		
13:00	<b>Live discussion3</b> 13:30~14:00 DNA virus 3 (P1-1~P1-18) / (-)ss RNA virus 2 (O4-35~O4-60) / Retrovirus 2 (O7-20~O7-27 / P7-1~P7-8) / Coronavirus 2 (O6-54~O6-56)	<b>Free discussion2</b> 12:30~15:00
14:00		
15:00	<b>Live discussion4</b> 15:00~15:30 Hepatitis virus 2 (O2-34~O2-42) / dsRNA virus (O3-1~O3-9 / P3-1~P3-4) / (-)ss RNA virus 3 (P4-1~P4-26) / Coronavirus 3 (P6-1~P6-32) / Others (O8-1~O8-7 / P8-1~P8-3)	<b>Free discussion3</b> 15:00~17:30
16:00		
17:00		<b>Mixer (情報交換会)</b> 17:30~20:00

## November 17 (Wednesday)

	Room1	Room2	WEBStreamingRoom	
8:30	1F Main Hall	3F International Conference Room		8:30
	Opening Remarks			
9:00	<b>Nobel Prize Memorial Lecture</b>			9:00
9:30	9:00~10:30 Chair: Tatsuo Miyamura Speakers: Michael Houghton Charles M. Rice			9:30
10:00				10:00
10:30	<b>Symposium1</b>	<b>Symposium2</b>		10:30
11:00	10:30~12:00 <b>Hepatitis C virus</b> Chairs: Ikuo Shoji, Yoshihide Ueda Speakers: Tatsuo Miyamura Kunitada Shimotohno Yoshiharu Matsuura Takaji Wakita	10:30~12:20 <b>Emerging Virus Infections: Pathogens, Pathogenesis, and Pathophysiology</b> Chairs: Masayuki Saijo, Asuka Nanbo Speakers: Jonathan Towner Andreas Suhrbier Linfa Wang Shi Zhengli Sponsored by "the AMED research grant for US-Japan Cooperative Medical Science Program (USJCMS), Viral Diseases panel"		11:00
11:30				11:30
12:00				12:00
12:30	<b>共催セミナー1</b>	<b>共催セミナー2</b>	<b>共催セミナー3 (WEB)</b>	12:30
13:00	12:30~13:30 <b>COVID-19流行下における小児感染症 —おたふくかぜを中心に—</b> 座長: 中山哲夫 演者: 西村直子 共催: 武田薬品工業株式会社	12:30~13:30 <b>带状疱疹の最新知見を探る</b> 座長: 渡辺大輔 演者: 浅田秀夫 共催: マルホ株式会社	12:30~13:30 <b>B型肝炎ウイルス治療の現状とその根絶に向けて</b> 座長: 上田佳秀 演者: 矢野嘉彦 共催: ギリアド・サイエンシズ株式会社	13:00
13:30				13:30
14:00	14:00~14:30 総会			14:00
14:30				14:30
15:00	14:30~16:00 杉浦奨励賞受賞講演			15:00
15:30				15:30
16:00	<b>シンポジウム3 (I)</b>	<b>ミニシンポジウム1</b>		16:00
16:30	16:05~17:05 <b>SARS-CoV-2 (新型コロナウイルス)</b> 座長: 小柳義夫 演者: 竹田 誠, 高橋宜聖, 荒瀬 尚	16:10~17:10 座長: 橋口隆生, 有井 潤 演者: 好井健太郎, 菅田謙治, 北村 春樹		16:30
17:00				17:00
17:30	<b>教育講演</b>			17:30
18:00	17:10~18:00 免疫研究と臨床応用~COVID-19への考察も含めて~ 座長: 森 康子 演者: 熊ノ郷 淳			18:00
18:30	<b>シンポジウム3 (II)</b>	<b>ミニシンポジウム2</b>	<b>Mixer (情報交換会)</b> 17:30~20:00 (Remoで開催します)	18:30
19:00	18:05~19:40 <b>SARS-CoV-2 (新型コロナウイルス)</b> 座長: 朝長啓造, 亀岡正典 演者: 梁 明秀, 福原崇介, 神谷 巨, Lidya Handayani Tjan, 登 治謙	18:00~19:00 座長: 阿部隆之, 西村光広 演者: 金井亨輔, 松野啓太, 岩見真吾		19:00
19:30				19:30

# November 18 (Thursday)

	Room1	Room2	Room3 (Live Session Listening Room)	
8:00	1F Main Hall	3F International Conference Room	3F Reception Hall	8:00
8:30		<b>Morning Seminar</b> 8:00~8:50	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>Lethal and nonlethal small animal models of SARS-CoV-2 infection for evaluation of vaccines and therapeutics</b> Chair: Toshihide Hayashi Speaker: Kempaiah Rayavara Co-Sponsor: Ina Research Inc.</p> </div>	8:30
9:00	<b>Keynote Lecture</b> 9:00~9:50 Epigenetics of Herpes Simplex Virus: From latent infection to gene therapy vectors Chair: Yasuko Mori Speaker: David M Knipe			9:00
9:30				9:30
10:00	<b>Symposium4</b> 9:50~12:10 <b>Neo-virology</b> Chairs: Jumpei Ito Yukiyo Sato Shohei Kojima Michiko Takahashi Speakers: Yoshihiro Kawaoka Nagasaki Keizo Kei Sato Hideki Takahashi Akiko Makino Kiwamu Hyodo Koji Yahara Tokiko Watanabe	<b>シンポジウム5</b> 9:50~11:50 <b>Persistent and latent infections (持続潜伏感染)</b> 座長: 吉山裕規, 神田 輝 演者: 川口 寧 Benedikt B. Kaufer 井上直樹 木村 宏		10:00
10:30				10:30
11:00				11:00
11:30				11:30
12:00			<b>日本小児科学会、日本皮膚科学会 専門医共通講習</b> 12:00~13:10 <b>ヒトヘルペスウイルス6B感染症</b> —基礎から臨床まで— 演者: 有井 潤 西村光広 河村吉紀 浅田秀夫	12:00
12:30		<b>共催セミナー4</b> 12:20~13:20 <b>Varicella-zoster virus感染症: ワクチンによる感染症制御の成果と課題</b> 座長: 尾崎隆男 演者: 吉川哲史 共催: 一般財団法人 阪大微生物病研究会		12:30
13:00				13:00
13:30	<b>共催シンポジウム</b> 13:30~15:30 <b>COVID-19-基礎から臨床まで-</b> 座長: 中山哲夫 演者: 水谷哲也 黒田 誠 押谷 仁 忽那賢志 共催: 日本臨床ウイルス学会	<b>ミニシンポジウム3</b> 13:30~15:10 座長: 小林 剛, 川口敦史 演者: 長井みなみ 工藤 菜 小林郷介 藤田陽子 鈴木達也		13:30
14:00				14:00
14:30				14:30
15:00				15:00
15:30				15:30
16:00	15:30~16:00 <b>Closing Remarks</b>			16:00
16:30	<b>第372回ICD講習会</b> 16:00~17:30 <b>新型コロナウイルス</b> ※事前申込制です ※現地開催のみ			16:30
17:00				17:00
17:30				17:30

# Program

# Keynote lecture [英語/English]

Room1

Day 3. November 18 [Thu] 9:00~9:50

Chair : Yasuko Mori (Division of Clinical Virology Center for Infectious Diseases Kobe University Graduate School of Medicine)

森 康子 (神戸大学大学院医学研究科附属感染症センター 臨床ウイルス学分野)

共催 : 神戸大学大学院医学研究科附属感染症センター

KL

**Epigenetics of Herpes Simplex Virus: From latent infection to gene therapy vectors**

.....  
David M Knipe

Higgins Professor of Microbiology and Molecular Genetics, Department of Microbiology, Harvard Medical School

# NOBEL PRIZE MEMORIAL LECTURE

## Nobel Prize Memorial Lecture [英語/English]

Room1

Day 2. November 17 [Wed] 9:00~10:30

Chair : Tatsuo Miyamura (National Institute of Infectious Diseases)  
宮村 達男 (国立感染症研究所)

NL-01 Stopping the HCV pandemic by “testing and treating” and developing a vaccine

Sir Michael Houghton, Nobel Laureate Medicine, Hon.DSc, PhD

Director & Professor, Li ka Shing Applied Virology Institute, Faculty of Medicine & Dentistry, University of Alberta

NL-02 A semi-random walk in virology

Charles M. Rice

Head, Laboratory of Virology and Infectious Disease, The Rockefeller University

## 教育講演 [日本語/Japanese]

Room1

Day 2. November 17 [Wed] 17:10~18:00

Chair : 森 康子 (神戸大学大学院 医学研究科)

EL Investigation on immunology and its clinical applications.

免疫研究と臨床応用～COVID-19への考察も含めて～

熊ノ郷 淳

大阪大学大学院医学系研究科・呼吸器免疫内科学

# SYMPOSIUM

## Symposium1 [英語/English]

Room1

Day 2. November 17 [Wed]

10:30~12:00

### Hepatitis C virus

Chairs : Ikuo Shoji (Division of Infectious Disease Control te School of Medicine)

勝二 郁夫 (神戸大学 大学院医学研究科 附属感染症センター 感染制御学分野)

Yoshihide Ueda (Division of Gastronterology, Department of Internal Medicin, Kobe University)

上田 佳秀 (神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 消化器内科学分野 地域社会医学・健康科学講座 地域医療ネットワーク学分野)

#### S1-01 **Discovery and identification of HCV as an agent of non-A, non-B hepatitis**

Tatsuo Miyamura

National Institute of Infectious Diseases

宮村 達男

国立感染症研究所

#### S1-02 **Hepatitis C virus: the virus that caused incurable disease but later was under control**

Kunitada Shimotohno

Genome Medical Project, National Center for Global Health and Medicine

下遠野邦忠

国立国際医療研究センター ゲノム医科学プロジェクト

#### S1-03 **Host factors involved in the propagation and pathogenesis of HCV**

Yoshiharu Matsuura

Center for Infectious Diseases Education and Research and Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University

松浦 善治

大阪大学 感染症総合教育研究拠点、微生物病研究所

#### S1-04 **Cell culture system for Hepatitis C Virus**

Takaji Wakita

National Institute of Infectious Diseases

脇田 隆字

国立感染症研究所

## Symposium2 [英語/English]

(Sponsored by “the AMED research grant for US-Japan Cooperative Medical Science Program (USJCMS), Viral Diseases panel”)

Room2

Day 2. November 17 [Wed] 10:30~12:20

### Emerging Virus Infections: Pathogens, Pathogenesis, and Pathophysiology

Chairs : Masayuki Saijo (National Institute of Infectious Diseases Department of Virology I)  
西條 政幸 (国立感染症研究所 ウイルス第一部)  
Asuka Nanbo (National Research Center for the Control and Prevention of Infectious Diseases, Nagasaki University)  
南保明日香 (長崎大学熱帯医学研究所 新興感染症学分野)

共催：日米医学ウイルス性疾患専門部会

#### Introduction

Masayuki Saijo

National Institute of Infectious Diseases Department of Virology I

#### S2-01 Comparative experimental investigation of human pathogenic bat-borne viruses from multiple virus families in the same natural bat reservoir

Jonathan Towner

Viral Special Pathogens Branch, Division of High Consequence Pathogens and Pathology, National Center for Emerging and Zoonotic Infectious Diseases, Centers for Disease Control and Prevention, Atlanta, GA, USA

#### S2-02 Dietary microplastics promote gut inflammation leading to prolonged viral arthritis

Andreas Suhrbier

Inflammation Biology Laboratory, QIMR Berghofer Medical Research Institute, Brisbane, Queensland, Australia.

#### S2-03 Lessons learnt from studying bats and viruses

Linfa Wang

Programme in Emerging Infectious Diseases, Duke-NUS Medical School, Singapore, Singapore.

#### S2-04 Evolutionary Conservative of Receptor Usage of SARS-related Coronaviruses

Shi Zhengli

Center for Biosafety Mega-Science, Wuhan Institute of Virology, Chinese Academy of Sciences, Wuhan, 430071, China.

## シンポジウム3 [日本語 / Japanese]

Room1

Day 2. November 17 [Wed] 16:05~19:40

## SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)(I)・(II)

Chairs : 小柳 義夫 (京都大学 ウイルス・再生医学研究所)  
 朝長 啓造 (京都大学 ウイルス・再生医学研究所)  
 亀岡 正典 (神戸大学大学院保健学研究科 パブリックヘルス領域 国際感染症対策分野)

- S3-01      **SARS-CoV-2 and its activation mechanism by host proteases**  
 .....  
**SARS-CoV-2と宿主プロテアーゼによる活性化**  
 竹田 誠  
 国立感染症研究所
- S3-02      **SARS-CoV-2 variants and immunity**  
 .....  
**新型コロナウイルスへの抗体の進化**  
 高橋 宜聖  
 国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター
- S3-03      **Infectivity-enhancing and neutralizing antibodies against SARS-CoV-2**  
 .....  
**新型コロナウイルスに対する感染増強抗体と中和抗体**  
 荒瀬 尚<sup>1,2,3)</sup>  
 1) 大阪大学 微生物病研究所 免疫化学分野, 2) 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 免疫化学研究室,  
 3) 大阪大学 感染症総合教育研究拠点
- S3-04      **Utilization of the wheat germ cell-free protein production system in SARS-CoV-2 protein analysis**  
 .....  
**コムギ無細胞合成系を活用したSARS-CoV-2タンパク質の基盤的研究**  
 梁 明秀  
 横浜市立大学医学部微生物学
- S3-05      **Establishment of a reverse genetics system for SARS-CoV-2 using circular polymerase extension reaction**  
 .....  
**CPER法による新型コロナウイルスのリバースジェネティクス法の確立**  
 福原 崇介  
 北海道大学大学院医学研究院 病原微生物学教室
- S3-06      **Replication regulation by non-structural proteins of Coronavirus**  
 .....  
**コロナウイルスの非構造蛋白質による複製制御**  
 神谷 亘  
 群馬大学大学院医学系研究科
- S3-07      **Neutralizing breadth after SARS-CoV-2 infection**  
 .....  
Lidya Handayani Tjan  
 Division of Clinical Virology, Center for Infectious Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine

S3-08 S-217622, a Novel SARS-CoV-2 3C-Like Protease Inhibitor Clinical Candidate, As a Potential Oral Therapeutic Agent for COVID-19

COVID-19新規経口治療薬候補S-217622 ～3C-Likeプロテアーゼ阻害剤～

登 治謙<sup>1)</sup>, 立花 裕樹<sup>1)</sup>, 山津 維子<sup>1)</sup>, 川島 生<sup>1)</sup>, 丸山 優樹<sup>1)</sup>, 鳥羽 晋輔<sup>1,2)</sup>, 宇納 佑斗<sup>1)</sup>, 中原 健二<sup>1)</sup>, 埜田 善之<sup>1)</sup>, 上原 彰太<sup>1)</sup>, 山本 志保<sup>1)</sup>, 水垂 亨<sup>1)</sup>, 笠松 幸司<sup>1)</sup>, 幸木 謙典<sup>1)</sup>, 中橋 徳文<sup>1)</sup>, 須藤 貴弘<sup>1)</sup>, 佐名木孝央<sup>1)</sup>, 上村健太郎<sup>1,2)</sup>, 佐藤 剛章<sup>1)</sup>, 澤 洋文<sup>2)</sup>, 大場 靖子<sup>2)</sup>, 佐々木道仁<sup>2)</sup>, 佐藤 彰彦<sup>1,2)</sup>, 加藤 輝久<sup>1)</sup>

1) 塩野義製薬株式会社, 2) 北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所 分子病態・診断部門

## Symposium4 [英語/English]

Room1

Day 3. November 18 [Thu] 9:50~12:10

### Neo-virology (ネオウイルス学)

Chairs : Jumpei Ito (Division of Systems Virology, Department of Infectious Disease Control, International Research Center for Infectious Diseases, Institute of Medical Science, The University of Tokyo)

伊東 潤平 (東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター 感染制御系 システムウイルス学分野)

Yukiyo Sato (Group of Plant-Microbe Interactions, Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)

佐藤有希代 (岡山大学資源植物科学研究所 植物・微生物相互作用グループ)

Shohei Kojima (RIKEN IMS)

小嶋 将平 (理化学研究所 生命医科学研究センター)

Michiko Takahashi (Laboratory of Aquatic Virology, Faculty of Science and Technology, Natural Science Cluster, Kochi University)

高橋 迪子 (高知大学自然科学系理工学部水圏ウイルス研究室)

共催 : 文部科学省新学術領域研究「ネオウイルス学 : 生命源流から超個体、そしてエコ・スフィアへ」

#### Introduction

Yoshihiro Kawaoka

National Center for Global Health and Medicine/University of Tokyo

河岡 義裕

国立国際医療研究センター／東京大学

S4-01 **Aquatic Neovirology**

Keizo Nagasaki<sup>1)</sup>, Hiroyuki Ogata<sup>2)</sup>, Takashi Yoshida<sup>2)</sup>, Yuji Tomaru<sup>3)</sup>, Kei Kimura<sup>4)</sup>, Takuro Nunoura<sup>5)</sup>, Yoshihiro Takaki<sup>5)</sup>, Shun-ichi Urayama<sup>6)</sup>

1) Kochi University, 2) Kyoto University, 3) Japan Fisheries Research and Education Agency, 4) Saga University, 5) Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology, 6) University of Tsukuba

長崎 慶三<sup>1)</sup>, 緒方 博之<sup>2)</sup>, 吉田 天士<sup>2)</sup>, 外丸 裕司<sup>3)</sup>, 木村 圭<sup>4)</sup>, 布浦 拓郎<sup>5)</sup>, 高木 善弘<sup>5)</sup>, 浦山 俊一<sup>6)</sup>

1) 高知大学, 2) 京都大学, 3) 水産・研究教育機構, 4) 佐賀大学, 5) 海洋研究開発機構, 6) 筑波大学

S4-02 **Evolution of SARS-CoV-2**

Kei Sato

Institute of Medical Science, the University of Tokyo

佐藤 佳

東京大学医科学研究所

- S4-03 **Persistent infection of *Arabidopsis thaliana* with cucumber mosaic virus: a conditional mutualistic symbiont?**  
 .....  
Hideki Takahashi  
 Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University  
 高橋 英樹  
 東北大学 大学院農学研究科
- S4-04 **Host cellular machinery for SARS-CoV-2 infection**  
 .....  
Akiko Makino  
 Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University  
 牧野 晶子  
 京都大学ウイルス・再生医科学研究所
- S4-05 **A plant virus infection affects secondary bacterial/fungal infections through plant innate immunity**  
 .....  
Kiwamu Hyodo  
 Institute of Plant Science and Resources, Okayama University  
 兵頭 究  
 岡山大学資源植物科学研究所
- S4-06 **Big data analysis of bacteriophages: focusing on long-read metagenomics and genomic recombination**  
 .....  
Koji Yahara  
 National Institute of Infectious Diseases  
 矢原 耕史  
 国立感染症研究所
- S4-07 **A strategy for virus survival: the genetic diversity of SARS-CoV-2**  
 .....  
Tokiko Watanabe  
 Department of Molecular Virology, Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University  
 渡辺登喜子  
 大阪大学微生物病研究所 感染機構研究部門 分子ウイルス分野

## シンポジウム5 [日本語／Japanese]

Room2

Day 3, November 18 [Thu] 9:50~11:50

### Persistent and latent infections (持続潜伏感染)

Chairs : 吉山 裕規 (島根大学医学部微生物学教室)  
 神田 輝 (東北医科薬科大学医学部・微生物学教室)

S5-01 **Molecular basis of herpes simplex virus infection**  
 .....

単純ヘルペスウイルスの増殖・病態発現の分子基盤

川口 寧

東京大学医科学研究所

S5-02 **Herpesvirus integration: Latency, endogenous viruses and cancer.**

---

Benedikt B. Kaufer

Institut für Virologie, Freie Universität Berlin, Berlin, Germany

S5-03 **Regulation of cell tropisms and viral gene expression by the pentameric glycoprotein complex of cytomegalovirus**

---

サイトメガロウイルス糖蛋白五量体による細胞指向性とウイルス遺伝子発現の制御

井上 直樹

岐阜薬科大学・感染制御学

S5-04 **Latency of defective EBV and lymphomagenesis**

---

欠失EBVの潜伏とリンパ腫原性

木村 宏

名古屋大学大学院医学系研究科ウイルス学

# 共催シンポジウム [日本語 / Japanese]

Room1

Day 3. November 18 [Thu] 13:30~15:30

## COVID-19-基礎から臨床まで-

Chair : 中山 哲夫 (北里大学)

共催 : 日本臨床ウイルス学会

- CS-01      Where do coronaviruses come from? - threat as zoonotic disease -  
 .....  
 コロナウイルスはどこから ～人獣共通感染症としての脅威～  
 水谷 哲也  
 東京農工大学農学部附属 感染症未来疫学研究センター
- CS-02      SARS-CoV-2 genome surveillance in Japan  
 .....  
 新型コロナウイルスのゲノムサーベイランスと公衆衛生対策への利活用  
 黒田 誠  
 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター
- CS-03      Epidemiological Characteristics of COVID-19: Gained knowledge and  
 Unanswered questions  
 .....  
 COVID-19の疫学的特徴－これまでの知見と今後の課題  
 押谷 仁  
 東北大学大学院医学系研究科・微生物学分野
- CS-04      Clinical aspects of COVID-19 - Advances in treatment and LONG-COVID  
 .....  
 COVID-19の臨床－治療法の進歩と後遺症－  
 忽那 賢志  
 大阪大学大学院医学系研究科・医学部 感染制御学講座

# MINI SYMPOSIUM

## ミニシンポジウム1 [日本語/ Japanese]

Room2

Day 2. November 17 [Wed] 16:10~17:10

Chairs: 橋口 隆生 (京都大学 ウイルス・再生医学研究所)  
有井 潤 (神戸大学大学院 医学研究科)

### MSI-01(05-13) Application of peptide across Blood-Brain Barrier for treatment of TBE

#### 血液脳関門透過性ペプチドのダニ媒介性脳炎の治療法への応用

深野 紗代<sup>3)</sup>, 小林進太郎<sup>3)</sup>, 前川 直也<sup>4)</sup>, 高橋 侑嗣<sup>3)</sup>, 荻和 宏明<sup>3)</sup>, 今内 寛<sup>4,5)</sup>, 好井健太郎<sup>1,2)</sup>

1) 長崎大学 感染症共同研究拠点, 2) 長崎大学 熱帯医学研究所, 3) 北海道大学 大学院獣医学研究院 公衆衛生学教室, 4) 北海道大学 大学院獣医学研究院 先端創薬分野, 5) 北海道大学 大学院獣医学研究院 感染症学教室

### MSI-02(07-24) Development of novel HLA class-II multimer for virus-specific CD4 T cell detection

#### ウイルス抗原特異的CD4陽性T細胞の検出を目的とした新規HLA class-IIマルチマーの開発

菅田 謙治<sup>1,2)</sup>

1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター, 2) プリンセス・マーガレットがんセンター

### MSI-03(07-6) A genome-wide RNAi screen identifies host cell factors required for the maintenance of HIV-1 latency

#### HIV-1 潜伏感染を制御する宿主細胞因子の同定および機能解析

北村 春樹, 飯嶋 夏樹, 山岡 昇司, 武内 寛明

東京医科歯科大学

## Mini Symposium2 [英語・日本語/ English・Japanese]

Room2

Day 2. November 17 [Wed] 18:00~19:00

Chairs: Takayuki Abe (Kobe University Graduate School of Medicine)

阿部 隆之 (神戸大学大学院 医学研究科)

Mitsuhiro Nishimura (Division of Clinical Virology, Center for Infectious Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine)

西村 光広 (神戸大学大学院 医学研究科)

### MS2-01(01-42) Analysis of intestinal bacterial products inducing hepatitis in Murine $\gamma$ -herpesvirus primary infected mice

#### マウス $\gamma$ ヘルペスウイルス初感染マウス肝炎を引き起こす腸内細菌産物の解析

金井 亨輔, 景山 誠二

鳥取大学

### MS2-02(04-14) A novel nairovirus associated with acute febrile illness in Hokkaido

Keita Matsuno<sup>1)</sup>, Fumihiro Kodama<sup>2,3)</sup>, Hiroki Yamaguchi<sup>4)</sup>, Eunsil Park<sup>5)</sup>, Kango Tatamoto<sup>5)</sup>, Ken Maeda<sup>5)</sup>, Masayuki Saijo<sup>5)</sup>

1) Hokkaido University, 2) Sapporo City General Hospital, 3) Nagaoka Red Cross Hospital, 4) Hokkaido Institute of Public Health, 5) National Institute of Infectious Diseases

松野 啓太<sup>1)</sup>, 児玉 文宏<sup>2,3)</sup>, 山口 宏樹<sup>4)</sup>, パクウンシル<sup>5)</sup>, 立本 完吾<sup>5)</sup>, 前田 健<sup>5)</sup>, 西條 政幸<sup>5)</sup>

1) 北海道大学, 2) 市立札幌病院, 3) 長岡赤十字病院, 4) 北海道立衛生研究所, 5) 国立感染症研究所

MS2-03(06-48) **Mathematical modeling for the impact of repurposed antiviral drugs on SARS-CoV-2 dynamics in clinical settings**

ドラッグリポジショニング薬剤の新型コロナウイルス感染動態への定量的分析

岩見 真吾<sup>1)</sup>, 渡士 幸一<sup>2)</sup>, 脇田 隆宇<sup>2)</sup>

1) 名古屋大学, 2) 国立感染症研究所

## Mini Symposium3 [英語・日本語 / English・Japanese]

Room2

Day 3. November 18 [Thu] 13:30~15:10

Chairs : Takeshi Kobayashi (Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University)

小林 剛 (大阪大学微生物病研究所)

Atsushi Kawaguchi (Faculty of Medicine, University of Tsukuba)

川口 敦史 (筑波大学医学医療系)

MS3-01(04-57) **Effect of nasal bacteria in the induction of virus-specific adaptive immune responses**

上気道常在菌がウイルス特異的な免疫応答に与える影響の解析

長井みなみ<sup>1)</sup>, 森山 美優<sup>2,3)</sup>, 一戸 猛志<sup>1)</sup>

1) 東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター 感染制御系 ウイルス学分野, 2) Yale University School of Medicine, 3) 日本学術振興会海外特別研究員

MS3-02(05-32) **The exploration of astrovirus receptor**

Shiori Kudo<sup>1)</sup>, Haga Kei<sup>1)</sup>, Todaka Reiko<sup>1)</sup>, Nakanishi Akira<sup>2)</sup>, Katayama Kazuhiko<sup>1)</sup>

1) Kitasato University Graduate School, 2) Kindai University

工藤 栞<sup>1)</sup>, 芳賀 慧<sup>1)</sup>, 戸高 玲子<sup>1)</sup>, 中西 章<sup>2)</sup>, 片山 和彦<sup>1)</sup>

1) 北里大学大学院, 2) 近畿大学

MS3-03(05-23) **Analysis of two nucleotides on the internal ribosome entry site regulating the EV-A71 neurovirulence**

Kyousuke Kobayashi, Tomoha Nishizawa, Satoshi Koike

Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science

小林 郷介, 西澤 朋葉, 小池 智

東京都医学総合研究所

MS3-04(04-30) **Structural insight into Marburg virus nucleoprotein-RNA complex formation**

マールブルグウイルス 核タンパク質-RNA複合体の構造解析

藤田 陽子<sup>1,2,3)</sup>, 杉田 征彦<sup>1,3,4)</sup>, 高松 由基<sup>1,5)</sup>, 祝部 和也<sup>1,2,3)</sup>, 五十嵐 学<sup>6)</sup>, 角田 優伍<sup>1,2,3)</sup>, 村本裕紀子<sup>1,2,3)</sup>, 中野 雅博<sup>1,2,3)</sup>, Becker Stephan<sup>6,7)</sup>, 野田 岳志<sup>2,1,3)</sup>

1) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 微細構造ウイルス学分野, 2) 京都大学大学院 生命科学研究科 微細構造ウイルス学分野, 3) 国立研究開発法人 科学技術振興機構 CREST, 4) 京都大学白眉センター, 5) 国立感染症研究所ウイルス第一部, 6) 北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所 国際疫学部門, 7) マールブルグ大学ウイルス研究所

MS3-05(05-8) **Innate Immunity is required for pathogenicity of Flavivirus infection**

蚊の唾液による自然免疫応答がフラビウイルスの病原性発揮に必要である

鈴木 達也<sup>1)</sup>, 江夏 朔<sup>1)</sup>, 宮田 由佳<sup>1)</sup>, 大場 靖子<sup>2)</sup>, 江下 優樹<sup>2)</sup>, 澤 洋文<sup>2)</sup>, 松浦 善治<sup>3)</sup>, 岡本 徹<sup>1)</sup>

1) 大阪大学微生物病研究所 高等共創研究院, 2) 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 分子病態・診断部門, 3) 大阪大学微生物病研究所 ウイルス制御学グループ

## 杉浦奨励賞受賞講演 [英語/English]

Room1

Day 2. November 17 [Wed] 14:30~16:00

### 令和2年度杉浦奨励賞受賞講演

SA-01 **Functional analysis of host factors involved in mumps virus propagation**

Hiroshi Katoh

Department of Virology III, National Institute of Infectious Diseases

加藤 大志

国立感染症研究所

SA-02 **Elucidation of neuropathogenesis of West Nile Encephalitis**

Shintaro Kobayashi

Laboratory of Public Health, Faculty of Veterinary Medicine, Hokkaido University

小林進太郎

北海道大学大学院獣医学研究院

SA-03 ***In vivo* protective mechanisms of neutralizing antibodies against simian immunodeficiency virus replication**

Hiroyuki Yamamoto

AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases

山本 浩之

国立感染症研究所

### 令和3年度杉浦奨励賞受賞講演

SA-04 **Molecular basis for the multiplication of negative-strand RNA viruses: basic research and potential applications in vaccine development**

Masaharu Iwasaki

Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University

岩崎 正治

大阪大学微生物病研究所

SA-05 **Investigation of viruses harbored by wild animals: toward pre-emptive measures against future zoonotic diseases**

Michihito Sasaki

Division of Molecular Pathobiology, International Institute for Zoonosis Control, Hokkaido University

佐々木道仁

北海道大学人獣共通感染症 国際共同研究所

SA-06 **Virus Research from Cellular Level to Global Level**

Yuki Furuse

Institute for Frontier Life and Medical Sciences

古瀬 祐気

京都大学ウイルス・再生医科学研究所

# 日本小児科学会、日本皮膚科学会 専門医共通講習 [日本語 / Japanese]

Room3

Day 3. November 18 [Thu] 12:00~13:10

## ヒトヘルペスウイルス6B感染症 ー基礎から臨床までー

講師1 HHV-6Bのウイルス学

有井 潤

神戸大学大学院 医学研究科

講師2 HHV-6Bのリガンドと宿主受容体

西村 光広

神戸大学大学院 医学研究科

講師3 HHV-6Bの中樞神経合併症

河村 吉紀

藤田医科大学医学部小児科学

講師4 HHV-6Bと薬剤性過敏症症候群

浅田 秀夫

奈良県立医科大学 皮膚科

※セッション開始5分以降のご入室、途中退室は単位付与の対象外といたします。

## 共催セミナー [日本語/Japanese]

### 共催セミナー1

Room1 Day 2. November 17 [Wed] 12:30~13:30

#### COVID-19流行下における小児感染症—おたふくかぜを中心に—

Chair: 中山 哲夫 (大村智記念研究所)

共催: 武田薬品工業株式会社

SS1 西村 直子  
江南厚生病院こども医療センター

### 共催セミナー2

Room2 Day 2. November 17 [Wed] 12:30~13:30

#### 帯状疱疹の最新知見を探る

Chair: 渡辺 大輔 (愛知医科大学医学部 皮膚科学講座)

共催: マルホ株式会社

SS2 浅田 秀夫  
奈良県立医科大学 皮膚科学教室

### 共催セミナー3 (WEB)

WEB配信 Day 2. November 17 [Wed] 12:30~13:30

#### B型肝炎ウイルス治療の現状とその根絶に向けて

Chair: 上田 佳秀 (神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 消化器内科学分野)

共催: ギリアド・サイエンシズ株式会社

SS3 矢野 嘉彦  
神戸大学医学部附属病院 消化器内科

### 共催セミナー4

Room2 Day 3. November 18 [Thu] 12:20~13:20

#### Varicella-zoster virus感染症: ワクチンによる感染症制御の成果と課題

Chair: 尾崎 隆男 (江南厚生病院 こども医療センター)

共催: 一般財団法人 阪大微生物病研究会

SS4 吉川 哲史  
藤田医科大学医学部 小児科学

## モーニングセミナー [英語/English]

Room2

Day 3. November 18 [Thu] 8:00~8:50

### Lethal and nonlethal small animal models of SARS-CoV-2 infection for evaluation of vaccines and therapeutics

Chair: 林 俊英 (株式会社イナリサーチ 営業部)

共催: 株式会社イナリサーチ

MS

Kempaiah Rayavara

Infectious Disease Reseach, Southern Research

# Oral Session [英語・日本語 / English・Japanese]

Live discussion1 Day 1, November 16 [Tue] 10:00~10:30

## DNA virus 1

01-1 Comprehensive surveillance of virus infection among African pigmy hedgehog and establishment of its cell lines

ヨツユビハリネズミにおけるウイルスの網羅的調査および培養細胞の樹立

小泉 伊織<sup>2)</sup>, 岡山 拓生<sup>1)</sup>, 光永 早紀<sup>1)</sup>, 嘉手苺 将<sup>3)</sup>, 早坂 大輔<sup>1)</sup>, 宇根 有美<sup>3)</sup>, 下田 宙<sup>1)</sup>

1) 山口大学, 2) 小泉ネスト動物病院, 3) 岡山理科大学

01-2 Intracellular signaling pathways which can regulate the replication of African pygmy hedgehog adenovirus

ハリネズミアデノウイルスの増殖を制御する細胞内シグナル伝達経路

文 榕鏗<sup>1)</sup>, 落合 秀治<sup>2)</sup>, 内山 淳平<sup>2)</sup>, 大澤南菜子<sup>1)</sup>, 大場 真己<sup>1)</sup>, 片山 幸枝<sup>1)</sup>, 黎 凱欣<sup>5)</sup>, 大松 勉<sup>1)</sup>, 田向 健一<sup>3)</sup>, 鈴木 馨<sup>1)</sup>, 斑目 広郎<sup>2)</sup>, 牧野 伸治<sup>4)</sup>, 水谷 哲也<sup>1)</sup>

1) 東京農工大学, 2) 麻布大学, 3) 田園調布動物病院, 4) テキサス大学ガルベトン 医学校, 5) 東京大学

01-3 Development of a novel oncolytic adenovirus based on adenovirus serotype 35

Ryosuke Ono<sup>1)</sup>, Kosuke Takayama<sup>1)</sup>, Fuminori Sakurai<sup>1)</sup>, Hiroyuki Mizuguchi<sup>1,2,3,4)</sup>

1) Laboratory of Biochemistry and Molecular Biology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Osaka University, 2) Laboratory of Hepatocyte Regulation, National Institute of Biomedical Innovation, Health and Nutrition, 3) Global Center for Medical Engineering and Informatics, Osaka University, 4) Integrated Frontier Research for Medical Science Division, Institute for Open and Transdisciplinary Research Initiatives (OTRI)

小野 良輔<sup>1)</sup>, 高山 耕輔<sup>1)</sup>, 櫻井 文教<sup>1)</sup>, 水口 裕之<sup>1,2,3,4)</sup>

1) 大阪大学大学院 薬学研究科 分子生物学分野, 2) 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所, 3) 大阪大学 国際医工情報センター, 4) 大阪大学 先導的学際研究機構 生命医科学融合フロンティア研究部門

01-4 Genome-wide CRISPR screening identifies host factors required for HPV cell entry

ゲノムワイドCRISPRスクリーニングによるHPV細胞侵入に必要な宿主因子の同定

石井 克幸, 関塚 剛, 本間 悠太, 山地 俊之

国立感染症研究所

01-5 Parvovirus B19 neutralizing antibodies: diversity analysis in seropositive individuals

パルボウイルスB19抗体陽性者の保持する中和抗体の多様性解析

鈴木 英彦<sup>1,2)</sup>, 野口 貴史<sup>1,2)</sup>, 宮里パオラ<sup>1,2)</sup>, 高坂 光代<sup>1,2)</sup>, 森田 英嗣<sup>3)</sup>, 蝦名 博貴<sup>1,2)</sup>

1) 大阪大学先導的学際研究機構BIKEN次世代ワクチン協働研究所ウイルスワクチングループ, 2) 一般財団法人阪大微生物病研究会, 3) 弘前大学農学生命科学部分子生命科学科細胞分子生物学分野

01-6 Development of in vitro culture system for Parvovirus B19

パルボウイルスB 19のinvitro培養系の開発

岡田 義昭<sup>1)</sup>, 野島 清子<sup>2)</sup>

1) 埼玉医科大学病院 輸血・細胞移植部, 2) 国立感染症研究所 血液・安全性研究部

- 01-7 **Human iPS cell-derived astrocytes support efficient replication of PML-type JC polyomavirus**  
 .....  
 ヒトiPS細胞由来のアストロサイトはPML型JCポリオーマウイルスを効率よく複製させる  
 奴久妻聡一, 真保恵美子, 田川 陽一  
 東京工業大学
- 01-8 **Interferon-gamma induced APOBEC3B contributes to Merkel cell polyomavirus genome mutagenesis in Merkel cell carcinoma.**  
 .....  
 Lusheng Que<sup>1</sup>, Yingfang Li<sup>1</sup>, Tomoaki Nishiyama<sup>2</sup>, Teruki Dainichi<sup>3</sup>, Iwao Kukimoto<sup>1</sup>, Kousho Wakae<sup>1</sup>, Masamichi Muramatsu<sup>1</sup>  
 1) National Institute of Infectious Diseases, 2) Kanazawa University, 3) Kagawa University Graduate School of Medicine
- 01-9 **Differentiation of live attenuated vaccine against smallpox from other orthopoxviruses**  
 .....  
 Milagros Virhuez Mendoza<sup>1,2</sup>, Eunsil Park<sup>2</sup>, Keita Ishijima<sup>2</sup>, Yudai Kuroda<sup>1,2</sup>, Kango Tatemoto<sup>1,2</sup>, Yusuke Inoue<sup>1,2</sup>, Michiko Harada<sup>1,2</sup>, Shigeru Morikawa<sup>3</sup>, Masayuki Saijo<sup>4</sup>, Ken Maeda<sup>1,2</sup>  
 1) Joint Graduate School of Veterinary Medicine of Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan, 2) Department of Veterinary Science, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan, 3) Faculty of Veterinary Medicine, Okayama University of Science, Imabari, Japan, 4) Department of Virology I, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan
- 01-10 **Identification of a herpes simplex virus 1 gene encoding neurovirulence factor by chemical proteomics**  
 .....  
 ケミカル・プロテオミクス解析を駆使した単純ヘルペスウイルス1型がコードする新規神経病原性因子の同定  
 加藤 哲久<sup>1</sup>, 足達 俊吾<sup>2</sup>, 川野 秀一<sup>3</sup>, 夏目 徹<sup>2</sup>, 川口 寧<sup>1</sup>  
 1) 東京大学, 2) 産業技術総合研究所, 3) 電気通信大学
- 01-11 **Investigation of DNA methylation changes in host cells caused by human simplex virus type 1 infection**  
 .....  
 単純ヘルペスウイルス1型感染によって引き起こされる宿主細胞のDNAメチル化変化の検討  
 小林 伸行, 小坂 瑠依, 嶋田 和也, 近藤 一博  
 東京慈恵会医科大学
- 01-12 **Elucidation of a novel regulatory mechanism of HSV-2 UL13 kinase found based on conserved amino acid**  
 .....  
 アミノ酸保存性に基づいて見出されたHSV-2 UL13キナーゼの新規活性制御機構の解明  
 小柳 直人<sup>1,2,3</sup>, 加藤 哲久<sup>1,2,3</sup>, 竹島 功高<sup>1</sup>, 丸鶴 雄平<sup>1,2,3</sup>, 川口 寧<sup>1,2,3</sup>  
 1) 東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 ウイルス病態制御分野, 2) 東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター 感染制御系, 3) 東京大学医科学研究所 アジア感染症研究拠点
- 01-13 **Elucidation of the role of specific glycosylation of a herpes simplex virus 1 envelope glycoprotein in viral pathogenesis**  
 .....  
 単純ヘルペスウイルス1型エンベロープ糖タンパク質における特定の糖鎖修飾はウイルスの病態発現に寄与する  
 福井 文望, 丸鶴 雄平, 野邊 萌香, 小柳 直人, 竹島 功高, 加藤 哲久, 川口 寧  
 東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 ウイルス病態制御分野

01-14 The DNA binding activity of herpes simplex virus 1 VP22 is essential for evading AIM2-dependent inflammasome activation

単純ヘルペスウイルスVP22のDNA結合能はウイルス感染によって誘導されるAIM2 inflammasome活性化からの回避に必須である

丸鶴 雄平, 小柳 直人, 加藤 哲久, 川口 寧

東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 ウイルス病態制御分野

01-15 Analyses of the mechanism of novel compound 147B3 against herpesviruses

抗ヘルペスウイルス化合物147B3作用機序の解明

近藤 紘生<sup>1)</sup>, 腰塚 哲朗<sup>1)</sup>, 石岡 賢<sup>2)</sup>, 錫谷 達夫<sup>2)</sup>, 高橋 圭太<sup>1)</sup>, 井上 直樹<sup>1)</sup>

1) 岐阜薬科大学, 2) 福島県立医科大学

01-16 Gene A is genetically associated with herpes zoster and enhances varicella-zoster virus-mediated fusogenic activity

帯状疱疹・帯状疱疹後神経痛に関連する遺伝子Aの発現は、水痘帯状疱疹ウイルス糖蛋白質存在下、細胞融合を促進する

大岡 静衣<sup>1,2)</sup>, 西澤 大輔<sup>1)</sup>, 山田 壮一<sup>2)</sup>, 長谷川順子<sup>1)</sup>, 福井 良子<sup>2)</sup>, 井関 雅子<sup>3)</sup>, 有田 英子<sup>4)</sup>, 花岡 一雄<sup>4)</sup>, 加藤 実<sup>5)</sup>, 小川 節郎<sup>6)</sup>, 平沼 彩子<sup>1,7)</sup>, 笠井 慎也<sup>1)</sup>, 中山 京子<sup>1)</sup>, 江畑 裕子<sup>1)</sup>, 林田 真和<sup>1,3,8)</sup>, 福士 秀悦<sup>2)</sup>, 西條 政幸<sup>2)</sup>, 池田 和隆<sup>1)</sup>

1) 公益財団法人東京都医学総合研究所, 2) 国立感染症研究所, 3) 順天堂大学医学部, 4) JR東京総合病院, 5) 日本大学医学部, 6) 日本大学総合科学研究所, 7) 東邦大学医学部, 8) 埼玉医科大学国際医療センター

01-17 Acyclovir-sensitivity and virulence of herpes simplex virus 1 which expresses truncated thymidine kinase translated from 2<sup>nd</sup> AUG codon

Phu Hoang Anh Nguyen<sup>1,2)</sup>, Souichi Yamada<sup>2)</sup>, Shizuko Harada<sup>2)</sup>, Hitomi Kinoshita<sup>2)</sup>, Shuetsu Fukushi<sup>2)</sup>, Masashi Mizuguchi<sup>1)</sup>, Masayuki Saijo<sup>1,2)</sup>

1) Graduate School of Medicine, the University of Tokyo, 2) National Institute of Infectious Diseases

01-18 A genome-wide CRISPR screen for HSV-1 host factors reveals PAPSS1 as an essential factor for heparan sulfate biosynthesis

Takeshi Suzuki<sup>1)</sup>, Yoshitaka Sato<sup>1,4)</sup>, Yusuke Okuno<sup>2)</sup>, Takayuki Murata<sup>3)</sup>, Fumi Goshima<sup>1)</sup>, Takahiro Watanabe<sup>1)</sup>, Hiroshi Kimura<sup>1)</sup>

1) Department of Virology, Nagoya University Graduate School of Medicine, 2) Department of Virology, Nagoya City University, 3) Department of Virology and Parasitology, Fujita Health University School of Medicine, 4) PRESTO, Japan Science and Technology Agency (JST)

鈴木 健史<sup>1)</sup>, 佐藤 好隆<sup>1,4)</sup>, 奥野 友介<sup>2)</sup>, 村田 貴之<sup>3)</sup>, 五島 典<sup>1)</sup>, 渡辺 崇広<sup>1)</sup>, 木村 宏<sup>1)</sup>

1) 名古屋大学 ウイルス学, 2) 名古屋市立大学 ウイルス学, 3) 藤田医科大学 ウイルス・寄生虫学, 4) 国立研究開発法人科学技術振興機構 さきがけ

Live discussion2 Day 1. November 16 [Tue] 11:00~11:30

## DNA virus 2

01-19 The role of Nedd4 family E3 ligase for the ubiquitination of CMV gB.

ヒトサイトメガロウイルスgBのユビキチン化に対するNedd4ファミリー分子の役割

腰塚 哲朗, 近藤 紘生, 加藤 大輝, 高橋 圭太

岐阜薬科大学

- 01-20 **The interferon-inducible human PLSCR1 protein is a restriction factor of human cytomegalovirus**  
 .....  
**宿主タンパク質PLSCR1はヒトサイトメガロウイルスの感染抑制因子である**  
 定成 秀貴<sup>2)</sup>, 石田 朋己<sup>2)</sup>, 小田切 熙<sup>2)</sup>, 武本 眞清<sup>2)</sup>, 大黒 徹<sup>2)</sup>, 村山 次哉<sup>2)</sup>, 草野 秀一<sup>1)</sup>  
 1) 鹿児島大学, 2) 北陸大学
- 01-21 **Analysis of human cytomegalovirus glycoprotein N (gN)**  
 .....  
**ヒトサイトメガロウイルスglycoprotein N (gN)の解析**  
 末永 忠広, 河俣 貴也, 緑川 一清, 尾崎 千明, 石岡 賢, 錫谷 達夫  
 福島県立医科大学
- 01-22 **Human Cytomegalovirus (HCMV) Latency-Associated Protein ORF152 Induces Neuropathogenesis of Congenital CMV Infection**  
 .....  
**CMV潜伏感染関連タンパク質ORF152による先天性CMV感染症発症機序の解明**  
 嶋田 和也, 小林 伸行, 岡 直美, 石井 梓, 近藤 一博  
 東京慈恵会医科大学ウイルス学講座
- 01-23 **Human cytomegalovirus upregulates expression of chemokines in infected colon cancer cell line, LoVo.**  
 .....  
**ヒトサイトメガロウイルス感染による大腸癌細胞株LoVoのケモカイン発現誘導**  
 武本 眞清, 増田 雪花, 谷山 宗徳, 定成 秀貴, 村山 次哉, 大黒 徹  
 北陸大学
- 01-24 **Identification of human herpesvirus microRNA by human blood RNA-Seq**  
 .....  
**ヒト血液RNA-SeqによるヒトヘルペスウイルスmicroRNAの同定**  
 伊藤 寿宏<sup>1)</sup>, 保井 一太<sup>2)</sup>, 木村 貴文<sup>2)</sup>, 田中 光信<sup>2)</sup>, 大原 英剛<sup>3)</sup>, 安藤 覚<sup>4)</sup>, 大坪 亮太<sup>5,6)</sup>, 足立 淳<sup>1)</sup>, 朝長 毅<sup>1)</sup>, 安居 輝人<sup>5,6,7)</sup>  
 1) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 プロテオームリサーチプロジェクト, 2) 日本赤十字社 近畿ブロック血液センター, 3) 大日本住友製薬 再生・細胞医薬事業推進室, 4) 大日本住友製薬 再生・細胞医薬製造プラント, 5) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 感染症制御プロジェクト, 6) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター 免疫バイオリジクスプロジェクト, 7) 富山県立大学工学部医薬品工学科 統合オミックス医薬講座
- 01-25 **The Utility of Droplet Digital PCR for Congenital Cytomegalovirus Infection**  
 .....  
**先天性サイトメガロウイルス感染症におけるdroplet digital PCR法を用いたウイルス定量**  
 山口 慎<sup>1)</sup>, 川田 潤一<sup>1)</sup>, 春田 一憲<sup>1)</sup>, 堀場 千尋<sup>2)</sup>, 鈴木 高子<sup>1)</sup>, 鳥居 ゆか<sup>1)</sup>, 伊藤 嘉規<sup>1)</sup>  
 1) 名古屋大学医学系研究科小児科学, 2) 名古屋大学環境医学研究所発生遺伝分野
- 01-26 **Analysis of clinical and pathogenic differences between apparent and inapparent primary HHV-6B infection**  
 .....  
**HHV-6B初感染における顕性感染と不顕性感染の臨床像と病態の相違の解析**  
 小澤 慶<sup>1)</sup>, 服部 文彦<sup>2)</sup>, 河村 吉紀<sup>1)</sup>, 井平 勝<sup>1)</sup>, 吉川 哲史<sup>1)</sup>  
 1) 藤田医科大学, 2) 刈谷豊田総合病院
- 01-27 **Human herpesvirus 6A tegument protein U14 induces NF- $\kappa$ B signaling by interacting with p65**  
 .....  
 Salma Aktar, Jun Arii, Lidiya Handayani Tjan, Mitsuhiro Nishimura, Yasuko Mori  
 Graduate school of medicine, Kobe University

01-28 Screening for human herpesvirus 6 integrated in human genomes using biobank-scale sequencing data

Shohei Kojima, Nicholas F. Parrish

RIKEN IMS, Genome Immunobiology RIKEN Hakubi Research Team

小嶋 将平, パリッシュニコラス

理化学研究所 生命医科学研究センター ゲノム免疫生物学理研白眉研究チーム

01-29 Effects of a 9-kb deletion region in the guinea pig CMV BAC on infection of animals and the gene products encoded by the region

モルモットCMVのBACに導入した9kbの欠失領域が個体での感染に与える影響とその領域にコードされる遺伝子産物

岩瀬 慶彦, 馬島 龍一, 野口 和真, 山口 佳祐, 佐藤 啓介, 腰塚 哲朗, 高橋 圭太, 井上 直樹  
岐阜薬科大学

01-30 Functional analyses of a cell death inhibitor encoded by guinea pig cytomegalovirus gp38.3 in cell culture and in animals

モルモットサイトメガロウイルスがコードする細胞死抑制タンパクgp38.3の培養細胞および動物個体における機能の解析

佐藤 啓介, 野口 和真, 高橋 圭太, 山口 佳祐, 岩瀬 慶彦, 腰塚 哲朗, 井上 直樹  
岐阜薬科大学

01-31 Study of antibody dependent cellular phagocytosis as the evaluation marker of cytomegalovirus vaccine and establishing the measurement assay for it

サイトメガロウイルスワクチンの評価マーカーとしての抗体依存性細胞貪食に対する測定系構築および解析

山口 佳祐<sup>1,2</sup>, 高橋 圭太<sup>1</sup>, 馬島 龍一<sup>1</sup>, 石山 貴皓<sup>1</sup>, 腰塚 哲朗<sup>1</sup>, 井上 直樹<sup>1</sup>

1) 岐阜薬科大学, 2) 岐阜大学医学部附属病院

01-32 *Helicobacter pylori* promotes EBV infection of gastric epithelial cells by inducing viral accessory receptors

Sintayehu Fekadu, Hisashi Iizasa, Andy Visi Katika, Daichi Onomura, Hironori Yoshiyama

Department of Microbiology, Faculty of Medicine, Shimane University

Sintayehu Fekadu, 飯笹 久, Andy Visi Kartika, 小野村大地, 吉山 裕規

鳥根大学医学部微生物学講座

01-33 IMPDH2 activity induces nucleolar hypertrophy and contributes to EBV-driven primary B cell immortalization

IMPDH2活性化と核小体肥大はEBVによる初代B細胞の不死化成立に重要である

杉本 温子<sup>1,2</sup>, 柳 裕介<sup>3</sup>, 渡辺 崇広<sup>3</sup>, 松岡 和弘<sup>1</sup>, 岩谷 靖雅<sup>1</sup>, 奥野 友介<sup>4</sup>, 木村 宏<sup>3</sup>, 村田 貴之<sup>2</sup>

1) (独)国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター, 2) 藤田医科大学, 3) 名古屋大学, 4) 名古屋市立大学

01-34 Epstein-Barr virus genome variations enhances clinicopathological features of nasopharyngeal cancer in non-endemic area, Japan.

全ゲノムシーケンスを用いた上咽頭癌の非流行地域のEpstein Barrウイルス亜型の解析とその臨床的意義

近藤 悟<sup>1</sup>, 奥野 友介<sup>2</sup>, 村田 貴之<sup>3</sup>, 木村 宏<sup>4</sup>

1) 金沢大学医学系耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2) 名古屋市立大学医学部ウイルス学, 3) 藤田医科大学ウイルス・寄生虫学, 4) 名古屋大学医学系ウイルス学

- 01-35 **Intra-genomic interactions of Epstein-Barr virus in CAEBV cell lines**  
 .....  
**慢性活動性EBV病患者由来細胞で認めるウイルスゲノムの高次構造解析**  
 佐藤 好隆<sup>1,2)</sup>, 成田 洋平<sup>3)</sup>, Minxiang Teng<sup>4)</sup>, 木村 宏<sup>1)</sup>, Bo Zhao<sup>3)</sup>  
 1)名古屋大学大学院医学系研究科ウイルス学, 2)JST さきがけ, 3) Harvard Medical School, USA, 4) Moffitt Cancer Center, USA
- 01-36 **An exploration of biomarkers for EBV-induced lymphoproliferative diseases by comprehensive plasma proteomics analysis**  
 .....  
**包括的血漿プロテオミクス解析によるEBウイルス誘導性B細胞増殖性疾患バイオマーカー探索**  
 大坪 亮太<sup>1,2)</sup>, 伊藤 寿宏<sup>3)</sup>, 今留 謙一<sup>4)</sup>, 安居 輝人<sup>1,2,5)</sup>  
 1)医薬基盤・健康・栄養研究所 感染症制御プロジェクト, 2)医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター 免疫バイオロジクスプロジェクト, 3)医薬基盤・健康・栄養研究所 プロテオームリサーチプロジェクト, 4)国立成育医療研究センター 高度感染症診断部(病院)／高度先進医療研究室, 5)富山県立大学工学部医薬品工学科 統合オミックス医薬講座
- 01-37 **Identification of BLRF2 as a Tegument Network Hub via Comprehensive Analyses of Intraviral Epstein-Barr Virus Protein-Protein Interactions**  
 .....  
**網羅的タンパク質間相互作用解析によるEBVのハブタンパク質同定と機能解析**  
 原 優矢<sup>1)</sup>, 渡辺 崇広<sup>1)</sup>, 新 政隆<sup>1)</sup>, 柳 裕介<sup>1)</sup>, 佐藤 好隆<sup>1)</sup>, 木村 宏<sup>1)</sup>, 村田 貴之<sup>1,2)</sup>  
 1)名古屋大学大学院医学系研究科 ウイルス学, 2)藤田医科大学医学部 ウイルス・寄生虫学
- 01-38 **Shaking culture increases EBV infection**  
 .....  
**振とう培養によりEBVの感染は促進する**  
 梅田 実希<sup>1)</sup>, 佐藤 好隆<sup>1,2)</sup>, 岩見 真吾<sup>3)</sup>, 財津 桂<sup>4)</sup>, 奥野 友介<sup>5)</sup>, 渡辺 崇広<sup>1)</sup>, 村田 貴之<sup>6)</sup>, 木村 宏<sup>1)</sup>  
 1)名古屋大学大学院 医学系研究科 ウイルス学, 2)JST さきがけ, 3)名古屋大学大学院 理学研究科 生命理学専攻 異分野融合生物学, 4)名古屋大学大学院 医学系研究科 法医・生命倫理学, 5)名古屋市立大学大学院 医学研究科 ウイルス学, 6)藤田医科大学 医学部 ウイルス・寄生虫学
- 01-39 **STING inhibitor suppresses EBV-induced lymphomagenesis**  
 .....  
**STING阻害剤はEBV関連リンパ増殖異常症の発症を抑制する**  
 渡辺 崇広<sup>1)</sup>, 宮城 尚平<sup>1)</sup>, 原 優矢<sup>1)</sup>, 新 政隆<sup>1)</sup>, Uddin Md. Kamal<sup>1)</sup>, 柳 裕介<sup>1)</sup>, 鈴木 健史<sup>1)</sup>, 佐藤 好隆<sup>1)</sup>, 村田 貴之<sup>1,2)</sup>, 木村 宏<sup>1)</sup>  
 1)名古屋大学大学院医学系研究科ウイルス学, 2)藤田医科大学医学部ウイルス・寄生虫学
- 01-40 **Structural variations of the Epstein-Barr virus genome in hematological and epithelial cell malignancies**  
 .....  
**血液悪性疾患と上皮性悪性腫瘍由来におけるEpstein-Barrウイルス(EBV)ゲノムの構造変化**  
 奥野 友介<sup>1)</sup>, 村田 貴之<sup>2)</sup>, 佐藤 好隆<sup>3)</sup>, 伊藤 嘉規<sup>3)</sup>, 澤田 明久<sup>4)</sup>, 大島 孝一<sup>5)</sup>, 加藤 省一<sup>6)</sup>, 中黒 匡人<sup>7)</sup>, 佐藤 啓<sup>8)</sup>, 木村 宏<sup>3)</sup>  
 1)名古屋市立大学, 2)藤田医科大学, 3)名古屋大学, 4)大阪母子医療センター, 5)久留米大学, 6)愛知県がんセンター, 7)名古屋大学医学部附属病院, 8)愛知医科大学
- 01-41 **Efficacy of the antipsychotic drug pimozide against KSHV-infected PEL cells**  
 .....  
**抗精神病薬ピモジドのKSHV感染PEL細胞に対する有効性**  
 森 直樹<sup>1)</sup>, 石川 千恵<sup>1,2)</sup>  
 1)琉球大学大学院医学研究科微生物学・腫瘍学講座, 2)琉球大学亜熱帯島嶼科学超越研究推進機構

01-42(MS2-01) Analysis of intestinal bacterial products inducing hepatitis in Murine  $\gamma$ -herpesvirus primary infected mice

マウス $\gamma$ ヘルペスウイルス初感染マウス肝炎を引き起こす腸内細菌産物の解析

金井 亨輔, 景山 誠二

鳥取大学

Live discussion1 Day 1. November 16 [Tue] 10:00~10:30

Hepatitis virus 1

02-19 The kinesin KIF4 is essential to promote HBV/HDV entry through the regulation of surface localization of NTCP, and is a possible target for anti-HBV/HDV therapy

Sameh A. Gad<sup>1,5</sup>, Kosho Wakae<sup>1</sup>, Kento Fukano<sup>1</sup>, Takanobu Kato<sup>1</sup>, Ikuo Shoji<sup>2</sup>, Kunitada Shimotohno<sup>3</sup>, Kazuaki Chayama<sup>4</sup>, Masamichi Muramatsu<sup>1</sup>, Takaji Wakita<sup>1</sup>, Tomoyoshi Nozaki<sup>5</sup>, Hussein H. Aly<sup>1</sup>

1) Department of Virology 2, National Institute of Infectious Diseases, 2) Division of Infectious Disease Control, Kobe University, Japan, 3) Center for Hepatitis and Immunology, National Center for Global Health and Medicine, 4) Collaborative Research Laboratory of Medical Innovation, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University, 5) Department of Biomedical Chemistry, Graduate School of Medicine The University of Tokyo

02-20 A bile acid derivative, INT-767, is an HBV entry inhibitor that targets the HBV envelope proteins

HBVに作用して侵入阻害効果を持つ胆汁酸誘導体によるHBV侵入阻害剤の開発

奥村 彰規, 伊藤 清顕, 米田 政志

愛知医科大学

02-21 Functional relevance between NTCP oligomerization and EGFR during hepatitis B virus internalization

Kento Fukano<sup>1</sup>, Mizuki Oshima<sup>1,2</sup>, Senko Tsukuda<sup>1,3</sup>, Hideki Aizaki<sup>1</sup>, Mio Ohki<sup>4</sup>, Sam-Yong Park<sup>4</sup>, Takaji Wakita<sup>1</sup>, Kousho Wakae<sup>1</sup>, Koichi Watashi<sup>1,2,5</sup>, Masamichi Muramatsu<sup>1</sup>

1) Department of Virology II, National Institute of Infectious Diseases, 2) Department of Applied Biological Science, Tokyo University of Science, 3) Nuffield Department of Medicine, University of Oxford, 4) Drug Design Laboratory, Graduate School of Medical Life Science, Yokohama City University, 5) Research Center for Drug and Vaccine Development, National Institute of Infectious Diseases

深野 顕人<sup>1</sup>, 大嶋 美月<sup>1,2</sup>, 九十田千子<sup>1,3</sup>, 相崎 英樹<sup>1</sup>, 大木 規央<sup>4</sup>, 朴 三用<sup>4</sup>, 脇田 隆字<sup>1</sup>, 若江 亨祥<sup>1</sup>, 渡士 幸一<sup>1,2,5</sup>, 村松 正道<sup>1</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部, 2) 東京理科大学大学院 理工学研究科 応用生物科学専攻, 3) オックスフォード大学, 4) 横浜国立大学 生命医科学研究科 構造創薬科学研究室, 5) 国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター

02-22 Production and Application of replication competent recombinant HBV with PA-tagged HBV polymerase

PAタグ化HBVpolをもつ組換えHBV粒子産生とHBVpol発現・機能動態追跡の試み

森田 千晴, 和田 真実, 上田 啓次

大阪大学

- 02-23 **Hepatitis B virus cccDNA generation is enhanced by the approved anti-tumor drug Mitoxantrone**  
 .....  
**B型肝炎ウイルスcccDNAの生成は抗腫瘍薬ミトキサントロンにより促進される**  
 堀田 博<sup>1,2)</sup>, 西本 幸子<sup>1)</sup>, 鄧 琳<sup>2)</sup>, 鞠 千恵<sup>2)</sup>, 勝二 郁夫<sup>2)</sup>, 脇田 隆宇<sup>3)</sup>, 村松 正道<sup>3)</sup>  
 1) 甲南女子大学, 2) 神戸大学, 3) 国立感染症研究所
- 02-24 **Nucleosome assembly proteins SET/TAF-I and H2AX regulate HBV cccDNA formation**  
 .....  
**SET/TAF-IおよびH2AXはHBV cccDNA形成に関与する**  
 伊藤 昌彦, 鈴木 哲朗  
 浜松医科大学
- 02-25 **Regulation of HBV RNAs by nonsense-mediated mRNA decay pathway controls viral replication**  
 .....  
 Masami Wada, Eriko Ohsaki, Keiji Ueda  
 Osaka University  
 和田 真実, 大崎恵理子, 上田 啓次  
 大阪大学
- 02-26 **Activation of Nrf2/ARE signaling pathway upon hepatitis B virus infection inhibits viral replication**  
 .....  
 Adi Ariffianto<sup>1)</sup>, Lin Deng<sup>1)</sup>, Yujiao Liang<sup>1)</sup>, Chieko Matsui<sup>1)</sup>, Takayuki Abe<sup>1)</sup>,  
 Yoshiharu Matsuura<sup>2)</sup>, Ikuo Shoji<sup>1)</sup>  
 1) Division of Infectious Disease Control, Center for Infectious Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan, 2) Center for Infectious Diseases Education and Research, Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, Osaka, Japan
- 02-27 **Improvement of delivery system for CRISPR/Cas9-mediated targeting of hepatitis B virus using lipid nanoparticles**  
 .....  
 Mohammad EH Kayesh<sup>1)</sup>, Yuichi Suzuki<sup>2)</sup>, Haruno Onuma<sup>2)</sup>, Yusuke Sato<sup>2)</sup>,  
 Hideyoshi Harashima<sup>2)</sup>, Michinori Kohara<sup>3)</sup>, Kyoko Kohara<sup>1)</sup>  
 1) Kagoshima University, 2) Hokkaido University, 3) The Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science  
 Md Kayesh<sup>1)</sup>, 鈴木 裕一<sup>2)</sup>, 小沼はるの<sup>2)</sup>, 佐藤 悠介<sup>2)</sup>, 原島 秀吉<sup>2)</sup>, 小原 道法<sup>3)</sup>, 小原 恭子<sup>1)</sup>  
 1) 鹿児島大学, 2) 北海道大学, 3) 東京都医学総合研究所
- 02-28 **Identification of antiviral agents targeting HBV Enhancer I-X promoter**  
 .....  
**HBV Enhancer I-X promoterをターゲットとした抗HBV化合物の同定**  
 山下 篤哉, 田中 智久, 葛西 宏威, 森石 恆司  
 山梨大学
- 02-29 **Control of HBV cccDNA using hepatocyte-tropic innate immunity inducer**  
 .....  
**肝実質細胞指向性自然免疫誘導剤を用いたHBV cccDNAの制御**  
 山本 直樹<sup>1)</sup>, 佐藤 悠介<sup>2)</sup>, 村上 周子<sup>3)</sup>, 棟方 翼<sup>1)</sup>, 田中 靖人<sup>4)</sup>, 原島 秀吉<sup>2)</sup>, 小原 道法<sup>1)</sup>  
 1) 東京都医学総合研究所, 2) 北海道大学, 3) 名古屋市立大学, 4) 熊本大学

**O2-30 Identification of an oxysterol derivative that inhibits HBV infection by interrupting NTCP oligomerization.**

Mizuki Oshima<sup>1,2)</sup>, Kento Fukano<sup>1)</sup>, Masashi Iwamoto<sup>1)</sup>, Frank Stappenbeck<sup>3)</sup>, Feng Wang<sup>3)</sup>, Xin Zheng<sup>1)</sup>, Masako Yamasaki<sup>1,2)</sup>, Kousho Wakae<sup>1)</sup>, Hideki Aizaki<sup>1)</sup>, Kouji Kuramochi<sup>2)</sup>, Masamichi Muramatsu<sup>1)</sup>, Takaji Wakita<sup>1)</sup>, Farhad Parhami<sup>3)</sup>, Koichi Watashi<sup>1,2,4)</sup>

1) Department of Virology II, National Institute of Infectious Diseases, 2) Tokyo University of Science, Graduate School of Science and Technology, 3) MAX BioPharma, Inc, 4) Research Center for Drug and Vaccine Development, National Institute of Infectious Diseases.

大嶋 美月<sup>1,2)</sup>, 深野 顕人<sup>1)</sup>, 岩本 将士<sup>1)</sup>, Frank Stappenbeck<sup>3)</sup>, Feng Wang<sup>3)</sup>, Xin Zheng<sup>1)</sup>, 山崎 雅子<sup>1,2)</sup>, 若江 亨祥<sup>1)</sup>, 相崎 英樹<sup>1)</sup>, 倉持 幸司<sup>2)</sup>, 村松 正道<sup>1)</sup>, 脇田 隆字<sup>1)</sup>, Farhad Parhami<sup>3)</sup>, 渡士 幸一<sup>1,2,4)</sup>

1) 国立感染症研究所ウイルス第二部, 2) 東京理科大学大学院理工学研究科応用生物科学専攻, 3) MAX BioPharma社, 4) 国立感染症研究所治療薬・ワクチン開発研究センター

**O2-31 Monoclonal antibodies that recognize spatial epitopes of SHBs neutralize HBV infection**

He Zhang<sup>1)</sup>, Yumi Itoh<sup>1)</sup>, Tatsuya Suzuki<sup>1)</sup>, Yoshiharu Matsuura<sup>2)</sup>, Toru Okamoto<sup>1)</sup>

1) Institute for Advanced Co-Creation Studies, Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, 2) Laboratory of Viral Control, Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University

張 赫<sup>1)</sup>, 伊東 祐美<sup>1)</sup>, 鈴木 達也<sup>1)</sup>, 松浦 善治<sup>2)</sup>, 岡本 徹<sup>1)</sup>

1) 大阪大学/微生物病研究所/高等共創研究院, 2) 大阪大学/微生物病研究所/ウイルス制御学グループ

**O2-32 Identification and characterization of novel deltaviruses revealed the diversity of strategy for deltavirus transmission**

新規デルタウイルスの同定と性状解析により明らかとなったデルタウイルス伝播戦略の多様性について

岩本 将士<sup>1,6)</sup>, 柴田ゆき野<sup>2)</sup>, 川崎 純菜<sup>3)</sup>, 小嶋 将平<sup>4)</sup>, Yung-Tsung Li<sup>5)</sup>, 岩見 真吾<sup>6)</sup>, 村松 正道<sup>1)</sup>, Hui-Lin Wu<sup>5)</sup>, 和多 和宏<sup>2)</sup>, 朝長 啓造<sup>3)</sup>, 渡士 幸一<sup>7)</sup>, 堀江 真行<sup>8)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部, 2) 北海道大学大学院 生命科学学院, 3) 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所, 4) 理化学研究所 生命医科学研究センター, 5) Hepatitis Research Center, National Taiwan University Hospital, 6) 名古屋大学大学院 理学研究科, 7) 国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター, 8) 大阪府立大学 生命環境科学研究科

**O2-33 Development of recombinant hepatitis E virus harboring nanoKAZ gene and its application to drug screening**

Putu Prathiwi Primadharsini<sup>1)</sup>, Shigeo Nagashima<sup>1)</sup>, Takashi Nishiyama<sup>2)</sup>, Masaharu Takahashi<sup>1)</sup>, Hiroaki Okamoto<sup>1)</sup>, Kazumoto Murata<sup>1)</sup>

1) Division of Virology, Department of Infection and Immunity, Jichi Medical University School of Medicine, 2) Laboratory for Drug Target Research, Bioscience and Biotechnology, Faculty of Agriculture, Shinshu University

プリマダルシニプトウ プラティウイ<sup>1)</sup>, 長嶋 茂雄<sup>1)</sup>, 西山 尚志<sup>2)</sup>, 高橋 雅春<sup>1)</sup>, 岡本 宏明<sup>1)</sup>, 村田 一素<sup>1)</sup>

1) 自治医科大学 医学部 感染・免疫学講座 ウイルス学部門, 2) 信州大学 農学部/大学院農学専攻 創薬標的科学研究室

## Hepatitis virus 2

- 02-34**      **Annexin 5 is involved in the formation of tight junction integrity and negatively regulate HCV propagation**  
 .....  
Takayuki Abe<sup>1)</sup>, Chieko Matsui<sup>1)</sup>, Lin Deng<sup>1)</sup>, Yoshiharu Matsuura<sup>2)</sup>, Ikuo Shoji<sup>1)</sup>  
 1) Division of Infectious Disease Control, Center for Infectious Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine, 2) Center for Infectious Diseases Education and Research (CiDER), Research Institute for Microbial Diseases (RIMD), Osaka University  
阿部 隆之<sup>1)</sup>, 松井千絵子<sup>1)</sup>, 鄧 琳<sup>1)</sup>, 松浦 善治<sup>2)</sup>, 勝二 郁夫<sup>1)</sup>  
 1) 神戸大学大学院 医学研究科 附属感染症センター 感染制御学分野, 2) 大阪大学 感染症総合教育研究拠点 微生物病研究所
- 02-35**      **HCV-induced ROS/JNK signaling pathway activates the E3 ubiquitin ligase Itch to promote the release of HCV particles via polyubiquitylation of VPS4A**  
 .....  
Lin Deng<sup>1)</sup>, Yujiao Liang<sup>1)</sup>, Adi Ariffianto<sup>1)</sup>, Chieko Matsui<sup>1)</sup>, Takayuki Abe<sup>1)</sup>, Masamichi Muramatsu<sup>2)</sup>, Takaji Wakita<sup>2)</sup>, Hideki Shibata<sup>3)</sup>, Masatoshi Maki<sup>3)</sup>, Ikuo Shoji<sup>1)</sup>  
 1) Division of Infectious Disease Control, Kobe University Graduate School of Medicine, 2) Department of Virology II, National Institute of Infectious Diseases, 3) Laboratory of Molecular and Cellular Regulation, Department of Applied Biosciences, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University  
鄧 琳<sup>1)</sup>, 梁 玉姣<sup>1)</sup>, Ariffianto Adi<sup>1)</sup>, 松井千絵子<sup>1)</sup>, 阿部 隆之<sup>1)</sup>, 村松 正道<sup>2)</sup>, 脇田 隆字<sup>2)</sup>, 柴田 秀樹<sup>3)</sup>, 牧 正敏<sup>3)</sup>, 勝二 郁夫<sup>1)</sup>  
 1) 神戸大学大学院医学研究科 感染制御学分野, 2) 国立感染症研究所 ウイルス第二部, 3) 名古屋大学大学院生命農学研究科 応用生命科学専攻 分子細胞制御学研究室
- 02-36**      **Hepatitis C Virus Infection Promotes the Lysosomal Degradation of Diacylglycerol O-acyltransferase 1 (DGAT1)**  
 .....  
Putu Yulindari<sup>1,2)</sup>, Chieko Matsui<sup>1)</sup>, Lin Deng<sup>1)</sup>, Takayuki Abe<sup>1)</sup>, Ikuo Shoji<sup>1)</sup>  
 1) Division of Infectious Disease Control, Center for Infectious Diseases, Kobe University, Graduate School of Medicine, Kobe, Japan, 2) Department of Clinical Microbiology, Faculty of Medicine, Udayana University, Bali, Indonesia
- 02-37**      **HCV infection disrupts hepcidin-ferroportin system, leading to elevated intracellular iron levels**  
 .....  
Masahiko Ito, Kazuyoshi Ohta, Kenji Nakashima, Tetsuro Suzuki  
 Hamamatsu University School of Medicine  
伊藤 昌彦, 太田 和義, 中島 謙治, 鈴木 哲朗  
 浜松医科大学
- 02-38**      **Regulatory mechanism of polycomb suppressive complex 1 activity by HCV infection**  
 .....  
**HCV感染によるポリコム抑制複合体1活性制御の分子機序**  
葛西 宏威, 山下 篤哉, 田中 智久, 赤池 康範, 大津 直樹, 森石 恆司  
 山梨大学 医学部 微生物学

**02-39 HCV NS3/4A protease cleaves SPG20 for formation of large lipid droplets**

Chieko Matsui, Putu Yuliandari, Lin Deng, Takayuki Abe, Ikuo Shoji

Division of Infectious Disease Control, Center for Infectious Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine

松井千絵子, Putu Yuliandari, 鄧 琳, 阿部 隆之, 勝二 郁夫

神戸大学大学院医学研究科附属感染症センター 感染制御学分野

**02-40 Investigation of GC content in HCV infection**

Yuhei Morioka<sup>1,2</sup>, Rigel Suzuki<sup>1</sup>, Nobuhiro Kobayashi<sup>1</sup>, Hayato Ito<sup>1</sup>, Kenta Shimizu<sup>1</sup>, Yoshiharu Matsuura<sup>3,4</sup>, Takasuke Fukuhara<sup>1</sup>

1) Department of Microbiology and Immunology, Graduate School of Medicine, Hokkaido University, 2) Graduate School of Frontier Biosciences, Osaka University, 3) Research Institute for Microbial Diseases, 4) Center for Infectious Disease Education and Research

森岡 佑平<sup>1,2</sup>, 鈴木 理滋<sup>1</sup>, 小林 展大<sup>1</sup>, 伊藤 駿<sup>1</sup>, 清水 健太<sup>1</sup>, 松浦 善治<sup>3,4</sup>, 福原 崇介<sup>1</sup>

1) 北海道大学医学研究院病原微生物学教室, 2) 大阪大学大学院生命機能研究科, 3) 大阪大学微生物病研究所, 4) 大阪大学感染症総合教育研究拠点

**02-41 Neoechinulin B and its derivatives, a potent antiviral agents against hepatitis C virus and severe acute respiratory syndrome coronavirus 2**

Masako Yamasaki<sup>1,2</sup>, Hirofumi Ohashi<sup>1,2</sup>, Kota Nishiuchi<sup>1</sup>, Masamichi Muramatsu<sup>2</sup>, Shinji Kamisuki<sup>3</sup>, Koji Kuramochi<sup>1</sup>, Koichi Watashi<sup>2,1</sup>

1) Tokyo University of Science, 2) National Institute of Infectious Diseases, 3) Azabu University

山崎 雅子<sup>1,2</sup>, 大橋 啓史<sup>1,2</sup>, 西内 宏太<sup>1</sup>, 村松 正道<sup>2</sup>, 紙透 伸治<sup>3</sup>, 倉持 幸司<sup>1</sup>, 渡士 幸一<sup>2,1</sup>

1) 東京理科大学, 2) 国立感染症研究所, 3) 麻布大学

**02-42 Cross-species transmission of rat hepatitis virus and its adaptation to mouse**

ラットヘパシウイルスの異種間伝播とマウス適応化

大津 直樹, 田中 智久, 山下 篤哉, 葛西 宏威, 赤池 康範, 森石 恆司

山梨大学 総合研究部 微生物学

Live discussion4 Day 1. November 16 [Tue] 15:00~15:30

**dsRNA virus**

**03-1 A genome-wide CRISPR-Cas9 screening approach to identify host factors for rotavirus infection**

CRISPR-Cas9法によるロタウイルス感染に関与する宿主因子のゲノムワイドスクリーニング

山崎 萌子<sup>1</sup>, 浜島 りな<sup>2</sup>, 金井 祐太<sup>1</sup>, 小瀧 将裕<sup>1</sup>, 南 昌平<sup>1</sup>, 納田遼太郎<sup>1</sup>, Nurdin Jeffery<sup>1</sup>, 小林 剛<sup>1</sup>

1) 大阪大学 微生物病研究所, 2) 名古屋大学大学院生命農学研究科

**03-2 Altered infectivity of rotaviruses in mice treated with antibiotics**

抗生物質を投与したマウスにおけるロタウイルスの増殖能

金井 祐太, Jeffery Nurdin, 南 昌平, 納田遼太郎, 山崎 萌子, 小林 剛

大阪大学

- 03-3 Analysis of correlation between rotavirus antigenemia and antibody responses in acute rotavirus gastroenteritis patients**  
 .....  
**急性ロタウイルス胃腸炎におけるロタウイルス抗原血症と抗体応答の関連性解析**  
 塩谷 泰子<sup>1)</sup>, 河村 吉紀<sup>2)</sup>, 井平 勝<sup>1)</sup>, 平松 裕之<sup>3)</sup>, 鈴木 竜太<sup>3)</sup>, 東本 祐紀<sup>4)</sup>, 小澤 慶<sup>2)</sup>,  
 三浦 浩樹<sup>2)</sup>, 谷口 孝喜<sup>5)</sup>, 河本 聡志<sup>5)</sup>, 吉川 哲史<sup>2)</sup>  
 1) 藤田医科大学 医療科学部 臨床工学科, 2) 藤田医科大学 医学部 小児科, 3) 藤田医科大学病院 薬剤部, 4) 藤田医科大学 医療科学部 臨床検査学科, 5) 藤田医科大学 医学部 ウイルス寄生虫学
- 03-4 Analysis of nutritional status and susceptibility to rotavirus infection in children under 5 years of age in Surabaya, Indonesia.**  
 .....  
**Anisa Lailatul Fitria<sup>1)</sup>, Zayyin Dinana<sup>1)</sup>, Aussie Tahta Maharani<sup>1)</sup>, Laura Navika Yamani<sup>1)</sup>, Juniastuti Juniastuti<sup>1)</sup>, Takako Utsumi<sup>1)</sup>, Soetjipto Soetjipto<sup>1)</sup>, Maria Inge Lusida<sup>1)</sup>, Yujiao Liang<sup>2)</sup>, Chieko Matsui<sup>2)</sup>, Lin Deng<sup>2)</sup>, Takayuki Abe<sup>2)</sup>, Ikuo Shoji<sup>2)</sup>**  
 1) Indonesia-Japan Collaborative Research Center for Emerging and Re-emerging Infectious Diseases, Institute of Tropical Disease, Airlangga University, Surabaya, Indonesia, 2) Center for Infectious Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine, Hyogo, Japan
- 03-5 Characterization of a Nelson Bay orthoreovirus isolated from an Egyptian fruit bat in Zambia**  
 .....  
**ザンビアのエジプトルーセットオオコウモリから単離したネルソンベイオルソレオウイルスの性状解析**  
 播磨 勇人<sup>1)</sup>, 佐々木道仁<sup>1)</sup>, 大場 靖子<sup>1)</sup>, 邱 永晋<sup>1)</sup>, チャングラカテンディ<sup>2)</sup>, 梶原 将大<sup>1)</sup>, シムルンドウエドガー<sup>2)</sup>, 谷口 怜<sup>3)</sup>, 高田 礼人<sup>1)</sup>, 西條 政幸<sup>3)</sup>, ハンゴンベバーナード<sup>2)</sup>, 澤 洋文<sup>1)</sup>  
 1) 北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所, 2) ザンビア大学獣医学部, 3) 国立感染症研究所
- 03-6 Development of an entirely plasmid-based reverse genetics system for 12-segmented double-stranded RNA virus.**  
 .....  
**Ryotaro Nouda<sup>1)</sup>, Shohei Minami<sup>1,2)</sup>, Yuta Kanai<sup>1)</sup>, Takahiro Kawagishi<sup>1)</sup>, Jeffery A. Nurdin<sup>1)</sup>, Moeko Yamasaki<sup>1)</sup>, Ryusei Kuwata<sup>2,3)</sup>, Hiroshi Shimoda<sup>2)</sup>, Ken Maeda<sup>2,4)</sup>, Takeshi Kobayashi<sup>1)</sup>**  
 1) Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, 2) Joint Faculty of Veterinary Medicine, Yamaguchi University, 3) Faculty of Veterinary Medicine, Okayama University of Science, 4) Department of Veterinary Science, National Institute of Infectious Diseases  
**納田遼太郎<sup>1)</sup>, 南 昌平<sup>1,2)</sup>, 金井 祐太<sup>1)</sup>, 川岸 崇裕<sup>1)</sup>, Nurdin Jeffery A.<sup>1)</sup>, 山崎 萌子<sup>1)</sup>, 鎌田 龍星<sup>2,3)</sup>, 下田 宙<sup>2)</sup>, 前田 健<sup>2,4)</sup>, 小林 剛<sup>1)</sup>**  
 1) 大阪大学 微生物病研究所, 2) 山口大学 共同獣医学部, 3) 岡山理科大学 獣医学部, 4) 国立感染症研究所 獣医科学部
- 03-7 Survival strategy of Epizootic Hemorrhagic Disease Virus reassortants**  
 .....  
**流行性出血病ウイルスのリアソートメントパターンとウイルス生存性に関する研究**  
 松田 梢<sup>1)</sup>, 白藤 浩明<sup>2)</sup>, 佐伯 圭一<sup>1)</sup>, 河野 潤一<sup>1)</sup>, 松尾 栄子<sup>1)</sup>  
 1) 神戸大学, 2) 農研機構
- 03-8 Stabilizing mechanisms of foreign gene-inserted Ibaraki virus genome during virus replication**  
 .....  
**オルビウイルスゲノムにおける外来遺伝子の安定性に関する研究**  
 原田 義隆, 植田 悠貴, 佐伯 圭一, 河野 潤一, 松尾 栄子  
 神戸大学

03-9 Protein synthesis of Ibaraki virus requires untranslated regions in its genome

イバラキウイルス翻訳機構に関わる因子の探索

松尾 栄子, 杉本 昌寛, 上野 夏鈴, 佐伯 圭一, 河野 潤一  
神戸大学

Live discussion2 Day 1. November 16 [Tue] 11:00~11:30

negative-strand RNA virus 1

04-1 Molecular mechanisms underlying the cellular entry and host range restriction of Lujo virus

Takeshi Saito, Kosuke Okuya, Takanari Hattori, Masahiro Kajihara, Ayato Takada  
Division of Global Epidemiology, International Institute for Zoonosis Control, Hokkaido University  
齋藤 健, 奥谷 公亮, 服部 貴成, 梶原 将大, 高田 礼人  
北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所 国際疫学部門

04-2 A specific region within the 3'-UTR of LCMV mRNA regulates translation efficiency

LCMV mRNAの3'-UTR内の特定の領域が翻訳効率を制御する

橋爪 芽衣, 高嶋 綾子, 岩崎 正治  
大阪大学微生物病研究所

04-3 Avoidance of cell death in LCMV-infected cells by induction of autophagy

オートファジー誘導によるリンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス感染細胞の細胞死回避

梶川 純一<sup>1,2)</sup>, 平林 愛<sup>1)</sup>, 宮本 翔<sup>1)</sup>, 高松 由基<sup>1,7)</sup>, 胡 上帆<sup>1,2)</sup>, 野澤 孝志<sup>3)</sup>, 中川 一路<sup>3)</sup>, 浦田 秀造<sup>5,6)</sup>, 安田 二郎<sup>5,6)</sup>, 遊佐 宏介<sup>4)</sup>, 中野 雅博<sup>1,2)</sup>, 村本裕紀子<sup>1,2)</sup>, 野田 岳志<sup>1,2)</sup>  
1) 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 微細構造ウイルス学分野, 2) 京都大学 大学院生命科学研究科 微細構造ウイルス学分野, 3) 京都大学 大学院医学研究科 微生物感染症学分野, 4) 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 幹細胞遺伝学学分野, 5) 長崎大学 熱帯医学研究所(熱研)新興感染症学分野, 6) 長崎大学 感染症共同研究拠点(CCPID), 7) フィリップ大学マールブルク(ドイツ)ウイルス学研究所

04-4 Identification and mechanism of action of a novel inhibitor against Lassa virus ribonucleoprotein activity

Keita Mizuma<sup>1)</sup>, Ayako Takashima<sup>1)</sup>, Juan C. de la Torre<sup>2)</sup>, Masaharu Iwasaki<sup>1)</sup>  
1) Laboratory of Emerging Viral Diseases, International Research Center for Infectious Diseases, Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, Osaka, Japan, 2) Department of Immunology and Microbiology, Scripps Research, La Jolla, California, USA  
水間 奎太<sup>1)</sup>, 高嶋 綾子<sup>1)</sup>, de la Torre Juan C.<sup>2)</sup>, 岩崎 正治<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学 微生物病研究所 感染症国際研究センター 新興ウイルス感染症研究グループ, 2) Department of Immunology and Microbiology, Scripps Research, La Jolla, California, USA

04-5 Estrogen Receptor Agonist Inhibits Lassa Virus Entry

エストロゲン受容体作動薬はラッサウイルスの細胞侵入を阻害する

張 子涵<sup>1,2,3)</sup>, 武長 徹<sup>1,2,3)</sup>, 村本裕紀子<sup>1,2,3)</sup>, Katharina Fehling Sarah<sup>4)</sup>, 平林 愛<sup>1,2,3)</sup>, 高松 由基<sup>1)</sup>, 梶川 純一<sup>1,2,3)</sup>, 宮本 翔<sup>1)</sup>, 中野 雅博<sup>1,2,3)</sup>, 浦田 秀造<sup>5)</sup>, Groseth Allison<sup>4,6)</sup>, Strecker Thomas<sup>4)</sup>, 野田 岳志<sup>1,2,3)</sup>  
1) 京都大学 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 微細構造ウイルス学分野, 2) 京都大学 大学院生命科学研究科 微細構造ウイルス学分野, 3) 国立研究開発法人 科学技術振興機構 CREST, 4) ドイツ・フィリップ大学マールブルクウイルス学研究所, 5) 長崎大学 感染症共同研究拠点, 6) フリードリヒ・ロフラー研究所 分子ウイルス学・細胞生物学研究所 アレナウイルス生物学研究室

- 04-6 **Detection of human infections from a novel *Mus*-borne hantavirus in chronic kidney disease of unknown etiology (CKDu) hotspots in Sri Lanka.**  
 .....  
Devinda S. Muthusinghe<sup>1</sup>, Kenta Shimizu<sup>2</sup>, Sithumini M. W. Lokupathirage<sup>1</sup>, Zhouoxing Wei<sup>1</sup>, Keita Matsuno<sup>1,3</sup>, Kumiko Yoshimatsu<sup>1,4</sup>  
 1) Graduate School of Infectious Diseases, Hokkaido University, Japan, 2) Faculty of Medicine, Hokkaido University, Japan, 3) International Institute for Zoonosis Control, Hokkaido University, Japan, 4) Institute for Genetic Medicine, Hokkaido University, Japan
- 04-7 **Establishment of a method to determine the whole genome sequence (end-to-end) of RNA viruses quick and easy**  
 .....  
**迅速・簡便かつ正確なRNAウイルスの全ゲノム配列決定法の確立**  
三須 政康<sup>1,2</sup>, 吉河 智城<sup>2</sup>, 黒須 剛<sup>2</sup>, 高松 由基<sup>2</sup>, 王寺 幸輝<sup>1</sup>, 下島 昌幸<sup>2</sup>, 吉川 正英<sup>1</sup>, 西條 政幸<sup>2</sup>  
 1) 奈良県立医科大学 病原体・感染防御医学教室, 2) 国立感染症研究所 ウイルス第一部
- 04-8 **The role of the novel motif region in Severe fever with thrombocytopenia syndrome virus glycoprotein on formation and releasing of viral particle.**  
 .....  
**重症熱性血小板減少症候群ウイルスの糖タンパク質の新規モチーフ領域が粒子形成および放出に与える影響**  
野田 暉翔<sup>1</sup>, 津田 祥美<sup>2</sup>, 吉松 組子<sup>3</sup>  
 1) 北海道大学 医学部医学科, 2) 長崎大学 感染症共同研究拠点, 3) 北海道大学 遺伝子病制御研究所 附属動物実験施設
- 04-9 **A novel virulence factor of SFTS virus**  
 .....  
**SFTSウイルスの新規病原因子の同定**  
下島 昌幸, 米満 研三, 網 康至, 杉元 聡子, 高松 由基, 吉河 智城, 黒須 剛, 西條 政幸  
 国立感染症研究所
- 04-10 **Isolation of SFTSV from cats and dogs and the phylogenetic analysis**  
 .....  
**国内のネコ及びイヌ由来SFTSウイルスの分離と系統解析**  
石嶋 慧多<sup>1</sup>, 朴ウンシル<sup>1</sup>, 立本 完吾<sup>1,2</sup>, 黒田 雄大<sup>1,2</sup>, ビルヘス メンドーサミラグロス<sup>1,2</sup>, 井上 雄介<sup>1,2</sup>, 原田 倫子<sup>1,2</sup>, 鋦田 龍星<sup>3</sup>, 下田 宙<sup>2</sup>, 松嶋 彩<sup>4</sup>, 森川 茂<sup>3</sup>, 前田 健<sup>1,2</sup>  
 1) 国立感染症研究所・獣医科学部, 2) 山口大学・共同獣医学研究科, 3) 岡山理科大学・獣医学部, 4) 鹿児島大・共同獣医学研究科
- 04-11 **Contribution of humoral immunity in mice induced by a smallpox vaccine strain LC16m8-based recombinant vaccine harboring SFTS viral genes**  
 .....  
**SFTSウイルス遺伝子を保持する高度弱毒化痘そうワクチン株LC16m8を免疫したマウスで誘導される液性免疫のワクチン効果への寄与**  
吉河 智城, 三須 政康, 黒須 剛, 高松 由基, 杉元 聡子, 下島 昌幸, 西條 政幸  
 国立感染症研究所 ウイルス第一部
- 04-12 **Development of an efficient entry assay for Crimean-Congo hemorrhagic fever virus to identify novel entry inhibitors**  
 .....  
Yasuteru Sakurai<sup>1,2</sup>, Minato Hirano<sup>2</sup>, Yohei Kurosaki<sup>2</sup>, Kentaro Yoshii<sup>2</sup>, Jiro Yasuda<sup>1,2</sup>  
 1) Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, 2) National Research Center for the Control and Prevention of Infectious Diseases, Nagasaki University  
櫻井 康晃<sup>1,2</sup>, 平野 湊<sup>2</sup>, 黒崎 陽平<sup>2</sup>, 好井健太郎<sup>2</sup>, 安田 二郎<sup>1,2</sup>  
 1) 長崎大学熱帯医学研究所, 2) 長崎大学感染症共同研究拠点

04-13 **Development and application of minigenome and transcriptionally competent virus-like particle system of Crimean-Congo hemorrhagic fever virus**

Minato Hirano, Yasuteru Sakurai, Shuzo Urata, Yohei Kurosaki, Jiro Yasuda, Kentaro Yoshii  
Nagasaki University

平野 港, 櫻井 康晃, 浦田 秀造, 黒崎 陽平, 安田 二郎, 好井健太郎  
長崎大学

04-14(MS2-02) **A novel nairovirus associated with acute febrile illness in Hokkaido**

Keita Matsuno<sup>1)</sup>, Fumihiro Kodama<sup>2,3)</sup>, Hiroki Yamaguchi<sup>4)</sup>, Eunsil Park<sup>5)</sup>, Kango Tatamoto<sup>5)</sup>,  
Ken Maeda<sup>5)</sup>, Masayuki Saijo<sup>5)</sup>

1) Hokkaido University, 2) Sapporo City General Hospital, 3) Nagaoka Red Cross Hospital, 4) Hokkaido Institute of  
Public Health, 5) National Institute of Infectious Diseases

松野 啓太<sup>1)</sup>, 児玉 文宏<sup>2,3)</sup>, 山口 宏樹<sup>4)</sup>, バクウンシル<sup>5)</sup>, 立本 完吾<sup>5)</sup>, 前田 健<sup>5)</sup>, 西條 政幸<sup>5)</sup>

1) 北海道大学, 2) 市立札幌病院, 3) 長岡赤十字病院, 4) 北海道立衛生研究所, 5) 国立感染症研究所

04-15 **Identification of novel orthonairoviruses in rodents and shrews in Gabon, Central Africa.**

Takehiro Ozeki<sup>1,2)</sup>, Haruka Abe<sup>1)</sup>, Yuri Ushijima<sup>1)</sup>, Chimène Nze-Nkogoue<sup>3)</sup>,  
Etienne F. Akomo-Okoue<sup>3)</sup>, Ghislain W.E. Ella<sup>3)</sup>, Lilian B.M. Koumba<sup>3)</sup>, Branly C.B.B. Nso<sup>3)</sup>,  
Rodrigue Mintsang-Nguema<sup>3)</sup>, Patrice Makouloutou-Nzassi<sup>3)</sup>, Boris K. Makanga<sup>3)</sup>,  
Fred L.M. Nguelet<sup>3)</sup>, Georgelin Nguema Ondo<sup>4)</sup>, Marien J.V.M. Mbadinga<sup>4)</sup>, Rodrigue Bikangui<sup>4)</sup>,  
Yohei Kurosaki<sup>1,5)</sup>, Armel V.N. Mbouna<sup>4)</sup>, Marguerite Massinga-Loembe<sup>6)</sup>, Selidji T. Agnandji<sup>4)</sup>,  
Bertrand Lell<sup>4)</sup>, Jiro Yasuda<sup>1,2,5)</sup>

1) Department of Emerging Infectious Diseases, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, 2) Graduate  
School of Biomedical Sciences, Nagasaki University, 3) Institut de Recherche en Ecologie Tropicale, 4) Centre de  
Recherches Médicales de Lambaréné, 5) National Research Center for the Control and Prevention of Infectious  
Diseases (CCPID), Nagasaki University, 6) Africa Centres for Disease Control and Prevention

大関 雄大<sup>1,2)</sup>, 阿部 遥<sup>1)</sup>, 牛島 由理<sup>1)</sup>, Chimène Nze-Nkogoue<sup>3)</sup>, Etienne Akomo-Okoue<sup>3)</sup>,  
Ghislain Ella<sup>3)</sup>, Lilian Koumba<sup>3)</sup>, Branly Nso<sup>3)</sup>, Rodrigue Mintsang-Nguema<sup>3)</sup>,  
Patrice Makouloutou-Nzassi<sup>3)</sup>, Boris Makanga<sup>3)</sup>, Fred Nguelet<sup>3)</sup>, Georgelin Ondo<sup>4)</sup>,  
Marien Mbadinga<sup>4)</sup>, Rodrigue Bikangui<sup>4)</sup>, 黒崎 陽平<sup>1,5)</sup>, Armel Mbouna<sup>4)</sup>,  
Marguerite Massinga-Loembe<sup>6)</sup>, Selidji Agnandji<sup>4)</sup>, Bertrand Lell<sup>4)</sup>, 安田 二郎<sup>1,2,5)</sup>

1) 長崎大学 熱帯医学研究所 新興感染症学分野, 2) 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科, 3) ガボン熱帯生態学研究所,  
4) ランバレネ医療研究センター, 5) 長崎大学 感染症共同研究拠点, 6) アフリカ疾病予防管理センター

04-16 **Establishment of detection system for arthropod-borne Orthobunyavirus and surveillance in wild animals**

節足動物媒介性オルソブニヤウイルスであるオロプーシュウイルス特異的な競合ELISA系の  
確立と国内野生動物における感染状況の調査

河原 円香<sup>1)</sup>, 加藤 博史<sup>1)</sup>, 吉河 智城<sup>1)</sup>, 北浦 慧<sup>1,2)</sup>, 佐藤 正明<sup>1)</sup>, 立本 完吾<sup>3)</sup>, 前田 健<sup>3)</sup>,  
荻和 宏明<sup>4)</sup>, 西條 政幸<sup>1,5)</sup>, 伊藤 (高山) 陸代<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第一部, 2) 東京大学大学院医学系研究科 博士課程 内科学専攻, 3) 国立感染症研究所 獣  
医科学部, 4) 北海道大学大学院 獣医学研究院 獣医学部門, 5) 札幌市保健福祉局 保健所 医療政策部

04-17 **Establishment of a reverse genetics system of a rabies virus strain isolated from a dog in Japan in the 1940s**

1940年代に我が国の犬から分離された狂犬病ウイルス株のリバースジェネティクス法の確  
立

高橋 龍樹<sup>1,2)</sup>, 犬飼 真秀<sup>3)</sup>, 泉 郁輝<sup>3)</sup>, 藤井 祐至<sup>3)</sup>, 西山 祥子<sup>3)</sup>, 正谷 達磨<sup>3)</sup>, 杉山 誠<sup>3)</sup>,  
伊藤 直人<sup>1,3)</sup>

1) 岐阜大学連合獣医学研究科, 2) 群馬大学医学系研究科, 3) 岐阜大学応用生物科学部 人獣共通感染症学

- 04-18 Development of pseudotyped VSV for detection of antibodies against lyssaviruses**  
 シュードタイプVSVを用いたリッサウイルスの抗体検出  
 井上 雄介<sup>1)</sup>, 加来 義浩<sup>1)</sup>, 井上 智<sup>1)</sup>, 野口 章<sup>1)</sup>, 原田 倫子<sup>1,2)</sup>, 石嶋 慧多<sup>1)</sup>, 黒田 雄大<sup>1,2)</sup>, 立本 完吾<sup>1,2)</sup>, Milagros Virhuez Mendoza<sup>1,2)</sup>, Thanmaporn Phichitrasilp<sup>3)</sup>, 鎌田 龍星<sup>4)</sup>, 下田 宙<sup>2)</sup>, 前田 健<sup>1,2)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 獣医科学部, 2) 山口大学共同獣医学部, 3) カセサート大学, 4) 岡山理科大学
- 04-19 Trial forward to improvement of rabies vaccine**  
 狂犬病ワクチンの改良に向けた試み  
 原田 倫子<sup>1,2)</sup>, 野口 章<sup>1)</sup>, 朴ウンシル<sup>1)</sup>, 加来 義浩<sup>1)</sup>, 井上 雄介<sup>1,2)</sup>, 黒田 雄大<sup>1,2)</sup>, 立本 完吾<sup>1,2)</sup>, Milagros Virhuez Mendoza<sup>1,2)</sup>, 井上 智<sup>1)</sup>, 前田 健<sup>1,2)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 獣医科学部, 2) 山口大学大学院 共同獣医学研究科
- 04-20 High-throughput screening of drug compound library identifies antiviral compounds against Chandipura virus *in vitro***  
 Satoshi Kitaura<sup>1,2)</sup>, Madoka Kawahara<sup>1)</sup>, Masaaki Satoh<sup>1)</sup>, Hirofumi Kato<sup>1)</sup>, Noriko Nakayama<sup>1)</sup>, Mutsuyo Takayama-Ito<sup>1)</sup>, Masayuki Saijo<sup>1)</sup>, Kyoji Moriya<sup>3)</sup>  
 1) Laboratory of Neuroviruses, Virology I, National Institute of Infectious Diseases, 2) Department of Internal Medicine, The University of Tokyo, Graduate School of Medicine, 3) Department of Infectious Diseases, The University of Tokyo  
 北浦 慧<sup>1,2)</sup>, 河原 円香<sup>1)</sup>, 佐藤 正明<sup>1)</sup>, 加藤 博史<sup>1)</sup>, 仲山 紀子<sup>1)</sup>, 伊藤(高山)睦代<sup>1)</sup>, 西條 政幸<sup>1)</sup>, 森屋 恭爾<sup>3)</sup>  
 1) 国立感染症研究所ウイルス第一部, 2) 東京大学大学院医学系研究科 博士課程 内科学専攻, 3) 東京大学医学部附属病院 感染症内科
- 04-21 Additional expression of matrix protein and glycoprotein facilitates infectious virus production of Borna disease virus 1**  
 Takehiro Kanda, Madoka Sakai, Akiko Makino, Keizo Tomonaga  
 Kyoto University  
 神田 雄大, 酒井まどか, 牧野 晶子, 朝長 啓造  
 京都大学ウイルス再生医科学研究所RNAウイルス分野
- 04-22 BUD23-TRMT112 mediates the chromosomal tethering of Borna disease virus 1 and catalyzes the m<sup>7</sup>G methylation of the viral RNA**  
 Bea Clarise Baluyot Garcia<sup>1,2)</sup>, Masayuki Horie<sup>3)</sup>, Shohei Kojima<sup>4)</sup>, Keizo Tomonaga<sup>1,2)</sup>  
 1) Laboratory of RNA Viruses, Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University, 2) Department of Mammalian Regulatory Network, Division of Systemic Life Science, Graduate School of Biostudies, Kyoto University, 3) Laboratory of Veterinary Microbiology, Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefectural University, 4) Genome Immunobiology RIKEN Hakubi Research Team, RIKEN Center for Integrative Medical Sciences

**04-23 Borna disease virus matrix protein is incorporated into host stress granules.**

Yahiro Mukai<sup>1)</sup>, Masayuki Horie<sup>3)</sup>, Keizo Tomonaga<sup>1,2,4)</sup>

1) Laboratory of RNA Viruses, Department of Virus Research, Institute for Frontier Life and Medical Sciences (InFRONT), Kyoto University, 2) Department of Mammalian Regulatory Network, Graduate School of Biostudies, Kyoto University, 3) Laboratory of Veterinary Microbiology, Division of Veterinary Sciences, Graduate school of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University, 4) Department of Molecular Virology, Graduate School of Medicine, Kyoto University

向井 八尋<sup>1)</sup>, 堀江 真行<sup>3)</sup>, 朝長 啓造<sup>1,2,4)</sup>

1) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所RNAウイルス分野, 2) 京都大学大学院生命科学研究科生体動態制御学分野, 3) 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻獣医微生物学教室, 4) 京都大学大学院医学研究科分子ウイルス学分野

**04-24 Long-term effects of corticosterone in the late stage of mice infected with Borna disease virus 1**

**ボルナ病ウイルス1感染マウスにおけるコルチコステロンの長期的影響**

奥西 慧菜<sup>1)</sup>, 秋山総一郎<sup>1)</sup>, 深田 彩人<sup>1)</sup>, 立花 蓮<sup>1)</sup>, 木村 享史<sup>2)</sup>, 西野 佳以<sup>1)</sup>

1) 京都産業大学大学院・生命科学研究科, 2) 北海道大学大学院・獣医学研究科

**04-25 Borna disease virus 1-infected mice exacerbated by corticosterone pretreatment.**

**コルチコステロン前処置によるボルナ病ウイルス 1感染マウスの病態の悪化**

西野 佳以<sup>1,2)</sup>, 深田 彩人<sup>1)</sup>, 立花 蓮<sup>1)</sup>, 木村 享史<sup>3)</sup>

1) 京都産業大学大学院・生命科学研究科, 2) 京都産業大学・感染症分子研究所, 3) 北海道大学大学院・獣医学研究科

**04-26 Reproductive disorders of Borna Disease virus 1 persistent infected rat**

Sayuri Maeda, Saya Taharaguchi, Minoru Okamoto, Katsuro Hagiwara

Rakuno Gakuen University

前田沙優里, 田原口咲弥, 岡本 実, 萩原 克郎

酪農学園大学

**04-27 A mouse model to test for EVE-derived antiviral activity against Borna disease virus**

Rie Koide<sup>1)</sup>, Takaya Abe<sup>2)</sup>, Anselmo Jiro Kamada<sup>1)</sup>, Yuka Saito<sup>1)</sup>, Matteo Guerrini<sup>1)</sup>, Asami Fujii<sup>1)</sup>, Erica Parrish<sup>1)</sup>, Masayuki Horie<sup>3)</sup>, Hiroshi Kiyonari<sup>2)</sup>, Shigeo Koyasu<sup>1)</sup>, Kazuhiko Yamamoto<sup>1)</sup>, Keizo Tomonaga<sup>4)</sup>, Nicholas Parrish<sup>1)</sup>

1) RIKEN Center for Integrative Medical Sciences, 2) RIKEN Center for Biosystems Dynamics Research, 3) Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University, 4) Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University

小出 りえ<sup>1)</sup>, 阿部 高也<sup>2)</sup>, 鎌田 治郎<sup>1)</sup>, 齋藤 優花<sup>1)</sup>, グェッリーニマッテオ<sup>1)</sup>, 藤井 麻美<sup>1)</sup>, パリスシエリカ<sup>1)</sup>, 堀江 真行<sup>3)</sup>, 清成 寛<sup>2)</sup>, 小安 重夫<sup>1)</sup>, 山本 一彦<sup>1)</sup>, 朝長 啓造<sup>4)</sup>, パリスシニコラス<sup>1)</sup>

1) 理化学研究所 生命医科学研究センター, 2) 理化学研究所 生命機能科学研究センター, 3) 大阪府立大学 大学院生命環境科学研究科, 4) 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所

**04-28 Borna disease virus organizes viral intranuclear inclusion bodies by liquid-liquid phase separation**

**ボルナ病ウイルスは液-液相分離により細胞核内封入体を形成する**

平井 悠哉<sup>3)</sup>, 朝長 啓造<sup>2)</sup>, 堀江 真行<sup>1)</sup>

1) 大阪府立大学, 2) 京都大学, 3) 大阪歯科大学

- 04-29** **Cryo-EM structure of Lloviu cuevavirus nucleoprotein-RNA complex**  
 .....  
Shangfan Hu<sup>1,2,4</sup>, Yoko Fujita<sup>1,2,4</sup>, Yukihiko Sugita<sup>1,2,3,4</sup>, Masahiro Nakano<sup>1,2,4</sup>, Yukiko Muramoto<sup>1,2,4</sup>, Takeshi Noda<sup>1,2,4</sup>  
 1) Laboratory of Ultrastructural Virology, Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University, 2) Laboratory of Ultrastructural Virology, Graduate School of Biostudies, Kyoto University, 3) Hakubi Center for Advanced Research, Kyoto University, 4) CREST, Japan Science and Technology Agency  
胡 上帆<sup>1,2,4</sup>, 藤田 陽子<sup>1,2,4</sup>, 杉田 征彦<sup>1,2,3,4</sup>, 中野 雅博<sup>1,2,4</sup>, 村本裕紀子<sup>1,2,4</sup>, 野田 岳志<sup>1,2,4</sup>  
 1) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 微細構造ウイルス学分野, 2) 京都大学大学院 生命科学研究科 微細構造ウイルス学分野, 3) 京都大学白眉センター, 4) 国立研究開発法人 科学技術振興機構 CREST
- 04-30 (MS3-04)** **Structural insight into Marburg virus nucleoprotein-RNA complex formation**  
 .....  
**マールブルグウイルス 核タンパク質-RNA複合体の構造解析**  
藤田 陽子<sup>1,2,3</sup>, 杉田 征彦<sup>1,3,4</sup>, 高松 由基<sup>1,5</sup>, 祝部 和也<sup>1,2,3</sup>, 五十嵐 学<sup>6</sup>, 角田 優伍<sup>1,2,3</sup>, 村本裕紀子<sup>1,2,3</sup>, 中野 雅博<sup>1,2,3</sup>, Becker Stephan<sup>6,7</sup>, 野田 岳志<sup>2,1,3</sup>  
 1) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 微細構造ウイルス学分野, 2) 京都大学大学院 生命科学研究科 微細構造ウイルス学分野, 3) 国立研究開発法人 科学技術振興機構 CREST, 4) 京都大学白眉センター, 5) 国立感染症研究所ウイルス第一部, 6) 北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所 国際疫学部門, 7) マールブルグ大学ウイルス研究所
- 04-31** **Revealing the molecular mechanisms of filovirus nucleocapsid assembly**  
 .....  
Yuki Takamatsu<sup>1,2,3</sup>, Dolnik Olga<sup>3</sup>, Takeshi Noda<sup>2</sup>, Tomoki Yoshikawa<sup>1</sup>, Takeshi Kurosu<sup>1</sup>, Masayuki Shimojima<sup>1</sup>, Masayuki Saijo<sup>1</sup>, Stephan Becker<sup>3</sup>  
 1) National Institute of Infectious Diseases, 2) Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University, 3) Philipps-Universität Marburg  
高松 由基<sup>1,2,3</sup>, Olga Dolnik<sup>3</sup>, 野田 岳志<sup>2</sup>, 吉河 智城<sup>1</sup>, 黒須 剛<sup>1</sup>, 下島 昌幸<sup>1</sup>, 西條 政幸<sup>1</sup>, Stephan Becker<sup>3</sup>  
 1) 国立感染症研究所, 2) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所, 3) フィリップ大学マールブルグ
- 04-32** **Ebolavirus-encoded major matrix protein induces membrane remodelling to maintain host plasma membrane integrity for viral particles formation**  
 .....  
Asuka Nanbo<sup>1</sup>, Michiko Ujie<sup>2</sup>, Takeshi Saito<sup>3</sup>, Yoichiro Fujioka<sup>4</sup>, Sayaka Kashiwagi<sup>4</sup>, Masaki Imai<sup>2</sup>, Ayato Takada<sup>3</sup>, Yusuke Ohba<sup>4</sup>, Yoshihiro Kawaoka<sup>2</sup>  
 1) Research Center for the Control and Prevention of Infectious Diseases, Nagasaki University, 2) Institute of Medical Science, University of Tokyo, 3) International Institute for Zoonosis Control, Hokkaido University, 4) Faculty of Medicine and Graduate School of Medicine, Hokkaido University  
南保明日香<sup>1</sup>, 氏江美智子<sup>2</sup>, 齋藤 健<sup>3</sup>, 藤岡容一朗<sup>4</sup>, 柏木 彩花<sup>4</sup>, 今井 正樹<sup>2</sup>, 高田 礼人<sup>3</sup>, 大場 雄介<sup>4</sup>, 河岡 義裕<sup>2</sup>  
 1) 長崎大学/感染症共同研究拠点, 2) 東京大学/医科学研究所, 3) 北海道大学/人獣共通感染症国際共同研究所, 4) 北海道大学/大学院医学研究院
- 04-33** **Ebola virus GP activates endothelial cells via host cytoskeletal signaling factor (s)**  
 .....  
Benedicte Mpia Moni<sup>1,2,3</sup>, Yasuteru Sakurai<sup>2,4</sup>, Jiro Yasuda<sup>1,2,4</sup>  
 1) Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University, 2) Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Nagasaki, Japan., 3) National Institute for Biomedical Research, Kinshasa, Democratic Republic of Congo, 4) National Research Center for the Control and Prevention of Infectious Diseases, Nagasaki University, Nagasaki, Japan.

04-34 The Ebola Virus Soluble Glycoprotein Promotes Viral Infectivity via the MAPK Signaling Pathway

Wakako Furuyama<sup>1,2</sup>, Kyle Shifflett<sup>2</sup>, Asuka Nanbo<sup>1</sup>, Andrea Marzi<sup>2</sup>

1) The National Research Center for the Control and Prevention of Infectious Diseases, Nagasaki University,

2) Laboratory of Virology, Division of Intramural Research, National Institute of Allergy and Infectious Diseases, National Institutes of Health

古山 若呼<sup>1,2</sup>, Kyle Shifflett<sup>2</sup>, 南保明日香<sup>1</sup>, Andrea Marzi<sup>2</sup>

1) 長崎大学 感染症共同研究拠点, 2) 米国国立アレルギー感染症研究所

Live discussion3 Day 1. November 16 [Tue] 13:30~14:00

negative-strand RNA virus 2

04-35 Role of the measles virus L protein in the development of subacute sclerosing panencephalitis (SSPE)

亜急性硬化性全脳炎 (SSPE) 発症過程における麻疹ウイルス Lタンパク質の役割

坂本 賢人<sup>1</sup>, 小浪 海峰<sup>1</sup>, 樋口 遥<sup>1</sup>, 姜 大鵬<sup>2</sup>, 脇本 浩史<sup>1</sup>, 亀田 森羅<sup>1</sup>, 佐藤 友人<sup>1</sup>, 北川 善紀<sup>3</sup>, 後藤 敏<sup>3</sup>, 高橋 健一<sup>4</sup>, 堀田 博<sup>2,5</sup>, 伊藤 正恵<sup>1</sup>

1) 長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 微生物学, 2) 神戸大学大学院 医学研究科, 3) 滋賀医科大学 病理学講座 微生物感染症学部門, 4) 長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 生物物理学, 5) 甲南女子大学 医療栄養学部

04-36 Cell adhesion molecule (CADM) 1 and CADM2 enable measles virus spread in subacute sclerosing panencephalitis by *cis*-acting fusion triggering

Yuta Shirogane<sup>1</sup>, Ryuichi Takemoto<sup>1</sup>, Tateki Suzuki<sup>1</sup>, Tomonori Kameda<sup>2</sup>, Kinichi Nakashima<sup>2</sup>, Takao Hashiguchi<sup>1</sup>, Yusuke Yanagi<sup>1</sup>

1) Department of Virology, Faculty of Medicine, Kyushu University, 2) Department of Stem Cell Biology and Medicine, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University

白銀 勇太<sup>1</sup>, 竹本 竜一<sup>1</sup>, 鈴木 干城<sup>1</sup>, 亀田 朋典<sup>2</sup>, 中島 欽一<sup>2</sup>, 橋口 隆生<sup>1</sup>, 柳 雄介<sup>1</sup>

1) 九州大学大学院医学研究院ウイルス学, 2) 九州大学大学院医学研究院基盤幹細胞学

04-37 Short-stalk isoforms of CADM1 and CADM2 induce membrane fusion mediated by hyperfusogenic fusion proteins of neuropathogenic measles viruses

Ryuichi Takemoto<sup>1</sup>, Tateki Suzuki<sup>1</sup>, Takao Hashiguchi<sup>1</sup>, Yusuke Yanagi<sup>1,2</sup>, Yuta Shirogane<sup>1</sup>

1) Department of Virology, Faculty of Medicine, Kyushu University, 2) National Research Center for the Control and Prevention of Infectious Diseases, Nagasaki University

竹本 竜一<sup>1</sup>, 鈴木 干城<sup>1</sup>, 橋口 隆生<sup>1</sup>, 柳 雄介<sup>1,2</sup>, 白銀 勇太<sup>1</sup>

1) 九州大学大学院医学研究院ウイルス学, 2) 長崎大学感染症共同研究拠点

04-38 A regulatory mechanism of low expression of mononegavirus L protein by intergenic trinucleotide sequence and its significance

遺伝子間3塩基配列によるモノネガウイルスL蛋白質の低発現調節メカニズムとその意義

佐々木泰知, 川端 涼子, 坂口 剛正, 入江 崇

広島大学

04-39 Treacle, a nucleolar protein, contributes to the efficient propagation of mumps virus.

核小体タンパク質であるTreacleはムンプスウイルスの効率的な増殖に寄与する

若田 愛加, 加藤 文博, 劉 亜軽, 加藤 大志, 竹田 誠

国立感染症研究所

- 04-40 **Inhibition of infectivity with RS virus by maoto to interact with central conserved domain of G protein**  
 .....  
**麻黄湯はRSウイルスG蛋白上のcentral conserved domainに結合し感染性を阻害する**  
 鍋島 茂樹<sup>1)</sup>, 藤兼 亜耶<sup>1,2)</sup>, 坂本 篤彦<sup>1,2)</sup>, 西 明紀<sup>3)</sup>, 藤兼 亮輔<sup>4)</sup>, 廣松 賢治<sup>2)</sup>  
 1) 福岡大学病院総合診療部, 2) 福岡大学医学部微生物免疫学, 3) (株) ツムラ, 4) 福岡歯科大学分子機能制御学
- 04-41 **Analysis of Respiratory syncytial virus inactivation under low temperature condition**  
 .....  
**低温脆弱性RSVの解析**  
 北井 優貴, 渡邊 王志, 木須 友子, 西村 秀一  
 国立病院機構仙台医療センター臨床研究部ウイルスセンター
- 04-42 **Functional analysis of the SARS-CoV-2 S protein using Sendai virus**  
 .....  
**センダイウイルスを利用したSARS-CoV-2 S蛋白質の機能解析**  
 川端 涼子, 佐々木泰知, 坂口 剛正, 入江 崇  
 広島大学
- 04-43 **Effective inactivation of highly pathogenic virus in serum samples for safe processing in low-containment laboratories**  
 .....  
**高病原性ウイルスを含む血清検体を効果的に不活化する簡便法の検討**  
 渡辺 俊平<sup>1,2)</sup>, 福士 秀悦<sup>2)</sup>, 村木 微香<sup>1)</sup>, 原田 俊彦<sup>3)</sup>, 下島 昌幸<sup>2)</sup>, 吉河 智城<sup>2)</sup>, 黒須 剛<sup>2)</sup>, 加来 義浩<sup>4)</sup>, 森川 茂<sup>1)</sup>, 西條 政幸<sup>2,5)</sup>  
 1) 岡山理科大学 獣医学部, 2) 国立感染症研究所 ウイルス第一部, 3) 国立感染症研究所 安全実験管理部, 4) 国立感染症研究所 獣医科学部, 5) 札幌市保健福祉局 保健所
- 04-44 **Suppressive effects of growth for human parainfluenza virus type 3 (HPIV3) by *in vitro* co-culture with influenza virus**  
 .....  
**インフルエンザウイルスとの*in vitro* 共培養によるヒトパラインフルエンザウイルス3型 (HPIV3) の増殖抑制作用**  
 浜本いつき, 長谷川秀樹, 浅沼 秀樹  
 国立感染症研究所 インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター
- 04-45 **Human H1N1 influenza A viruses utilize sulfated glycans containing  $\alpha$ 2,3-linked sialic acid expressed on the membranes of chicken embryos as receptors**  
 .....  
**ヒトH1N1インフルエンザAウイルスは発育鶏卵の羊膜・尿膜に発現する $\alpha$ 2,3結合シアル酸を含む硫酸化糖鎖分子をレセプターとして利用する**  
 高瀬 明<sup>1,2)</sup>, 一宮 智美<sup>2)</sup>, 岡松 正敏<sup>3)</sup>, 木下 貴明<sup>2,4)</sup>, 小林 大樹<sup>3)</sup>, 市居 修<sup>5,6)</sup>, 山本 直樹<sup>3,7)</sup>, 迫田 義博<sup>3,8)</sup>, 喜田 宏<sup>8)</sup>, 川島 博人<sup>9)</sup>, 山本 一夫<sup>10)</sup>, 西原 祥子<sup>1,2)</sup>  
 1) 創価大 糖鎖生命システム融合研究所, 2) 創価大院 理工学研究科, 3) 北海道大院 獣医 微生物, 4) (現)長崎大 熱帯医学研究所, 5) 北海道大院 獣医 解剖, 6) 北海道大院 農 アグリメディカル, 7) (現)東京都医学総合研究所, 8) 北海道大 人獣共通感染症国際共同研究所, 9) 千葉大院 薬学研究院, 10) 東京大院 新領域創成科学研究科
- 04-46 **Roles of non-structural proteins against production of double-stranded RNA in influenza virus-infected cells**  
 .....  
**インフルエンザウイルス感染細胞内での二本鎖RNA産生に対する非構造蛋白質の役割**  
 中野 雅博<sup>1,2)</sup>, 梶川 純一<sup>1,2)</sup>, 宮本 翔<sup>1,3)</sup>, 大西 知帆<sup>1)</sup>, 村本裕紀子<sup>1,2)</sup>, 野田 岳志<sup>1,2)</sup>  
 1) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所, 2) 京都大学大学院 生命科学研究科, 3) 国立感染症研究所 感染病理部

04-47 **Influenza viral budzone formation in concert with vesicular transport of viral genome ensures functional integrity of virions for immune evasion**

Takahiro Kuroki<sup>1)</sup>, Kohsuke Kato<sup>2)</sup>, Kyosuke Nagata<sup>2)</sup>, Atsushi Kawaguchi<sup>1,2)</sup>

1) Graduate School of Comprehensive Human Sciences, University of Tsukuba, 2) Department of Infection Biology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba

黒木 崇央<sup>1)</sup>, 加藤 広介<sup>2)</sup>, 永田 恭介<sup>2)</sup>, 川口 敦史<sup>1,2)</sup>

1) 筑波大学人間総合科学研究科, 2) 筑波大学医学医療系感染生物学部門

04-48 **Hemagglutinin acid stability and infectivity of H5N6/H5N8 avian influenza viruses**

Tomo Daidoji<sup>1)</sup>, Hiroki Sadakane<sup>1)</sup>, Kotaro Garan<sup>1)</sup>, Yasuha Arai<sup>1)</sup>, Yohei Watanabe<sup>1)</sup>, Tatsufumi Usui<sup>2)</sup>, Takaaki Nakaya<sup>1)</sup>

1) Department of Infectious Diseases, Kyoto Prefectural University of Medicine, 2) Avian Zoonosis Research Center, Faculty of Agriculture, Tottori University

大道寺 智<sup>1)</sup>, 定金 広樹<sup>1)</sup>, 加賀浩太郎<sup>1)</sup>, 荒井 泰葉<sup>1)</sup>, 渡邊 洋平<sup>1)</sup>, 笛吹 達史<sup>2)</sup>, 中屋 隆明<sup>1)</sup>

1) 京都府立医科大学・感染病態学, 2) 鳥取大学・農・鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター

04-49 **Turkeys possess diverse  $\alpha$ 2,3 sialoside on the tracheal epithelia that support dual susceptibility to duck and chicken influenza viruses**

Daiki Kobayashi<sup>1)</sup>, Osamu Ichii<sup>2,3)</sup>, Takahiro Hiono<sup>1)</sup>, Norikazu Isoda<sup>1,4)</sup>, Sayaka Yoden Takase<sup>5)</sup>, Shoko Nishihara<sup>5)</sup>, Kazuo Yamamoto<sup>6)</sup>, Yoshihiro Sakoda<sup>1,4)</sup>

1) Laboratory of Microbiology, Department of Disease Control, Faculty of Veterinary Medicine, Hokkaido University, 2) Laboratory of Anatomy, Department of Basic Veterinary Sciences, Faculty of Veterinary Medicine, Hokkaido University, 3) Laboratory of Agrobiomedical Science, Faculty of Agriculture, Hokkaido University, 4) International Collaboration Unit, International Institute for Zoonosis Control, Hokkaido University, 5) Glycan and Life Systems Integration Center (GaLSIC), Soka University, 6) Department of Integrated Biosciences, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo

小林 大樹<sup>1)</sup>, 市居 修<sup>2,3)</sup>, 日尾野隆大<sup>1)</sup>, 磯田 典和<sup>1,4)</sup>, 高瀬 明<sup>5)</sup>, 西原 祥子<sup>5)</sup>, 山本 一夫<sup>6)</sup>, 迫田 義博<sup>1,4)</sup>

1) 北海道大学大学院 獣医学研究院 微生物学教室, 2) 北海道大学大学院 獣医学研究院 解剖学教室, 3) 北海道大学大学院 農学研究院 アグリメディカル講座, 4) 北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所 国際協働ユニット, 5) 創価大学 糖鎖生命システム融合研究所, 6) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科

04-50 ***In vivo* imaging of the cellular pathophysiology in influenza virus-infected mouse lung**

**インフルエンザウイルス感染肺における免疫細胞応答の2光子生体イメージング解析**

植木 紘史<sup>1,2)</sup>, 河岡 義裕<sup>1,2,3)</sup>

1) 東京大学医科学研究所, 2) 国立国際医療研究センター, 3) University of Wisconsin-Madison

04-51 **Comprehensive repertoire analysis as an alternative method for the evaluation of immunological potency of influenza vaccine**

Masashi Shingai<sup>1)</sup>, Sayaka Iida<sup>1)</sup>, Naoko Kawai<sup>1)</sup>, Mamiko Kawahara<sup>1)</sup>, Toshiki Sekiya<sup>1)</sup>, Marumi Ohno<sup>1)</sup>, Naoki Nomura<sup>1)</sup>, Chimuka Handabile<sup>1)</sup>, Ryosuke Omori<sup>1)</sup>, Junya Yamagishi<sup>1)</sup>, Tadaki Suzuki<sup>2)</sup>, Kaori Sano<sup>2)</sup>, Akira Aina<sup>2)</sup>, Kazuo Ohnishi<sup>2)</sup>, Kimihito Ito<sup>1)</sup>, Hiroshi Kida<sup>1)</sup>

1) Hokkaido University, International Institute for Zoonosis Control, 2) National Institute of Infectious Diseases  
新開 大史<sup>1)</sup>, 飯田さや華<sup>1)</sup>, 河合 直子<sup>1)</sup>, 川原麻弥子<sup>1)</sup>, 関屋 俊輝<sup>1)</sup>, 大野 円実<sup>1)</sup>, 野村 直樹<sup>1)</sup>, ハンダビレチムカ<sup>1)</sup>, 大森 亮介<sup>1)</sup>, 山岸 潤也<sup>1)</sup>, 鈴木 忠樹<sup>2)</sup>, 佐野 芳<sup>2)</sup>, 相内 章<sup>2)</sup>, 大西 和夫<sup>2)</sup>, 伊藤 公人<sup>1)</sup>, 喜田 宏<sup>1)</sup>

1) 北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所, 2) 国立感染症研究所

- 04-52 **Cross-Reactivity of Anti-Neuraminidase Antibodies Induced by Whole Virus Particle Vaccine**  
 .....  
 Chimuka Handabile, Toshiki Sekiya, Naoki Nomura, Marumi Ohno, Masahi Shingai, Hiroshi Kida  
 Hokkaido University, International institute for Zoonosis Control
- 04-53 **The potential of neuraminidase as an antigen for nasal vaccines to increase cross-protection against influenza viruses**  
 .....  
**Neuraminidaseを標的とした経鼻ワクチンの有用性評価**  
 河合 惇志<sup>1,2,3)</sup>, 吉岡 靖雄<sup>1,2,3,4,5)</sup>  
 1) 大阪大学大学院薬学研究科 創薬ナノデザイン学分野, 2) 大阪大学先導的学際研究機構 ワクチン創成グループ,  
 3) 大阪大学微生物病研究所 ワクチン創成グループ, 4) 一般財団法人阪大微生物病研究会 BIKEN次世代ワクチン開発研究センター, 5) 大阪大学国際医工情報センター
- 04-54 **Comparing Antigen-Specific T and B Cell Responses induced by Inactivated Whole Influenza Virus Particle Vaccine and Current Split Vaccine using macaque model**  
 .....  
 Toshiki Sekiya<sup>1)</sup>, Marios Koutsakos<sup>2)</sup>, Brendon Chua<sup>2)</sup>, Naoki Nomura<sup>1)</sup>, Louise Rowntree<sup>2)</sup>, Amy Chung<sup>2)</sup>, Marumi Ohno<sup>1)</sup>, Yasushi Itoh<sup>3)</sup>, Masashi Shingai<sup>1)</sup>, David Jackson<sup>2)</sup>, Lorena Brown<sup>2)</sup>, Katherine Kedzierska<sup>2)</sup>, Hiroshi Kida<sup>1,4)</sup>  
 1) International Institute for Zoonosis Control, Hokkaido University, 2) The University of Melbourne at the Peter Doherty Institute for Infection and Immunity, 3) Division of Pathology and Disease Regulation, Department of Pathology, Shiga University of Medical Science, 4) Collaborating Research Center for the Control of Infectious Diseases, Nagasaki University  
 関屋 俊輝<sup>1)</sup>, Marios Koutsakos<sup>2)</sup>, Brendon Chua<sup>2)</sup>, 野村 直樹<sup>1)</sup>, Louise Rowntree<sup>2)</sup>, Amy Chung<sup>2)</sup>, 大野 円実<sup>1)</sup>, 伊藤 靖<sup>3)</sup>, 新開 大史<sup>1)</sup>, David Jackson<sup>2)</sup>, Lorena Brown<sup>2)</sup>, Katherine Kedzierska<sup>2)</sup>, 喜田 宏<sup>1,4)</sup>  
 1) 北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所, 2) メルボルン大学 ピータードハティ研究所, 3) 滋賀医科大学 病理学講座疾患制御病理学部門, 4) 長崎大学 感染症共同研究拠点
- 04-55 **Synergistic effect of non-neutralizing antibodies and interferon-gamma for cross-protection against influenza**  
 .....  
**CpG核酸と水酸化アルミニウム塩によるインフルエンザワクチンの交差防御能誘導メカニズムの解明**  
 吉岡 靖雄<sup>1,2,3,4,5)</sup>  
 1) 大阪大学先導的学際研究機構, 2) 大阪大学微生物病研究所, 3) 大阪大学大学院薬学研究科, 4) 一般財団法人阪大微生物病研究会, 5) 大阪大学国際医工情報センター
- 04-56 **Introduction of a temperature-sensitive phenotype of influenza A virus into influenza D virus**  
 .....  
**A型インフルエンザウイルス由来の高温感受性変異を導入したD型インフルエンザウイルスの作出**  
 石田 大歩<sup>1,2)</sup>, 上間亜希子<sup>2)</sup>, 村上 晋<sup>2)</sup>, 堀本 泰介<sup>2)</sup>  
 1) テキサス大学医学部, 2) 東京大学院農学生命科学研究科
- 04-57 (MS3-01) **Effect of nasal bacteria in the induction of virus-specific adaptive immune responses**  
 .....  
**上気道常在菌がウイルス特異的な免疫応答に与える影響の解析**  
 長井みなみ<sup>1)</sup>, 森山 美優<sup>2,3)</sup>, 一戸 猛志<sup>1)</sup>  
 1) 東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター 感染制御系 ウイルス学分野, 2) Yale University School of Medicine, 3) 日本学術振興会海外特別研究員

04-58 Characterizations of circulating influenza viruses in the 2020/21 season and selection of vaccine viruses for the 2021/22 season

Shinji Watanabe<sup>1)</sup>, Kazuya Nakamura<sup>1)</sup>, Noriko Kishida<sup>1)</sup>, Seiichiro Fujisaki<sup>1)</sup>, Masayuki Shirakura<sup>1)</sup>, Emi Takashita<sup>1)</sup>, Tomoko Kuwahara<sup>1)</sup>, Aya Sato<sup>1)</sup>, Miki Akimoto<sup>1)</sup>, Hideka Miura<sup>1)</sup>, Hiroko Morita<sup>1)</sup>, Hiromi Sugawara<sup>1)</sup>, Hideki Hasegawa<sup>1)</sup>, The influenza surveillance group of Japan<sup>2)</sup>

1) Center for Influenza and Respiratory Virus Research, National Institute of Infectious Diseases, 2) Public Health Institutes and Public Health Centers of Local Government and Clinics in Japan

渡邊 真治<sup>1)</sup>, 中村 一哉<sup>1)</sup>, 岸田 典子<sup>1)</sup>, 藤崎誠一郎<sup>1)</sup>, 白倉 雅之<sup>1)</sup>, 高下 恵美<sup>1)</sup>, 桑原 朋子<sup>1)</sup>, 佐藤 彩<sup>1)</sup>, 秋元 未来<sup>1)</sup>, 三浦 秀佳<sup>1)</sup>, 森田 博子<sup>1)</sup>, 菅原 裕美<sup>1)</sup>, 長谷川秀樹<sup>1)</sup>, インフルエンザ株サーベイランスグループ<sup>2)</sup>

1) 国立感染症研究所 インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター, 2) 地方衛生研究所、保健所および医療機関

04-59 Establishment of influenza A virus replication/transcription assay system and compounds screening

インフルエンザAウイルス複製・転写アッセイ系の構築と化合物のスクリーニング

李 佳洲, 武田 緑, 池田 正徳  
鹿児島大学

04-60 Analysis of amino acid sequences of CM2 cytoplasmic domain involved in influenza C virus replication

C型インフルエンザウイルスの増殖に関与するCM2細胞質領域のアミノ酸配列の解析

下平 義隆<sup>1)</sup>, 菅原 勤悦<sup>1)</sup>, 松寄 葉子<sup>1)</sup>, 邵 力<sup>2)</sup>, 村木 靖<sup>3)</sup>, 後藤 崇成<sup>1)</sup>, 本郷 誠治<sup>1)</sup>

1) 山形大学 医学部 感染症学, 2) 山形大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学・衛生学, 3) 岩手医科大学 微生物学講座 感染症学・免疫学分野

Live discussion1 Day 1. November 16 [Tue] 10:00~10:30

positive-strand RNA virus 1

05-1 Identification of genetic regions affecting levels of proliferation and infectivity of dengue virus type 2

デングウイルス2型の増殖力と感染性に影響する遺伝子領域の同定

實宗 由浩<sup>1)</sup>, 齊藤 暁<sup>2)</sup>, 佐々木正大<sup>1)</sup>, 瀨瀬 律子<sup>1)</sup>, Juthamas Phadungsombat<sup>1)</sup>, 山中 敦史<sup>3)</sup>, 黒須 剛<sup>4)</sup>, 中山 英美<sup>1)</sup>, 塩田 達雄<sup>1)</sup>

1) 大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野, 2) 宮崎大学農学部獣医学科獣医微生物学研究室, 3) 大阪大学微生物病研究所日本・タイ感染症共同研究センター, 4) 国立感染症研究所ウイルス1部

05-2 Functional analysis of novel host factor SIGIRR that binds to NS3 of dengue virus

デングウイルスNS3に結合する新規宿主因子SIGIRRの機能解析

高橋 宏隆<sup>1)</sup>, 重松 裕樹<sup>1)</sup>, 鈴木 陽一<sup>2)</sup>, 中野 隆史<sup>2)</sup>, Subhash Vasudevan<sup>3)</sup>, 澤崎 達也<sup>1)</sup>

1) 愛媛大学・プロテオサイエンスセンター, 2) 大阪医科薬科大学 医学部, 3) Program in Emerging Infectious Diseases, DUKE-NUS Medical School, Singapore

05-3 Study on the exosome-mediated cell-to-cell transfer of dengue virus replicon RNA

デングウイルスレプリコンRNAのエクソソームを介した細胞間伝播に関する研究

石川 知弘, 成田健太郎, 増田 道明

獨協医科大学 医学部 微生物学講座

- 05-4 **Study of cytokine-induced pathogenic mechanism in severe dengue lethal mouse model**  
 .....  
**致死性デング出血熱マウスモデルを用いた高サイトカイン産生誘導による重症化機序の解明**  
 黒須 剛<sup>1)</sup>, 奥崎 大介<sup>2)</sup>, 下島 昌幸<sup>1)</sup>, 吉河 智城<sup>1)</sup>, 高松 由基<sup>1)</sup>, 西條 政幸<sup>1)</sup>  
 1) 国立感染症研究所, 2) 大阪大学微生物病研究所
- 05-5 **DENV-1 Genotype Variance Drives Discrepancies in Homotypic Neutralizing and Enhancing Activities of Antibodies during Natural Infections**  
 .....  
 Jean Claude Palma Balingit<sup>1,2,3)</sup>, Co Thach Nguyen<sup>4)</sup>, Ryosuke Suzuki<sup>5)</sup>, Mami Matsuda<sup>5)</sup>,  
 Thi Thu Thuy Nguyen<sup>4)</sup>, Taichiro Takemura<sup>6)</sup>, Bich Thi Hau Vu<sup>4)</sup>, Futoshi Hasebe<sup>6,1)</sup>,  
 Thi Quynh Mai Le<sup>4)</sup>, Kouichi Morita<sup>1,2,3)</sup>, Meng Ling Moi<sup>1,2,3)</sup>  
 1) Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University, Sakamoto 1-12-4, Nagasaki, Japan, 2) Department of Virology, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Sakamoto 1-12-4, Nagasaki, Japan, 3) Program for Nurturing Global Leaders in Tropical and Emerging Communicable Diseases, Nagasaki University, Sakamoto 1-12-4, Nagasaki, Japan, 4) National Institute of Hygiene and Epidemiology, 1 Yersin Street, Hanoi, Vietnam, 5) Department of Virology II, National Institute of Infectious Diseases, Gakuen 4-7-1, Musashi-murayama, Tokyo, Japan, 6) Vietnam Research Station, Center for Infectious Disease Research in Asia and Africa, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Sakamoto 1-12-4, Nagasaki, Japan
- 05-6 **A rapid and high-throughput method for detecting antibody-dependent infection-enhancing activity against dengue virus**  
 .....  
 Atsushi Yamanaka<sup>1)</sup>, Pimploy Rattanaamnuaychai<sup>1)</sup>, Mami Matsuda<sup>2)</sup>, Ryosuke Suzuki<sup>2)</sup>,  
 Toshie Kusunoki<sup>3)</sup>, Naomi Tanga<sup>3)</sup>, Ryoya Yamaguchi<sup>3)</sup>, Kiyoe Itoi<sup>3)</sup>, Yua Saito<sup>3)</sup>, Jun Shimizu<sup>3)</sup>,  
 Kazuo Miyazaki<sup>3)</sup>  
 1) Thailand-Japan Research Collaboration Center on Emerging and Re-emerging Infections (RCC-ERI), Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, 2) Department of Virology II, National Institute of Infectious Diseases, 3) MiCAN Technologies Inc.  
 山中 敦史<sup>1)</sup>, Pimploy Rattanaamnuaychai<sup>1)</sup>, 松田 麻未<sup>2)</sup>, 鈴木 亮介<sup>2)</sup>, 楠木 俊江<sup>3)</sup>,  
 丹賀 直美<sup>3)</sup>, 山口 諒也<sup>3)</sup>, 糸井 清恵<sup>3)</sup>, 齋藤 結愛<sup>3)</sup>, 清水 淳<sup>3)</sup>, 宮崎 和雄<sup>3)</sup>  
 1) 大阪大学微生物病研究所 日本・タイ感染症共同研究センター, 2) 国立感染症研究所ウイルス第二部, 3) マイキャン・テクノロジーズ株式会社
- 05-7 **Trends in HCV in-hospital testing in the last 10 years and remaining issues**  
 .....  
**当院における最近10年のHCV院内検査の推移と残された課題**  
 矢野 嘉彦, 北秋 翔子, 佐藤伊都子, 今西 孝充  
 神戸大学病院
- 05-8 (MS3-05) **Innate Immunity is required for pathogenicity of Flavivirus infection**  
 .....  
**蚊の唾液による自然免疫応答がフラビウイルスの病原性発揮に必要である**  
 鈴木 達也<sup>1)</sup>, 江夏 朔<sup>1)</sup>, 宮田 由佳<sup>1)</sup>, 大場 靖子<sup>2)</sup>, 江下 優樹<sup>2)</sup>, 澤 洋文<sup>2)</sup>, 松浦 善治<sup>3)</sup>,  
 岡本 徹<sup>1)</sup>  
 1) 大阪大学微生物病研究所 高等共創研究院, 2) 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 分子病態・診断部門,  
 3) 大阪大学微生物病研究所 ウイルス制御学グループ

05-9 **Zika virus infection causes damage in reproductive organs of a pregnant common marmoset**

Toshifumi Imagawa<sup>1</sup>, Masahiko Ito<sup>1</sup>, Shuji Takabayashi<sup>2</sup>, Kazuo Tanaka<sup>2</sup>, Hideto Kino<sup>1</sup>, Mami Matsuda<sup>3</sup>, Ryosuke Suzuki<sup>3</sup>, Kazuyoshi Miyamoto<sup>4</sup>, Isao Kosugi<sup>5</sup>, Tomohiko Takasaki<sup>6</sup>, Tetsuro Suzuki<sup>1</sup>

1) Department of Virology and Parasitology, Hamamatsu University School of Medicine, 2) Preeminent Medical Photonics Education & Research Center, Hamamatsu University School of Medicine, 3) Department of Virology II, National Institute of Infectious Diseases, 4) FUJIREBIO Inc., 5) Department of Regenerative and Infectious Pathology, Hamamatsu University School of Medicine, 6) Kanagawa Prefectural Institute of Public Health

今川 稔文<sup>1</sup>, 伊藤 昌彦<sup>1</sup>, 高林 秀次<sup>2</sup>, 田中 一雄<sup>2</sup>, 記野 秀人<sup>1</sup>, 松田 麻未<sup>3</sup>, 鈴木 亮介<sup>3</sup>, 宮本 和慶<sup>4</sup>, 小杉伊三夫<sup>5</sup>, 高崎 智彦<sup>6</sup>, 鈴木 哲朗<sup>1</sup>

1) 浜松医科大学ウイルス・寄生虫学講座, 2) 浜松医科大学先端医学教育研究センター, 3) 国立感染症研究所ウイルス第二部, 4) 富士レビオ株式会社, 5) 浜松医科大学再生・感染病理学講座, 6) 神奈川県衛生研究所

05-10 **Examination of inhibition mechanism of protein transport to nucleus by West Nile virus infection**

**ウエストナイルウイルス感染によるタンパク質の核内輸送の阻害機構の解明**

小林進太郎<sup>1</sup>, 好井健太郎<sup>1,2</sup>, 澤 洋文<sup>3</sup>, 荻和 宏明<sup>1</sup>

1) 北海道大学大学院 獣医学研究科 公衆衛生学教室, 2) 長崎大学 感染症共同研究拠点, 3) 北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所 分子病態・診断部門

05-11 **Regulation of cellular energy metabolism in Japanese encephalitis virus infected cells**

**日本脳炎ウイルス感染細胞のエネルギー代謝制御機構の解明**

伊東 祐美<sup>1</sup>, 土岐 弥生<sup>2</sup>, 谷口 百優<sup>2</sup>, 鈴木 達也<sup>1</sup>, 福崎英一郎<sup>2</sup>, 岡本 徹<sup>1</sup>

1) 大阪大学 微生物病研究所 高等共創研究院, 2) 大阪大学大学院 工学研究科 生物資源工学研究室

05-12 **Inhibition of Japanese encephalitis virus replication by RNase H-dependent antisense oligonucleotide *in vitro*.**

**RNA分解型アンチセンス人工核酸による日本脳炎ウイルス増殖抑制効果**

岡本 俊輔<sup>1,2</sup>, 越後谷裕介<sup>2,3</sup>, 瀬川 太雄<sup>1,2</sup>, 佐藤 雪太<sup>2,3</sup>, 伊藤 琢也<sup>1,2</sup>

1) 日本大学生物資源科学部 獣医学科・獣医衛生学研究室, 2) 日本大学動物医科学研究センター, 3) 日本大学生物資源科学部 獣医学科・実験動物学研究室

05-13(MS1-01) **Application of peptide across Blood-Brain Barrier for treatment of TBE**

**血液脳関門透過性ペプチドのダニ媒介性脳炎の治療法への応用**

深野 紗代<sup>3</sup>, 小林進太郎<sup>3</sup>, 前川 直也<sup>4</sup>, 高橋 侑嗣<sup>3</sup>, 荻和 宏明<sup>3</sup>, 今内 覚<sup>4,5</sup>, 好井健太郎<sup>1,2</sup>

1) 長崎大学 感染症共同研究拠点, 2) 長崎大学 熱帯医学研究所, 3) 北海道大学 大学院獣医学研究科 公衆衛生学教室, 4) 北海道大学 大学院獣医学研究科 先端創薬分野, 5) 北海道大学 大学院獣医学研究科 感染症学教室

05-14 **Evaluation of the antiviral effect of 5-aminolevulinic acid phosphate against classical swine fever virus *in vitro* and *in vivo***

Shizuka Hirose<sup>1</sup>, Loc Tan Huynh<sup>1</sup>, Taksoo Kim<sup>1</sup>, Norikazu Isoda<sup>1,2</sup>, Takahiro Hiono<sup>1</sup>, Keiichiro Yoshimoto<sup>3</sup>, Tohru Tanaka<sup>3</sup>, Kenjiro Inui<sup>4</sup>, Yoshihiro Sakoda<sup>1,2</sup>

1) Laboratory of Microbiology, Department of Disease Control, Faculty of Veterinary Medicine, Hokkaido University, 2) International Institute for Zoonosis Control, Hokkaido University, 3) Neopharma Japan, 4) National Institute of Veterinary Diagnostics, Vietnam

廣瀬 静香<sup>1</sup>, ヒュー タンロック<sup>1</sup>, 金 琢洙<sup>1</sup>, 磯田 典和<sup>1,2</sup>, 日尾野隆大<sup>1</sup>, 吉本圭一郎<sup>3</sup>, 田中 徹<sup>3</sup>, 乾 健二郎<sup>4</sup>, 迫田 義博<sup>1,2</sup>

1) 北海道大学大学院獣医学研究科微生物学教室, 2) 北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所, 3) ネオファーマジャパン, 4) ベトナム中央獣医診療センター ウイルス部

- 05-15**      **Characteristics of classical swine fever virus variants derived from live attenuated GPE<sup>-</sup> vaccine seed**  
 .....  
Yoshihiro Sakoda<sup>1,2)</sup>, Taksoo Kim<sup>1)</sup>, Loc Tan Huynh<sup>1)</sup>, Shizuka Hirose<sup>1)</sup>, Manabu Igarashi<sup>2,3)</sup>, Takahiro Hiono<sup>1)</sup>, Norikazu Isoda<sup>1,2)</sup>  
 1) Laboratory of Microbiology, Department of Disease Control, Faculty of Veterinary Medicine, Hokkaido University, 2) International Collaboration Unit, International Institute for Zoonosis Control, Hokkaido University, 3) Division of Global Epidemiology, International Institute for Zoonosis Control, Hokkaido University  
迫田 義博<sup>1,2)</sup>, 金 琢洙<sup>1)</sup>, Tan Loc Huynh<sup>1)</sup>, 廣瀬 静香<sup>1)</sup>, 五十嵐 学<sup>2,3)</sup>, 日尾野隆大<sup>1)</sup>, 磯田 典和<sup>1,2)</sup>  
 1) 北海道大院 獣医 微生物, 2) 北海道大 人獣共通感染症国際共同研究所 国際協働ユニット, 3) 北海道大 人獣共通感染症国際共同研究所 国際疫学部門
- 05-16**      **Generation of recombinant classical swine fever virus possessing a luminescent HiBiT tag as a reporter using a highly virulent strain**  
 .....  
Loc Tan Huynh<sup>1)</sup>, Shizuka Hirose<sup>1)</sup>, Tasoo Kim<sup>1)</sup>, Tomokazu Tamura<sup>2)</sup>, Takasuke Fukuhara<sup>3)</sup>, Yoshiharu Matsuura<sup>4)</sup>, Takahiro Hiono<sup>1)</sup>, Norikazu Isoda<sup>1,5)</sup>, Yoshihiro Sakoda<sup>1,5)</sup>  
 1) Laboratory of Microbiology, Faculty of Veterinary Medicine, Hokkaido University, 2) Department of Molecular Biology, Princeton University, 3) Department of Microbiology and Immunology, Graduate School of Medicine, Hokkaido University, 4) Center for Infectious Diseases Education and Research, Osaka University, 5) International Collaboration Unit, International Institute for Zoonosis Control, Hokkaido University
- 05-17**      **Identification of a positive regulator of rubella virus infection by loss-of-function screen**  
 .....  
**loss-of-functionスクリーンによる風疹ウイルス感染の制御因子の同定**  
八木真裕子<sup>1)</sup>, 浜 みなみ<sup>1)</sup>, 中嶋友里江<sup>1)</sup>, 上林 大起<sup>2)</sup>, 倉田 貴子<sup>2)</sup>, 遊佐 宏介<sup>3)</sup>, 駒野 淳<sup>1)</sup>  
 1) 大阪医科薬科大学, 2) 大阪健康安全基盤研究所, 3) 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所
- 05-18**      **Suppression of Sindbis virus-induced oncolysis by humoral factors from fibroblasts**  
 .....  
Sara Yatabe, Xue Ma, Tomoko Ogawa, Kengo Saito, Yoshifumi Ohno, Ryosuke Muroyama, Eiji Ido, Hiroshi Shirasawa  
 Chiba Univ.  
矢田部沙羅, 馬 雪, 小川 知子, 齋藤 謙悟, 大野 吉史, 室山 良介, 井戸 英治, 白澤 浩  
 千葉大学
- 05-19**      **Hemifusion arrest of rubella virus entry in Sphingomyelin Synthase I-deficient cells.**  
 .....  
**Sphingomyelin Synthase 1欠損細胞において風疹ウイルスの侵入はhemifusion状態で停止する**  
森 嘉生<sup>1)</sup>, 坂田 真史<sup>1)</sup>, 岡本 徹<sup>2)</sup>, 中津祐一郎<sup>1)</sup>, 田鍬 修平<sup>2,3)</sup>, 大槻 紀之<sup>1)</sup>, 松浦 善治<sup>2,3)</sup>, 竹田 誠<sup>1)</sup>  
 1) 国立感染症研究所, 2) 大阪大学微生物病研究所, 3) 大阪大学感染症総合教育研究拠点
- 05-20**      **Low-density lipoprotein receptor is an entry receptor for HAV**  
 .....  
**Low-density lipoprotein receptorはHAVの細胞侵入に関わる宿主因子である**  
塩田 智之, Das Anshuman, M Lemon Stanley  
 ノースカロライナ大学チャペルヒル校

- 05-21 **Isolation and identification of human parechovirus receptor gene**  
.....  
**ヒトパレコウイルスの受容体遺伝子の同定**  
渡邊香奈子<sup>1)</sup>, 岡 智一郎<sup>2)</sup>, 高木 弘隆<sup>3)</sup>, アニシモフセルゲイ<sup>4)</sup>, 高橋 雅彦<sup>4)</sup>, 大桑 孝子<sup>5)</sup>,  
樋口 雅也<sup>5)</sup>, 藤井 雅寛<sup>4)</sup>  
1) 新潟大学大学院 保健学研究科 検査技術科学分野, 2) 国立感染症研究所 ウイルス第二部, 3) 国立感染症研究所 パイ  
オセーフティ管理室, 4) 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 ウイルス学分野, 5) 金沢医科大学 微生物学講座
- 05-22 **IFITM1 enhances Aichi virus RNA replication**  
.....  
**IFITM1はアイチウイルスゲノムの複製を亢進する**  
佐々木球美子, 村田 貴之, 佐々木 潤  
藤田医科大学 医学部 ウイルス寄生虫学
- 05-23 (MS3-03) **Analysis of two nucleotides on the internal ribosome entry site regulating the EV-A71 neurovirulence**  
.....  
Kyousuke Kobayashi, Tomoha Nishizawa, Satoshi Koike  
Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science  
小林 郷介, 西澤 朋葉, 小池 智  
東京都医学総合研究所
- 05-24 **Distinct bacteria in the gut microbiota associate with IgA levels in the central nervous system in a picornavirus-induced acute and chronic myelitis model**  
.....  
Fumitaka Sato<sup>1)</sup>, Seiichi Omura<sup>1)</sup>, Ah-Mee Park<sup>1)</sup>, Sundar Khadka<sup>1)</sup>, Yumina Nakamura<sup>1)</sup>,  
Ijaz Ahmad<sup>1)</sup>, Kazuto Nishio<sup>1)</sup>, Felicity N.E. Gavins<sup>2)</sup>, Ikuo Tsunoda<sup>1)</sup>  
1) Kindai University Faculty of Medicine, 2) Brunel University London  
佐藤 文孝<sup>1)</sup>, 尾村 誠一<sup>1)</sup>, 朴 雅美<sup>1)</sup>, カドカスンダル<sup>1)</sup>, 中村優美和<sup>1)</sup>, エフマドイジャーズ<sup>1)</sup>,  
西尾 和人<sup>1)</sup>, ギャビンスフェリシテイ<sup>2)</sup>, 角田 郁生<sup>1)</sup>  
1) 近畿大学, 2) ブルネル大学
- 05-25 **Evaluation system of OSBP function using an OSBP-ORD mutant and enterovirus inhibitor**  
.....  
**OSBP-ORD変異体とエンテロウイルス増殖阻害剤を用いたOSBP機能の評価系**  
小林 淳<sup>1)</sup>, 有田峰太郎<sup>2)</sup>, 加藤 龍一<sup>1)</sup>  
1) 高エネ機構・物構研・構造生物, 2) 感染研・ウイルス第二部
- 05-26 **Screening for antiviral compounds using recombinant hepatitis A virus with a reporter gene**  
.....  
**レポーター遺伝子を持つ組換えA型肝炎ウイルスを用いた抗ウイルス低分子化合物の探索**  
鈴木 亮介<sup>1)</sup>, 松田 麻未<sup>1)</sup>, 西山 直子<sup>1)</sup>, 小林さくら<sup>1)</sup>, 鈴木 祐成<sup>1)</sup>, 結城(平井)明香<sup>1)</sup>,  
山根 大典<sup>2)</sup>, 村松 正道<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所, 2) 東京都医学総合研究所
- 05-27 **Development of highly sensitive cell entry system using human norovirus-like particle**  
.....  
**ヒトノロウイルス様粒子を用いた高感度細胞侵入系の開発**  
関口 和樹<sup>1)</sup>, 木村 美幸<sup>1)</sup>, 森永 芳智<sup>1)</sup>, 牛島 廣治<sup>2)</sup>, 谷 英樹<sup>1,3)</sup>  
1) 富山大学学術研究部医学系微生物学講座, 2) 日本大学医学部, 3) 富山県衛生研究所ウイルス部

## 05-28 A Prospective Study of Norovirus Transmission in A Family in Surabaya, Indonesia

Juniastuti<sup>1,2,5</sup>, Takako Utsumi<sup>1,4</sup>, Laura Navika Yamani<sup>1,5</sup>, Zayyin Dinana<sup>1,5</sup>, Emily Gunawan<sup>5</sup>, Aussie Tahta Maharani<sup>5</sup>, Anisa Lailatul Fitria<sup>5</sup>, Rury Mega Wahyuni<sup>1</sup>, Soetjipto Soetjipto<sup>1,3,5</sup>, Yen Hai Doan<sup>6,7</sup>, Hiroyuki Shimizu<sup>6</sup>, Koji Ishii<sup>6</sup>, Chieko Matsui<sup>4</sup>, Lin Deng<sup>4</sup>, Takayuki Abe<sup>4</sup>, Kazuhiko Katayama<sup>8</sup>, Maria Inge Lusida<sup>1,2,5</sup>, Ikuo Shoji<sup>4</sup>

1) Indonesia-Japan Collaborative Research Center for Emerging and Re-emerging Infectious Diseases, 2) Department of Microbiology, School of Medicine, Airlangga University, 3) Department of Biochemistry, School of Medicine, Airlangga University, 4) Center for Infectious Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan, 5) Institute of Tropical Disease, Airlangga University, Surabaya, Indonesia, 6) Department of Virology II, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan, 7) Department of Environmental Parasitology, Tokyo Medical Dental University, 8) Laboratory of Viral Infection, Department of Infection Control and Immunology, Ōmura Satoshi Memorial Institute and Graduate School of Infection Control Sciences, Kitasato University, Tokyo, Japan

## 05-29 Norovirus and rotavirus infections among hospitalized adult patients with acute gastroenteritis in Surabaya, Indonesia

Zayyin Dinana<sup>1,2</sup>, Takako Utsumi<sup>2</sup>, Rury Mega Wahyuni<sup>2</sup>, Laura Navika Yamani<sup>2</sup>, Emily Gunawan<sup>3</sup>, Soetjipto Soetjipto<sup>2</sup>, Juniastuti Juniastuti<sup>2</sup>, Usman Hadi<sup>4</sup>, Musofa Rusli<sup>4</sup>, Maria Inge Lusida<sup>2</sup>, Yujiao Liang<sup>5</sup>, Chieko Matsui<sup>5</sup>, Lin Deng<sup>5</sup>, Takayuki Abe<sup>5</sup>, Ikuo Shoji<sup>5</sup>

1) Graduate School of Airlangga University, 2) Indonesia-Japan Collaborative Research Center for Emerging and Re-emerging Infectious Diseases, Institute of Tropical Disease, Airlangga University, Surabaya, Indonesia, 3) Institute of Tropical Disease, Airlangga University, Surabaya, Indonesia, 4) Department of Internal Medicine, Tropical and Infectious Diseases, Dr. Soetomo Hospital, Airlangga University, Surabaya, Indonesia, 5) Center for Infectious Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine, Hyogo, Japan

## 05-30 Screening of an antiviral compound library identifies dasabuvir as a novel anti-human norovirus inhibitor

Tsuyoshi Hayashi<sup>1</sup>, Kosuke Murakami<sup>1</sup>, Junki Hirano<sup>1</sup>, Yoshiki Fujii<sup>1</sup>, Yoko Yamaoka<sup>1</sup>, Hirofumi Ohashi<sup>1,2</sup>, Koichi Watashi<sup>1,2,3</sup>, Mary K Estes<sup>4</sup>, Masamichi Muramatsu<sup>1</sup>

1) Department of Virology II, National Institute of Infectious Diseases, 2) Department of Applied Biological Sciences, Tokyo University of Science, 3) Research Center for Drug and Vaccine Development, National Institute of Infectious Diseases, 4) Departments of Molecular Virology and Microbiology and of Medicine, Baylor College of Medicine

林 豪士<sup>1</sup>, 村上 耕介<sup>1</sup>, 平野 順紀<sup>1</sup>, 藤井 克樹<sup>1</sup>, 山岡 曜子<sup>1</sup>, 大橋 啓史<sup>1,2</sup>, 渡士 幸一<sup>1,2,3</sup>, Mary Estes<sup>4</sup>, 村松 正道<sup>1</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部, 2) 東京理科大学大学院 理工学研究科, 3) 国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター, 4) ベイラー医科大学 分子ウイルス学・微生物学部/医学部

## 05-31 Analysis of a novel neutralizing epitope of feline calicivirus

ネコカリシウイルスの新規中和エピトープ領域の解析

藤田 滋, 木庭 隼達, 遠矢 幸伸

日本大学生物資源科学部獣医微生物学研究室

## 05-32 (MS3-02) The exploration of astrovirus receptor

Shiori Kudo<sup>1</sup>, Haga Kei<sup>1</sup>, Todaka Reiko<sup>1</sup>, Nakanishi Akira<sup>2</sup>, Katayama Kazuhiko<sup>1</sup>

1) Kitasato University Graduate School, 2) Kindai University

工藤 栞<sup>1</sup>, 芳賀 慧<sup>1</sup>, 戸高 玲子<sup>1</sup>, 中西 章<sup>2</sup>, 片山 和彦<sup>1</sup>

1) 北里大学大学院, 2) 近畿大学

## Coronavirus 1

- 06-1 **Inhibition of FIPV-induced cell death by treatment of cellular signaling pathway inhibitors**  
.....  
**FIPV感染による細胞死を抑制するシグナル伝達経路阻害剤の検討**  
菊池 風花<sup>1,2)</sup>, 大場 真己<sup>1)</sup>, 文 裕鐸<sup>1)</sup>, 和地 美来<sup>1)</sup>, 新井 智<sup>2)</sup>, 水谷 哲也<sup>1)</sup>  
1) 東京農工大学, 2) 国立感染症研究所
- 06-2 **Isolation of sarbecoviruses harbored by Japanese Rhinolophus cornutus bats**  
.....  
**日本のコキクガシラコウモリが保有するサルベコウイルスの分離**  
村上 晋<sup>1)</sup>, 北村 知也<sup>1,2)</sup>, 松郷 宙倫<sup>1)</sup>, 大藪 健<sup>3)</sup>, 神木 春彦<sup>1)</sup>, 関根 渉<sup>1)</sup>, 上間亜希子<sup>1)</sup>,  
坂井(田川)優子優子<sup>4)</sup>, 河岡 義裕<sup>4)</sup>, 堀本 泰介<sup>1)</sup>  
1) 東京大学・獣医微生物, 2) 農研機構・動物衛生研究部門, 3) 夷隅郡市自然を守る会, 4) 東京大学・医科学研究所
- 06-3 **Non-invasive SARS-CoV-2 detection and human transcriptome analysis using RNA in skin surface lipids**  
.....  
**皮脂RNA解析技術を用いた非侵襲SARS-CoV-2検出／ヒトTranscriptome同時解析**  
桑野 哲矢<sup>1)</sup>, 菅野 隆行<sup>2)</sup>, 飛梅 実<sup>2)</sup>, 古賀 道子<sup>3)</sup>, 四柳 宏<sup>3)</sup>, 忽那 賢志<sup>4)</sup>, 今村 顕史<sup>5)</sup>,  
高田 直人<sup>1)</sup>, 深川 聡子<sup>1)</sup>, 井上 高良<sup>1)</sup>, 俣野 哲朗<sup>2,3)</sup>, 立川 愛<sup>2,3)</sup>, 鈴木 忠樹<sup>2)</sup>  
1) 花王株式会社, 2) 国立感染症研究所, 3) 東京大学医科学研究所, 4) 国立国際医療センター, 5) がん・感染症センター東京都立駒込病院
- 06-4 **Use of RT-PCR and degenerate primers to comprehensively assess coronavirus genomes**  
.....  
**縮重プライマーを用いたRT-PCR法による、コロナウイルス遺伝子検出系の確立**  
七戸新太郎<sup>1)</sup>, 高田 光輔<sup>1)</sup>, ハイマンガンプパスカル<sup>2)</sup>, 富田有里子<sup>3)</sup>, 前村 忠<sup>3)</sup>,  
ンジャイアルハジ<sup>4)</sup>, 河岡 義裕<sup>3,5)</sup>, 遠藤 寿<sup>6)</sup>, 緒方 博之<sup>6)</sup>, 渡辺登喜子<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学微生物病研究所 分子ウイルス分野, 2) エクス＝マルセイユ大学 理学部, 3) 東京大学医科学研究所 ウイルス感染分野, 4) シエラレオネ大学 微生物学分野, 5) 国立国際医療研究センター, 6) 京都大学化学研究所附属バイオインフォマティクスセンター
- 06-5 **Combinatorial approach with mass spectrometry and lectin microarray dissected glycoproteomic features of virion-derived spike protein of SARS-CoV-2**  
.....  
**Takahiro Hiono<sup>1,2)</sup>, Azusa Tomioka<sup>2)</sup>, Hiroyuki Kaji<sup>2)</sup>, Michihito Sasaki<sup>3)</sup>, Hiroaki Sakaue<sup>2)</sup>, Yasuko Orba<sup>3)</sup>, Hirofumi Sawa<sup>3,4)</sup>, Atsushi Kuno<sup>2)</sup>**  
1) Laboratory of Microbiology, Department of Disease Control, Faculty of Veterinary Medicine, Hokkaido University, 2) Molecular and Cellular Glycoproteomics Research Group, Cellular and Molecular Biotechnology Research Institute, National Institute of Advanced Industrial Science & Technology, 3) Division of Molecular Pathobiology, International Institute for Zoonosis Control, Hokkaido University, 4) One Health Research Center, Hokkaido University  
**日尾野隆大<sup>1,2)</sup>, 富岡あづさ<sup>2)</sup>, 梶 裕之<sup>2)</sup>, 佐々木道仁<sup>3)</sup>, 坂上 弘明<sup>2)</sup>, 大場 靖子<sup>3)</sup>, 澤 洋文<sup>3,4)</sup>, 久野 敦<sup>2)</sup>**  
1) 北海道大学 大学院獣医学研究院 微生物学教室, 2) 産業技術総合研究所 細胞分子工学研究部門 分子細胞マルチオミクス研究グループ, 3) 北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所 分子病態・診断部門, 4) 北海道大学 One Health Research Center

- 06-6 Enhancement of SARS-CoV-2 Infectivity in Vero Cells by exogenous trypsin**  
 .....  
Adita Ayu Permanasari<sup>1)</sup>, Aldise Mareta Nastro<sup>1)</sup>, Victoria Simanihuruk<sup>1)</sup>,  
 Jezzy Renova Dewantari<sup>1)</sup>, Krisnoadi Rahardjo<sup>1)</sup>, Rima Ratnanggana Prasetya<sup>1)</sup>,  
 Alfonsus Adrian Hadikusumo Harsono<sup>1)</sup>, Yasuko Mori<sup>2)</sup>, Maria Inge Lusida<sup>1)</sup>, Kazufumi Shimizu<sup>1,2)</sup>  
 1) Indonesia-Japan Collaborative Research Center for Emerging and Re-emerging Infectious Disease, Institute of  
 Tropical Disease, Universitas Airlangga, Surabaya, Indonesia, 2) Center for Infectious Disease, Kobe University  
 Graduate School of Medicine, Kobe, Japan
- 06-7 CRISPR/Cas9 screening for host factors involved in SARS-CoV-2 infection**  
 .....  
Sakai Madoka<sup>1)</sup>, Kosuke Yusa<sup>2,3)</sup>, Keizo Tomonaga<sup>1,4,5)</sup>, Akiko Makino<sup>1)</sup>  
 1) Laboratory of RNA Viruses, Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University, 2) Laboratory of  
 Stem Cell Genetics, Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University, 3) Department of Stem Cell  
 Genetics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, 4) Department of Mammalian Regulatory Network,  
 Graduate School of Biostudies, Kyoto University, 5) Department of Molecular Virology, Graduate School of  
 Medicine, Kyoto University  
酒井まどか<sup>1)</sup>, 遊佐 宏介<sup>2,3)</sup>, 朝長 啓造<sup>1,4,5)</sup>, 牧野 晶子<sup>1)</sup>  
 1) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 RNAウイルス分野, 2) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 幹細胞遺伝学分  
 野, 3) 京都大学大学院 医学研究科 幹細胞遺伝学, 4) 京都大学大学院 生命科学研究科 生体動態制御学分野, 5) 京都大  
 学大学院 医学研究科 分子ウイルス学
- 06-8 Roles of stem-loop structures in the 5'UTR on the propagation of SARS-CoV-2**  
 .....  
Chikako Ono<sup>1,2,4)</sup>, Shiho Torii<sup>3)</sup>, Rahmi Dianty<sup>1,4)</sup>, Shuhei Taguwa<sup>1,4)</sup>, Yoshiharu Matsuura<sup>1,4)</sup>  
 1) Laboratory of Virus Control, Center for Infectious Disease Education and Research, Osaka Univ., 2) Laboratory  
 for Cell Polarity Regulation, RIKEN Center for Biosystems Dynamics Research, 3) Insect-Virus Interaction Unit,  
 Department of Virology, Institute Pasteur, 4) Laboratory of Virus Control, Research Institute for Microbial  
 Diseases, Osaka Univ.  
小野 慎子<sup>1,2,4)</sup>, 鳥居 志保<sup>3)</sup>, ディアンティラーミ<sup>1,4)</sup>, 田畷 修平<sup>1,4)</sup>, 松浦 善治<sup>1,4)</sup>  
 1) 大阪大学 感染症総合教育研究拠点 ウイルス制御学グループ, 2) 理科学研究所 生命機能科学研究センター 細  
 胞極性統御研究チーム, 3) パスツール研究所, 4) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス制御学グループ
- 06-9 8 amino acid residues in nsp1 of SARS-CoV-2 facilitates viral replication**  
 .....  
**SARSコロナウイルス-2 nsp1のN末端側8アミノ酸残基の複製における解析**  
上野 栞<sup>1)</sup>, 高橋 龍樹<sup>1)</sup>, 中川 敬介<sup>2)</sup>, 神谷 亘<sup>1)</sup>  
 1) 国立大学法人群馬大学医学系研究科生体防御学, 2) 岐阜大学応用生物科学部獣医微生物学教室
- 06-10 Arising of a spike protein Q677H variant of SARS CoV-2 in East Java, Indonesia**  
 .....  
Krisnoadi Rahardjo<sup>1)</sup>, Aldise Mareta Nastro<sup>1)</sup>, Jezzy Renova Dewantari<sup>1)</sup>,  
 Rima Ratnanggana Prasetya<sup>1)</sup>, Alfonsus Adrian Hadikusumo Harsono<sup>1)</sup>, Gatot Soegiarto<sup>1)</sup>,  
 Mitsuhiro Nishimura<sup>2)</sup>, Yasuko Mori<sup>2)</sup>, Maria Inge Lusida<sup>1)</sup>, Ni Nyoman Tri Puspaningsih<sup>3,4)</sup>,  
 Kazufumi Shimizu<sup>2,1)</sup>  
 1) Indonesia-Japan Collaborative Research Center for Emerging and Re-emerging Infectious Diseases, Institute of  
 Tropical Disease, Universitas Airlangga, Surabaya, Indonesia, 2) Center for Infectious Diseases, Kobe University  
 Graduate School of Medicine, Kobe, Japan, 3) Proteomic Laboratory, Research Center for Bio-Molecule Engineering,  
 2nd floor Institute of Tropical Disease Building, Kampus C, Universitas Airlangga, Mulyorejo, Surabaya 60115,  
 East Java, Indonesia., 4) Department of Chemistry, Faculty of Science and Technology, Kampus C, Universitas  
 Airlangga, Mulyorejo, Surabaya 60115, East Java, Indonesia

06-11 **Monitoring of SARS-CoV-2 Variant invasion of East Java, Indonesia between April and July 2021**

Victoria Simanihuruk<sup>1</sup>, Krisnoadi Rahardjo<sup>1</sup>, Aldise Mareta Natri<sup>1</sup>, Jezzy Renova Dewantari<sup>1</sup>, Rima Ratnanggana Prasetya<sup>1</sup>, Adita Ayu Permanasari<sup>1</sup>, Alfonsus Adrian Hadikusumo Harsono<sup>1</sup>, Gatot Soegiarto<sup>1</sup>, Ni Nyoman Tri Puspaningsih<sup>3,4</sup>, Mitsuhiro Nishimura<sup>2</sup>, Yasuko Mori<sup>2</sup>, Kazufumi Shimizu<sup>1,2</sup>, Maria Inge Lusida<sup>1</sup>

1) Indonesia-Japan Collaborative Research Center for Emerging and Re-emerging Infectious Diseases, Institute of Tropical Disease, Universitas Airlangga, Surabaya, Indonesia, 2) Center for Infectious Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan, 3) Proteomic Laboratory, Research Center for Bio-Molecule Engineering, Institute of Tropical Disease Building, Kampus C, Universitas Airlangga, Mulyorejo, Surabaya 60115, East Java, Indonesia, 4) Department of Chemistry, Faculty of Science and Technology, Kampus C, Universitas Airlangga, Mulyorejo, Surabaya 60115, East Java, Indonesia

06-12 **Establishment of a COVID-19 cynomolgus macaque model reflecting human COVID-19 pathological conditions**

ヒト病態を反映するCOVID-19カニクイザルモデルの樹立

浦野恵美子<sup>1</sup>, 岡村 智崇<sup>1</sup>, 小野 慎子<sup>2</sup>, 上野 栞<sup>3</sup>, 永田 諭志<sup>5</sup>, 鎌田 春彦<sup>6</sup>, 神谷 亘<sup>3</sup>, 松浦 善治<sup>2</sup>, 河岡 義裕<sup>4</sup>, 保富 康宏<sup>1</sup>

1) 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医科学研究センター, 2) 大阪大学微生物病研究所, 3) 群馬大学大学院医学系研究科, 4) 国立国際医療センター, 5) 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 抗体デザインプロジェクト, 6) 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 バイオ創薬プロジェクト

06-13 **SARS-CoV-2 ORF8 is secreted extracellularly as a glycoprotein homodimer**

SARS-CoV-2 ORF8は二量体糖タンパク質として細胞外に分泌される

松岡 和弘<sup>1</sup>, 今橋 伸彦<sup>2</sup>, 中田 佳宏<sup>1,3</sup>, 大野 美希<sup>1</sup>, 久保田 舞<sup>1</sup>, 大出 裕高<sup>1</sup>, 横幕 能行<sup>1</sup>, 岩谷 靖雅<sup>1,3</sup>

1) 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部, 2) 名古屋医療センター 血液内科, 3) 名古屋大学大学院医学系研究科 基礎医学領域

06-14 **Risks of cats as sources of SARS-CoV-2**

SARS-CoV-2感染源としてネコのリスク評価

朴ウンシル<sup>1</sup>, 黒田 雄大<sup>1,2</sup>, 宇田 晶彦<sup>1</sup>, 加来 義浩<sup>1</sup>, 奥谷 晶子<sup>1</sup>, 立本 完吾<sup>1,2</sup>, 石嶋 慧多<sup>1</sup>, 網 康至<sup>3</sup>, 白倉 雅之<sup>4</sup>, 鈴木 康司<sup>4</sup>, 原田 俊彦<sup>3</sup>, 相内 章<sup>5</sup>, 志和 希<sup>5</sup>, 岩田 (吉河) 奈緒子<sup>5</sup>, 永田 典代<sup>5</sup>, 鈴木 忠樹<sup>5</sup>, 長谷川秀樹<sup>4</sup>, 前田 健<sup>1,2</sup>

1) 国立感染症研究所 獣医科学部, 2) 山口大学共同獣医学研究科, 3) 国立感染症研究所 安全実験管理部, 4) 国立感染症研究所 インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター, 5) 国立感染症研究所 感染病理部

06-15 **Co-infection of SARS-CoV-2 and influenza virus causes more severe and prolonged pneumonia in hamsters**

Takaaki Kinoshita<sup>1,2</sup>, Kenichi Watanabe<sup>3</sup>, Yasuteru Sakurai<sup>1,2</sup>, Kodai Nishi<sup>4</sup>, Rokusuke Yoshikawa<sup>1,2</sup>, Jiro Yasuda<sup>1,2</sup>

1) National Research Center for the Control and Prevention of Infectious Diseases (CCPID), Nagasaki University, 2) Department of Emerging Infectious Diseases, Institute of Tropical Medicine (NEKKEN), Nagasaki University, 3) Research Center for Global Agromedicine, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, 4) Department of Radioisotope Medicine, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University

木下 貴明<sup>1,2</sup>, 渡邊 謙一<sup>3</sup>, 櫻井 康晃<sup>1,2</sup>, 西 弘大<sup>4</sup>, 吉川 禄助<sup>1,2</sup>, 安田 二郎<sup>1,2</sup>

1) 長崎大学感染症共同研究拠点, 2) 長崎大学熱帯医学研究所新興感染症学分野, 3) 帯広畜産大学グローバルアグロメディシン研究センター, 4) 長崎大学原爆後障害医療研究所アイソトープ診断治療学研究分野

- 06-16 **Increased risk of rhinovirus infection in children during the COVID-19 pandemic**  
 .....  
**新型コロナウイルス感染症流行下における小児のライノウイルス感染リスクの上昇**  
 高下 恵美<sup>1)</sup>, 川上 千春<sup>2)</sup>, 百木 智子<sup>2)</sup>, 七種美和子<sup>2)</sup>, 清水 耕平<sup>2)</sup>, 小澤 広規<sup>2)</sup>, 熊崎 真琴<sup>2)</sup>,  
 宇宿 秀三<sup>2)</sup>, 田中 伸子<sup>2)</sup>, 大久保一郎<sup>2)</sup>, 森田 博子<sup>1)</sup>, 永田 志保<sup>1)</sup>, 渡邊 真治<sup>1)</sup>, 長谷川秀樹<sup>1)</sup>,  
 河岡 義裕<sup>3,4,5)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター, 2) 横浜市衛生研究所, 3) 東京大学医科学研究所 感染・免疫部門ウイルス感染分野, 4) 国立国際医療研究センター 国際ウイルス感染症研究センター, 5) ウィスコンシン大学
- 06-17 **Natural infection with SARS-CoV-2 in companion animals in Japan**  
 .....  
**国内の飼育イヌ・ネコにおけるSARS-CoV-2自然感染**  
 黒田 雄大<sup>1,2)</sup>, 渡部 桂<sup>3)</sup>, 山本つかさ<sup>1)</sup>, 朴ウンシル<sup>1)</sup>, 立本 完吾<sup>1,2)</sup>, 石嶋 慧多<sup>1)</sup>,  
 ビルヘスメンドーサミラグロス<sup>1,2)</sup>, 井上 雄介<sup>1,2)</sup>, 原田 倫子<sup>1,2)</sup>, 石原 玄基<sup>3)</sup>, 堀江 亮<sup>3)</sup>,  
 前田 健<sup>1,2)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 獣医科学部, 2) 山口大学大学院 共同獣医学研究科, 3) アニコム先進医療研究所株式会社
- 06-18 **Biases in passive surveillance of SARS-CoV-2**  
 .....  
 Ryosuke Omori  
 Hokkaido University  
 大森 亮介  
 北海道大学
- 06-19 **The first outbreak of SARS-CoV-2 in 2020 ended with self-limiting manner in East Java, Indonesia**  
 .....  
 Kazufumi Shimizu<sup>1,2)</sup>, Krisnodi Rahardjo<sup>1)</sup>, Alfonsus Adrian Hadikusumo Harsono<sup>1)</sup>,  
 Aldise Mareta Natri<sup>1)</sup>, Jezzy Renova Dewantari<sup>1)</sup>, Rima Ratnanggana Prasetya<sup>1)</sup>,  
 Firas Farisi Alkaff<sup>1)</sup>, Gatot Soegiarto<sup>1)</sup>, Mitsuhiro Nishimura<sup>2)</sup>, Yasuko Mori<sup>2)</sup>,  
 Ni Nyoman Tri Puspaningsih<sup>3,4)</sup>, Soetjipto Soetjipto<sup>1)</sup>, Maria Inge Lusida<sup>1)</sup>  
 1) Indonesia-Japan Collaborative Research Center for Emerging and Re-emerging Infectious Diseases, Institute of Tropical Disease, Universitas Airlangga, Surabaya, Indonesia, 2) Center for Infectious Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan, 3) Proteomic Laboratory, University CoE, Research Center for Bio-Molecule Engineering, Institute of Tropical Disease Building, Kampus C, Universitas Airlangga, Surabaya, Indonesia, 4) Department of Chemistry, Faculty of Science and Technology, Kampus C, Universitas Airlangga, Mulyorejo, Surabaya 60115, East Java, Indonesia
- 06-20 **Genomic diversity of SARS-CoV-2 can be accelerated by a mutation in the nsp14 gene**  
 .....  
**コロナウイルスのnsp14のアミノ酸置換は、ゲノム進化速度を増大させる**  
 高田 光輔<sup>1)</sup>, 上田真保子<sup>2)</sup>, 渡辺登喜子<sup>1)</sup>, 中川 草<sup>3)</sup>  
 1) 大阪大学, 微生物病研究所, 2) 東京医科歯科大学, 難治疾患研究所, 3) 東海大学, 医学部
- 06-21 **SARS-CoV-2 ORF8-deficient mutants isolated from a patient in Hiroshima, Japan.**  
 .....  
**広島県の患者から分離されたSARS-CoV-2 ORF8欠損変異株**  
 坂口 剛正<sup>1)</sup>, 森田 智子<sup>1)</sup>, 黒瀬美羽子<sup>1)</sup>, 高橋 和明<sup>2)</sup>, 田中 純子<sup>2)</sup>  
 1) 広島大学・医系科学・ウイルス学, 2) 広島大学・医系科学・疫学疾病制御学

06-22 Selection and characterization of persistent infectious variants of SARS-CoV-2

Ryo Komorizon<sup>1)</sup>, Junna Kawasaki<sup>1,2)</sup>, Akiko Makino<sup>1,2)</sup>, Keizo Tomonaga<sup>1,2,3)</sup>

1) Laboratory of RNA Viruses, Department of Virus Research, Institute for Frontier Life and Medical Sciences (inFront), Kyoto University, 2) Department of Mammalian Regulatory Network, Graduate School of Biostudies, Kyoto University, 3) Department of Molecular Virology, Graduate School of Medicine, Kyoto University

小森園 亮<sup>1)</sup>, 川崎 純菜<sup>1,2)</sup>, 牧野 晶子<sup>1,2)</sup>, 朝長 啓造<sup>1,2,3)</sup>

1) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所ウイルス感染研究部門RNAウイルス分野, 2) 京都大学大学院生命科学研究所生体動態制御学, 3) 京都大学大学院医学研究科分子ウイルス学

06-23 Comparison of the in vitro mutation rate between SARS-CoV-2 and influenza A virus

新型コロナウイルスとA型インフルエンザウイルスの細胞盲継代による変異率の比較

川崎 佳子<sup>1)</sup>, 阿部 遥<sup>1)</sup>, 安田 二郎<sup>1,2)</sup>

1) 長崎大学 熱帯医学研究所, 2) 長崎大学 感染症共同研究拠点

06-24 Pre-existing neutralizing activity to SARS-CoV-2 in Vietnam prior to COVID-19 pandemic, 2014-2019.

Thi Thanh Ngan Nguyen<sup>1,2,3,4)</sup>, Ee Mei Choo<sup>1,2)</sup>, Mizuki Fukuta<sup>1,2)</sup>, Co Thach Nguyen<sup>4)</sup>, Thi Thu Thuy Nguyen<sup>4)</sup>, Le Khanh Hang Nguyen<sup>4)</sup>, Thi Thanh Le<sup>4)</sup>, Vu Mai Phuong Hoang<sup>4)</sup>, Kouichi Morita<sup>1,2,3)</sup>, Duc Anh Dang<sup>4)</sup>, Hasebe Futoshi<sup>1,5)</sup>, Thi Quynh Mai Le<sup>4)</sup>, Meng Ling Moi<sup>1,2,3)</sup>

1) Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University, Sakamoto 1-12-4, Nagasaki 852-8523, Japan, 2) Department of Virology, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Sakamoto 1-12-4, Nagasaki 852-8523, Japan, 3) Program for Nurturing Global Leaders in Tropical and Emerging Communicable Disease, Nagasaki University, Sakamoto 1-12-4, Nagasaki 852-8523, Japan, 4) Institute of Hygiene and Epidemiology, 1 Yersin Street, Hanoi, 100000 Vietnam., 5) Vietnam Research Station, Center for Infectious Disease Researcher in Asia and Africa, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Sakamoto 1-12-4, Nagasaki 852-8523, Japan.

06-25 Antibody-dependent enhancement of SARS-CoV-2 is mediated by Fc $\gamma$ RIIA and Fc $\gamma$ RIIIA but does not elicit aberrant cytokine production

Tadashi Maemura<sup>1,2)</sup>, Makoto Kuroda<sup>2)</sup>, Tammy Armbrust<sup>2)</sup>, Seiya Yamayoshi<sup>1,3)</sup>, Peter Halfmann<sup>2)</sup>, Yoshihiro Kawaoka<sup>1,2,3)</sup>

1) Division of Virology, Institute of Medical Science, The University of Tokyo, 2) Department of Pathobiological Sciences, School of Veterinary Medicine, University of Wisconsin-Madison, 3) The Research Center for Global Viral Diseases, National Center for Global Health and Medicine Research Institute

06-26 Development of a novel preventive method against SARS-CoV-2 by targeting regulatory T cells

制御性T細胞を標的としたSARS-CoV-2に対する新規予防法の開発

浦木 隆太<sup>1,2,3)</sup>, 今井 優樹<sup>2)</sup>, 伊藤 睦美<sup>3)</sup>, 志馬 寛明<sup>2)</sup>, 河岡 義裕<sup>1,3,4)</sup>, 山崎小百合<sup>2)</sup>

1) 国立国際医療研究センター, 2) 名古屋市立大学大学院医学研究科, 3) 東京大学医科学研究所, 4) ウィスコンシン大学獣医学部

## Coronavirus 2

06-27 演題取り下げ

06-28 SARS-CoV-2 spike L452R confers escape from immunodominant HLA-A24-restricted T cell recognition

## 新型コロナウイルス L452R変異はHLA-A24拘束性T細胞の認識から逃避する

本園 千尋<sup>1)</sup>, 浜名 洋<sup>2)</sup>, Isaac Ngare<sup>1)</sup>, 豊田 真子<sup>1)</sup>, Tan Toong<sup>1)</sup>, 宇高 恵子<sup>3)</sup>, 岸 裕幸<sup>2)</sup>, 佐藤 佳<sup>4)</sup>, 上野 貴将<sup>1)</sup>

1) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染予防部門 感染免疫学分野, 2) 富山大学 学術研究部医学系 免疫学, 3) 高知大学 免疫学講座, 4) 東京大学 医科学研究所 附属感染症国際研究センター システムウイルス学分野

06-29 Neutralizing antibodies against SARS-CoV-2 variants by SARS-CoV-2 mRNA vaccine (Pfizer/BioNTech) in Japan

## SARS-CoV-2 mRNAワクチン(コミナティ筋注®) 接種者血清を用いたSARS-CoV-2変異株に対する中和能の検討

関 洋平<sup>1)</sup>, 野島 清子<sup>1)</sup>, 水上 拓郎<sup>1)</sup>, 福士 秀悦<sup>2)</sup>, 森山 彩野<sup>3)</sup>, 高橋 宜聖<sup>3)</sup>, 前田 健<sup>4)</sup>, 鈴木 忠樹<sup>3)</sup>, 吉原 愛雄<sup>6)</sup>, 濱口 功<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 血液・安全性研究部, 2) 国立感染症研究所 ウイルス第一部, 3) 国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター, 4) 国立感染症研究所 獣医科学部, 5) 国立感染症研究所 感染病理部, 6) 国立病院機構 村山医療センター

06-30 Chronological course of the antibody titer against SARS-CoV-2 after the vaccination

## 新型コロナウイルスワクチン接種後のSARS-CoV-2抗体量の推移

杉山 和夫<sup>1,2)</sup>, 鈴木 暢二<sup>1)</sup>

1) 行徳総合病院, 2) 千葉大学医学部

06-31 Development of a COVID-19 vaccine inducing non-S antigen-specific T-cell responses

Hiroshi Ishii<sup>1)</sup>, Takushi Nomura<sup>1)</sup>, Hiroyuki Yamamoto<sup>1)</sup>, Masako Nishizawa<sup>1)</sup>, Trang Thi Thu Hau<sup>1)</sup>, Shigeyoshi Harada<sup>1)</sup>, Seki Sayuri<sup>1)</sup>, Midori Nakamura<sup>1)</sup>, Midori Okazaki<sup>1)</sup>, Sachie Daigen<sup>1)</sup>, Ai Kawana-Tachikawa<sup>1,2,3)</sup>, Noriyo Nagata<sup>4)</sup>, Naoko Iwata-Yoshikawa<sup>4)</sup>, Nozomi Shiwa<sup>4)</sup>, Tadaki Suzuki<sup>4)</sup>, Eun-Sil Pak<sup>5)</sup>, Ken Maeda<sup>5)</sup>, Kohji Kusano<sup>6)</sup>, Ryutaro Shimazaki<sup>6)</sup>, Yuriko Suzaki<sup>7)</sup>, Yasushi Ami<sup>7)</sup>, Tetsuro Matano<sup>1,3,2)</sup>

1) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, 2) Institute of Medical Science, University of Tokyo, 3) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, 4) Department of Pathology, National Institute of Infectious Diseases, 5) Department of Veterinary Science, National Institute of Infectious Diseases, 6) ID Pharma Co., Ltd., 7) Management Department of Biosafety, Laboratory Animal, and Pathogen Bank, National Institute of Infectious Diseases

石井 洋<sup>1)</sup>, 野村 拓志<sup>1)</sup>, 山本 浩之<sup>1)</sup>, 西澤 雅子<sup>1)</sup>, Trang Hau Thi Thu<sup>1)</sup>, 原田 恵嘉<sup>1)</sup>, 関 紗由里<sup>1)</sup>, 中村 碧<sup>1)</sup>, 岡崎みどり<sup>1)</sup>, 大源 幸恵<sup>1)</sup>, 立川(川名)愛<sup>1,2,3)</sup>, 永田 典代<sup>4)</sup>, 岩田(吉河)奈織子<sup>4)</sup>, 志和 希<sup>4)</sup>, 鈴木 忠樹<sup>4)</sup>, 朴ウンシル<sup>5)</sup>, 前田 健<sup>5)</sup>, 草野 好司<sup>6)</sup>, 島崎竜太郎<sup>6)</sup>, 須崎百合子<sup>7)</sup>, 網 康至<sup>7)</sup>, 俣野 哲朗<sup>1,3,2)</sup>

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター, 2) 東京大学医科学研究所, 3) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター, 4) 国立感染症研究所感染病理部, 5) 国立感染症研究所獣医科学部, 6) 株式会社IDファーマ, 7) 国立感染症研究所安全実験管理部

- 06-32**      **A novel COVID-19 vaccine based on a Made-in-Japan live attenuated virus induces neutralizing antibodies against S-pseudotyped virus in a murine model**  
.....  
**純国産弱毒生ワクチンをベクターとした新規COVID-19ワクチンはマウスモデルでS-偽型ウイルスに対して中和抗体を誘導する**  
大澤 弘明<sup>1)</sup>, 坂本 明彦<sup>1)</sup>, 橋本ひなた<sup>1)</sup>, 水野 哲志<sup>1,2)</sup>, 阿部 優一<sup>1)</sup>, 小川 良平<sup>3)</sup>, 伊従 光洋<sup>1)</sup>, 志田 壽利<sup>4)</sup>, 吉田 栄人<sup>1)</sup>  
1) 金沢大学医薬保健研究域薬学系, 2) 金沢大学医薬保健研究域医学系, 3) 富山大学学術研究部医学系, 4) 北海道大学遺伝子病制御研究所
- 06-33**      **Characterization of novel SARS-CoV-2 temperature-sensitive strains**  
.....  
**SARS-CoV-2温度感受性株の増殖性・弱毒性評価と責任変異の同定**  
柏原 秋穂<sup>1,2)</sup>, 岡村 真弥<sup>1,2)</sup>, 竹河 志郎<sup>2)</sup>, 山西 弘一<sup>2)</sup>, 蝦名 博貴<sup>1,2)</sup>  
1) 大阪大学先導的学際研究機構BIKEN次世代ワクチン共働研究所ウイルスワクチングループ, 2) 一般財団法人阪大微生物病研究会
- 06-34**      **Inactivation of SARS-CoV-2 by chlorous acid water**  
.....  
Basirat Mojisola Lawal-Ayinde<sup>1)</sup>, Tomoko Morita<sup>1)</sup>, Kosuke Oda<sup>1)</sup>, Isanori Horiuchi<sup>2)</sup>, Hisataka Goda<sup>2)</sup>, Takemasa Sakaguchi<sup>1)</sup>  
1) Department of Virology, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University, 2) Sankei Corporation
- 06-35**      **Inhibition of SARS-CoV-2 growth by algae-derived Lectins**  
.....  
Tanuza Nazmul<sup>1)</sup>, Toshihito Nomura<sup>1,2)</sup>, Makoto Hirayama<sup>3)</sup>, Yukiko Nakano<sup>3)</sup>, Kanji Hori<sup>3)</sup>, Takemasa Sakaguchi<sup>1)</sup>  
1) Department of Virology, Graduate School of Biomedical Sciences at Hiroshima University, 2) Department of Infectious Diseases, Hiroshima University Hospital, 3) Department of Marine Bio resource Chemistry, Graduate School of Integrated Sciences for Life, Hiroshima University
- 06-36**      **Synthesis and assessment of copper-based nanoparticles as a surface coating agent for antiviral properties against SARS-CoV-2**  
.....  
Aldise Mareta Natri<sup>1)</sup>, Adita Ayu Permanasari<sup>1)</sup>, Alfonsus Adrian Hadikusumo Harsono<sup>1)</sup>, Agung Purniawan<sup>2,3)</sup>, Royan Wafi Pujiyanto<sup>3)</sup>, Nur Hafidzah Oktavia<sup>3)</sup>, Sigit Tri Wicaksono<sup>3)</sup>, Jezzy Renova Dewantari<sup>1)</sup>, Rima Ratnanggana Prasetya<sup>1)</sup>, Krisnoadi Rahardjo<sup>1)</sup>, Mitsuhiro Nishimura<sup>4)</sup>, Yasuko Mori<sup>4)</sup>, Maria Inge Lusida<sup>1)</sup>, Kazufumi Shimizu<sup>1,4)</sup>  
1) Indonesia-Japan Collaborative Research Center for Emerging and Re-emerging Infectious Diseases, Institute of Tropical Disease, Universitas Airlangga, Surabaya, Indonesia, 2) Department of Materials and Metallurgical Engineering, Institut Teknologi Sepuluh Nopember, Indonesia, 3) Research Center for Advanced Materials and Nanotechnology - Institut Teknologi Sepuluh Nopember, Indonesia, 4) Center for Infectious Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan
- 06-37**      **Triple combination of anti-SARS-CoV-2 drugs that efficiently inhibit the replication of high viral loads – A possibility of the novel anti-viral cocktail therapy**  
.....  
**高ウイルス量の新型コロナウイルスに対して増殖抑制効果のある3剤混合の組み合わせ – 新規抗ウイルス薬カクテル療法の可能性**  
井戸 栄治<sup>1)</sup>, 齋藤 謙悟<sup>1)</sup>, 尾野本浩司<sup>2)</sup>, 米山 光俊<sup>2)</sup>, 小川 知子<sup>1)</sup>, 白澤 浩<sup>1)</sup>  
1) 千葉大学大学院医学研究院・分子ウイルス学, 2) 千葉大学真菌医学研究センター・感染免疫分野

06-38

### Mefloquine has a potent antiviral activity against severe acute respiratory syndrome coronavirus 2.

Kaho Shionoya<sup>1,2</sup>, Masako Yamasaki<sup>1,2</sup>, Shoya Iwanami<sup>3,4</sup>, Yusuke Ito<sup>4</sup>, Shuetsu Fukushima<sup>5</sup>, Hirofumi Ohashi<sup>1,2</sup>, Wakana Saso<sup>1</sup>, Tomohiro Tanaka<sup>6</sup>, Shin Aoki<sup>6</sup>, Kouji Kuramochi<sup>2</sup>, Shingo Iwami<sup>3,4</sup>, Yoshimasa Takahashi<sup>7</sup>, Tadaki Suzuki<sup>8</sup>, Masamichi Muramatsu<sup>1</sup>, Makoto Takeda<sup>9</sup>, Takaji Wakita<sup>1</sup>, Koichi Watashi<sup>1,2,7</sup>

1) Department of Virology II, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan, 2) Department of Applied Biological Science, Tokyo University of Science, Tokyo, Japan, 3) Interdisciplinary Biology Laboratory (iBLab), Division of Biological Science, Graduate School of Science, Nagoya University, Nagoya, Japan, 4) Department of Biology, Faculty of Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan, 5) Department of Virology I, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan, 6) Faculty of Pharmaceutical Sciences, Tokyo University of Science, Tokyo, Japan, 7) Research Center for Drug and Vaccine Development, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan, 8) Department of Pathology, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan, 9) Department of Virology III, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan

塩野谷果歩<sup>1,2</sup>, 山崎 雅子<sup>1,2</sup>, 岩波 翔也<sup>3,4</sup>, 伊藤 悠介<sup>4</sup>, 福士 秀悦<sup>5</sup>, 大橋 啓史<sup>1,2</sup>, 佐宗 若菜<sup>1</sup>, 田中 智博<sup>6</sup>, 青木 伸<sup>6</sup>, 倉持 幸司<sup>2</sup>, 岩見 真吾<sup>3,4</sup>, 高橋 宜聖<sup>7</sup>, 鈴木 忠樹<sup>8</sup>, 村松 正道<sup>1</sup>, 竹田 誠<sup>9</sup>, 脇田 隆字<sup>1</sup>, 渡士 幸一<sup>1,2,7</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部, 2) 東京理科大学大学院 理工学研究科 応用生物科学専攻, 3) 名古屋大学, 4) 九州大学, 5) 国立感染症研究所 ウイルス第一部, 6) 東京理科大学 生命創薬科学科, 7) 国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター, 8) 国立感染症研究所 感染病理部, 9) 国立感染症研究所 ウイルス第三部

06-39

### Identification of novel oxysterol derivatives as RNA replication inhibitor for severe acute respiratory syndrome coronavirus 2.

Hirofumi Ohashi<sup>1</sup>, Feng Wang<sup>3</sup>, Frank Stappenbeck<sup>3</sup>, Kana Tsuchimoto<sup>2</sup>, Chisa Kobayashi<sup>1,2</sup>, Wakana Saso<sup>2</sup>, Michiyo Kataoka<sup>4</sup>, Masako Yamasaki<sup>1,2</sup>, Kouji Kuramochi<sup>1</sup>, Masamichi Muramatsu<sup>2</sup>, Tadaki Suzuki<sup>4</sup>, Camille Sureau<sup>5</sup>, Makoto Takeda<sup>6</sup>, Takaji Wakita<sup>2</sup>, Farhad Parhami<sup>3</sup>, Koichi Watashi<sup>1,2,7</sup>

1) Tokyo University of Science, 2) Department of Virology II, National Institute of Infectious Diseases, 3) MAX BioPharma, Inc, 4) Department of Pathology, National Institute of Infectious Diseases, 5) Laboratoire de Virologie Moléculaire, Institut National de la Transfusion Sanguine, 6) Department of Virology III, National Institute of Infectious Diseases, 7) Research Center for Drug and Vaccine Development, National Institute of Infectious Diseases

大橋 啓史<sup>1</sup>, Feng Wang<sup>3</sup>, Frank Stappenbeck<sup>3</sup>, 土本 佳奈<sup>2</sup>, 小林 ちさ<sup>1,2</sup>, 佐宗 若菜<sup>2</sup>, 片岡 紀代<sup>4</sup>, 山崎 雅子<sup>1,2</sup>, 倉持 幸司<sup>1</sup>, 村松 正道<sup>2</sup>, 鈴木 忠樹<sup>4</sup>, Camille Sureau<sup>5</sup>, 竹田 誠<sup>6</sup>, 脇田 隆字<sup>2</sup>, Farhad Parhami<sup>3</sup>, 渡士 幸一<sup>1,2,7</sup>

1) 東京理科大学, 2) 国立感染症研究所 ウイルス第二部, 3) MAX BioPharma, Inc, 4) 国立感染症研究所 感染病理部, 5) Laboratoire de Virologie Moléculaire, Institut National de la Transfusion Sanguine, 6) 国立感染症研究所 ウイルス第三部, 7) 国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター

06-40

### Natto extract directly inhibits viral infections including SARS-CoV-2 *in vitro*

#### 納豆抽出物はin vitroでSARS-CoV-2の細胞への感染を抑制する

大場 真己<sup>1</sup>, 文 裕鐸<sup>1</sup>, 齊藤 暁<sup>2</sup>, 岡林 環樹<sup>2</sup>, 横田 智子<sup>1</sup>, 安岡 潤子<sup>1</sup>, 佐藤 葉子<sup>1</sup>, 西藤 公司<sup>1</sup>, 和気 仁志<sup>1</sup>, 二歩 裕<sup>1</sup>, 水谷 哲也<sup>1</sup>

1) 東京農工大学, 2) 宮崎大学

06-41

### Development of human neutralizing monoclonal antibodies for prevention of SARS-CoV-2 infections

#### 新型コロナウイルスの細胞侵入を阻害するヒト・モノクローナル抗体の作製

谷 英樹<sup>1</sup>, 佐賀由美子<sup>1</sup>, 五十嵐笑子<sup>1</sup>, 小澤 龍彦<sup>2</sup>, 岸 裕幸<sup>2</sup>, 森永 芳智<sup>2</sup>, 山本 善裕<sup>2</sup>, 磯部 正治<sup>3</sup>, 黒澤 信幸<sup>3</sup>, 小野 慎子<sup>4</sup>, 松浦 善治<sup>4</sup>, 仁井見英樹<sup>2</sup>

1) 富山県衛生研究所ウイルス部, 2) 富山大学学術研究部医学系, 3) 富山大学学術研究部工学系, 4) 大阪大学感染症総合教育研究拠点、大阪大学微生物病研究所

- 06-42 **Transient and stable replicon systems of SARS-CoV-2 for drug screening**  
.....  
**一過性および安定発現系への適用可能なSARS-CoV-2レプリコンシステムの開発**  
田中 智久<sup>1)</sup>, 岡本 徹<sup>2)</sup>, 葛西 宏威<sup>1)</sup>, 山下 篤哉<sup>1)</sup>, 森石 恆司<sup>1)</sup>  
1) 山梨大学, 2) 大阪大学微生物病研究所
- 06-43 **Development of SARS CoV-2 replicon by using reverse genetics**  
.....  
**リバースジェネティクス法を利用したSARS-CoV-2レプリコンの開発**  
武田 緑, 池田 正徳  
鹿児島大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 06-44 **Development of drugs targeting the interaction between the SARS-CoV-2 envelope and host PDZ-containing proteins**  
.....  
**SARS-CoV-2エンベロープタンパク質と宿主PDZタンパク質との相互作用を阻害する化合物の探索**  
鈴木 陽一<sup>1)</sup>, 天野 剛志<sup>2)</sup>, 高木 春樺<sup>2)</sup>, 三浦 滉矢<sup>3)</sup>, 石田幸太郎<sup>3)</sup>, 濱嶋 竜生<sup>2)</sup>, 中野 隆史<sup>1)</sup>, 森田 英嗣<sup>3)</sup>, 廣明 秀一<sup>2)</sup>  
1) 大阪医科薬科大学 医学部, 2) 国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学大学院 創薬科学研究科基盤創薬学専攻, 3) 国立大学法人弘前大学 農学生命科学部
- 06-45 **Mutations on non-structural proteins of SARS-CoV-2 possibly associated with worse clinical outcomes in a real-life practice**  
.....  
**実臨床で負に影響すると考えられるSARS-CoV-2の非構造蛋白上の変異**  
市川 貴也<sup>1)</sup>, 鳥居 志保<sup>2)</sup>, 鈴木 彦有<sup>3)</sup>, 高田 明生<sup>4)</sup>, 柿木 康孝<sup>1)</sup>  
1) 市立旭川病院 血液内科, 2) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス制御学グループ, 3) 株式会社digzyme, 4) 市立旭川病院 病理診断科
- 06-46 **Revisiting the isolation guidelines for COVID-19 patients: simulation with viral dynamics model**  
.....  
**Yong Dam Jeong<sup>1,2)</sup>, Keisuke Ejima<sup>3)</sup>, Kwang Su Kim<sup>1)</sup>, Shoya Iwanami<sup>1)</sup>, Shingo Iwami<sup>1,4,5,6,7)</sup>**  
1) Interdisciplinary Biology Laboratory (iBLab), Division of Biological Science, Graduate School of Science, Nagoya University, Nagoya, Japan, 2) Department of Mathematics, Pusan National University, Busan, Republic of Korea, 3) Department of Epidemiology and Biostatistics, Indiana University School of Public Health-Bloomington, Bloomington, United States, 4) Institute of Mathematics for Industry, Kyushu University, Fukuoka, Japan, 5) Institute for the Advanced Study of Human Biology (ASHBi), Kyoto University, Kyoto, Japan, 6) NEXT-Ganken Program, Japanese Foundation for Cancer Research (JFCR), Tokyo, Japan, 7) Science Groove Inc., Fukuoka, Japan
- 06-47 **Within-host SARS-CoV-2, MERS-CoV, and SARS-CoV dynamics: modeling and implication for therapy**  
.....  
**Kwangsu Kim<sup>1)</sup>, Keisuke Ejima<sup>2)</sup>, Shoya Iwanami<sup>1)</sup>, Shingo Iwami<sup>1)</sup>**  
1) interdisciplinary Biology Laboratory (iBLab), Division of Biological Science, Graduate School of Science, Nagoya University, Nagoya 4648602, Japan, 2) Department of Epidemiology and Biostatistics, Indiana University School of Public Health-Bloomington, IN, USA 47405
- 06-48 (MS2-03) **Mathematical modeling for the impact of repurposed antiviral drugs on SARS-CoV-2 dynamics in clinical settings**  
.....  
**ドラッグリポジショニング薬剤の新型コロナウイルス感染動態への定量的分析**  
岩見 真吾<sup>1)</sup>, 渡士 幸一<sup>2)</sup>, 脇田 隆字<sup>2)</sup>  
1) 名古屋大学, 2) 国立感染症研究所

- 06-49**      **Calculation of reasonable sample sizes in randomized controlled trials for antiviral drugs based on SARS-CoV-2 infection dynamics**  
 .....  
**SARS-CoV-2の感染動態に基づく抗ウイルス薬のランダム化比較試験での妥当なサンプルサイズの解析**  
 岩波 翔也<sup>1)</sup>, 江島 啓介<sup>2)</sup>, キムクァンス<sup>1)</sup>, 野下 浩司<sup>3)</sup>, 岩見 真吾<sup>1)</sup>  
 1)名古屋大学, 2)Indiana University, 3)九州大学
- 06-50**      **Establishment of a reverse genetics system for SARS-CoV-2 using circular polymerase extension reaction**  
 .....  
 Shiho Torii<sup>1,2)</sup>, Chikako Ono<sup>1,3)</sup>, Rigel Suzuki<sup>4)</sup>, Yuhei Morioka<sup>1,4)</sup>, Itsuki Anzai<sup>5)</sup>, Yusuke Maeda<sup>6)</sup>, Wataru Kamitani<sup>7)</sup>, Takasuke Fukuhara<sup>4)</sup>, Yoshiharu Matsuura<sup>1,8)</sup>  
 1)Laboratory of Virus Control, Center for Infectious Disease Education and Research, Osaka University, Osaka, Japan, 2)Insect-Virus Interactions Unit, Institut Pasteur, Paris, France, 3)Laboratory for Cell Polarity Regulation, RIKEN Center for Biosystems Dynamics Research, Osaka, Japan, 4)Department of Microbiology and Immunology, Graduate School of Medicine, Hokkaido University, Sapporo, Japan, 5)Department of Molecular virology, Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, Osaka, Japan, 6)Laboratory of Viral Dynamism Research, Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, Osaka, Japan, 7)Department of Infectious Diseases and Host Defense, Graduate School of Medicine, Gunma University, Maebashi, Japan, 8)Laboratory of Virus Control, Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, Osaka, Japan
- 06-51**      **Establishment and evaluation of human iPS cell-derived myeloid cell lines susceptible to SARS-CoV-2**  
 .....  
**ヒトiPS細胞由来ミエロイド系細胞株の作製と新型コロナウイルス研究への応用**  
 日紫喜隆行<sup>1)</sup>, 吉村 結花<sup>2)</sup>, 鈴木理恵子<sup>1)</sup>, 村上 愛海<sup>2)</sup>, 齋藤 結愛<sup>2)</sup>, 丹賀 直美<sup>2)</sup>, 清水 淳<sup>2)</sup>, 宮崎 和雄<sup>2)</sup>, 高崎 智彦<sup>1)</sup>  
 1)神奈川県衛生研究所, 2)マイキャン・テクノロジーズ株式会社
- 06-52**      **A novel neutralization test using mutant and chimeric viruses with spike proteins derived from SARS-CoV-2 variants**  
 .....  
 Rigel Suzuki<sup>1)</sup>, Yuhei Morioka<sup>1,2)</sup>, Hayato Ito<sup>1)</sup>, Shiho Torii<sup>2,3)</sup>, Nobuhiro Kobayashi<sup>1)</sup>, Kenta Shimizu<sup>1)</sup>, Chikako Ono<sup>2,4)</sup>, Takahiro Tomiyama<sup>5)</sup>, Tomoharu Yoshizumi<sup>5)</sup>, Yoshiharu Matsuura<sup>2)</sup>, Takasuke Fukuhara<sup>1)</sup>  
 1)Department of Microbiology and Immunology, Graduate School of Medicine, Hokkaido University, 2)Laboratory of Virus Control, Center for Infectious Disease Education and Research, Osaka University, 3)Insect-Virus Interaction Unit, Department of Virology, Institut Pasteur, 4)Laboratory for Cell Polarity Regulation, RIKEN Center for Biosystems Dynamics Research, 5)Department of Surgery and Science, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University  
 鈴木 理滋<sup>1)</sup>, 森岡 佑平<sup>1,2)</sup>, 伊藤 駿<sup>1)</sup>, 鳥居 志保<sup>2,3)</sup>, 小林 展大<sup>1)</sup>, 清水 健太<sup>1)</sup>, 小野 慎子<sup>2,4)</sup>, 富山 貴央<sup>5)</sup>, 吉住 朋晴<sup>5)</sup>, 松浦 善治<sup>2)</sup>, 福原 崇介<sup>1)</sup>  
 1)北海道大学 医学研究院 病原微生物学教室, 2)大阪大学 難治感染症対策研究センター ウイルス制御学グループ, 3)パストール研究所, 4)理化学研究所 生命機能科学研究センター 細胞極性統御研究チーム, 5)九州大学 医学研究院

06-53 **Cross-neutralizing breadth and longevity against SARS-CoV-2 variants after infections**

COVID-19感染者における変異ウイルスに対する交差反応とその中和抗体活性の持続

倉橋 幸也<sup>1)</sup>, Silvia Sutandhio<sup>1)</sup>, 古川 皓一<sup>1)</sup>, Lidya Handayani Tjan<sup>1)</sup>, 岩田 幸代<sup>2)</sup>, 当麻 美樹<sup>3)</sup>, 佐野 秀<sup>3)</sup>, 中村 幸子<sup>4)</sup>, 大北 弘幸<sup>4)</sup>, 西村 光広<sup>1)</sup>, 有井 潤<sup>1)</sup>, 桐生 辰徳<sup>5)</sup>, 山本 正嗣<sup>6)</sup>, 永野 達也<sup>6)</sup>, 西村 善博<sup>6)</sup>, 森 康子<sup>1)</sup>

1) 神戸大学大学院 医学研究科 附属感染症センター 臨床ウイルス学分野, 2) 兵庫県立加古川医療センター 循環器内科, 3) 兵庫県立加古川医療センター 救急科, 4) 兵庫県立加古川医療センター 総合内科, 5) 兵庫県立淡路医療センター 呼吸器内科, 6) 神戸大学大学院 医学研究科 内科学講座 呼吸器内科学分野

06-54 **Acquired neutralizing breadth against SARS-CoV-2 variants and the relationship with side effects after BNT162b2 mRNA COVID-19 vaccination**

新型コロナウイルスワクチン接種による獲得中和抗体と副反応の検討

古川 皓一, 倉橋 幸也, Lidya Handayani Tjan, Silvia Sutandhio, 西村 光広, 有井 潤, 森 康子

神戸大学大学院 医学研究科 附属感染症センター 臨床ウイルス学分野

06-55 **Seroepidemiologic surveillance of COVID-19 in Hyogo prefecture.**

Zhenxiao Ren<sup>1)</sup>, Koichi Furukawa<sup>1)</sup>, Mitsuhiro Nishimura<sup>1)</sup>, Yukiya Kurahashi<sup>1)</sup>, Silvia Sutandhio<sup>1)</sup>, Jun Arai<sup>1)</sup>, Kenichi Uto<sup>2)</sup>, Keiji Matsui<sup>2)</sup>, Itsuko Sato<sup>2)</sup>, Jun Saegusa<sup>2)</sup>, Tatsuya Nagashima<sup>3)</sup>, Yasuko Mori<sup>1)</sup>

1) Division of Clinical Virology, Center for Infectious Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine, 2) Department of Clinical Laboratory, Kobe University Hospital, 3) Hyogo Prefecture Health Promotion Association

06-56 (S3-08) **S-217622, a Novel SARS-CoV-2 3C-Like Protease Inhibitor Clinical Candidate, As a Potential Oral Therapeutic Agent for COVID-19**

COVID-19新規経口治療薬候補S-217622 ~3C-Likeプロテアーゼ阻害剤~

登 治謙<sup>1)</sup>, 立花 裕樹<sup>1)</sup>, 山津 維子<sup>1)</sup>, 川島 生<sup>1)</sup>, 丸山 優樹<sup>1)</sup>, 鳥羽 晋輔<sup>1,2)</sup>, 宇納 佑斗<sup>1)</sup>, 中原 健二<sup>1)</sup>, 埜田 善之<sup>1)</sup>, 上原 彰太<sup>1)</sup>, 山本 志保<sup>1)</sup>, 水垂 亨<sup>1)</sup>, 笠松 幸司<sup>1)</sup>, 幸木 謙典<sup>1)</sup>, 中橋 徳文<sup>1)</sup>, 須藤 貴弘<sup>1)</sup>, 佐名木孝央<sup>1)</sup>, 上村健太郎<sup>1,2)</sup>, 佐藤 剛章<sup>1)</sup>, 澤 洋文<sup>2)</sup>, 大場 靖子<sup>2)</sup>, 佐々木道仁<sup>2)</sup>, 佐藤 彰彦<sup>1,2)</sup>, 加藤 輝久<sup>1)</sup>

1) 塩野義製薬株式会社, 2) 北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所 分子病態・診断部門

Live discussion1 Day 1. November 16 [Tue] 10:00~10:30

Retrovirus 1

07-1 **MARCH8 targets cytoplasmic lysine residues of various viral envelope glycoproteins**

Yanzhao Zhang<sup>1)</sup>, Seiya Ozono<sup>1,2)</sup>, Takuya Tada<sup>1,3)</sup>, Minoru Tobiume<sup>1)</sup>, Masanori Kameoka<sup>4)</sup>, Satoshi Kishigami<sup>2)</sup>, Hideaki Fujita<sup>5)</sup>, Kenzo Tokunaga<sup>1)</sup>

1) National Institute of Infectious Diseases, 2) University of Yamanashi, 3) New York University, 4) Kobe University, 5) Nagasaki International University

張 延昭<sup>1)</sup>, 大園 誠也<sup>1,2)</sup>, 多田 卓哉<sup>1,3)</sup>, 飛梅 実<sup>1)</sup>, 亀岡 正典<sup>4)</sup>, 岸上 哲士<sup>2)</sup>, 藤田 英明<sup>5)</sup>, 徳永 研三<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所, 2) 山梨大学, 3) ニューヨーク大学, 4) 神戸大学, 5) 長崎国際大学

- 07-2 **Mechanisms of HIV-1 restriction by Schlafen12, a codon usage modifier to block targeted translation in homeostatic proliferating CD4 T cells**  
 .....  
 Mie Kobayashi-Ishihara<sup>1,2</sup>, Florencia E Alonso<sup>1</sup>, Katarina Smutná<sup>1</sup>, Jordi M Argilagué<sup>1</sup>, Jennifer Jungfleisch<sup>1</sup>, René Böttcher<sup>1</sup>, Javier P Martinez<sup>1</sup>, Yasuko Tsunetsugu-Yokota<sup>3</sup>, Juana Díez Antón<sup>1</sup>, Andreas Meyerhans<sup>1,4</sup>  
 1) Universitat Pompeu Fabra, Barcelona, Spain, 2) Current affiliation: Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan, 3) Tokyo University of Technology, Tokyo, Japan, 4) Catalan Institution for Research and Advanced Studies (ICREA), Barcelona, Spain
- 07-3 **The impact of synonymous single nucleotide substitutions in the HIV-1 *vpr* sequence on viral replication**  
 .....  
**HIV-1 *vpr*塩基配列の同義一塩基置換がウイルス複製に与える影響**  
 駒 貴明<sup>1</sup>, 土肥 直哉<sup>1</sup>, 塚田知寿子<sup>2</sup>, 戸梶 智耀<sup>2</sup>, 礎 光希<sup>2</sup>, 足立 昭夫<sup>3</sup>, 野間口雅子<sup>1</sup>  
 1) 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 微生物病原学分野, 2) 徳島大学 医学部, 3) 関西医科大学 医学部 微生物学講座
- 07-4 **Chemical library screening identifies new low-molecular compounds regulating HIV-1 transcription.**  
 .....  
**HIV-1 転写動態制御に関わる新規低分子化合物の探索**  
 助川 明香<sup>1</sup>, 松田 幸樹<sup>2</sup>, 北村 春樹<sup>1</sup>, 月谷 知也<sup>1</sup>, 芳野 広起<sup>1</sup>, 小早川拓也<sup>3</sup>, 玉村 啓和<sup>3</sup>, 山岡 昇司<sup>1</sup>, 前田 賢次<sup>2</sup>, 武内 寛明<sup>1</sup>  
 1) 東京医科歯科大学・ウイルス制御学分野, 2) 国立国際医療研究センター・難治性ウイルス感染症研究部, 3) 東京医科歯科大学・生体材料工学研究所
- 07-5 **Identification and functional analysis of a novel host cell factor regulating HIV-1 expression**  
 .....  
**HIV-1 発現を制御する新規宿主細胞因子の同定および機能解析**  
 多賀 佳, 北村 春樹, 助川 明香, 山岡 昇司, 武内 寛明  
 東京医科歯科大学
- 07-6 (MS1-03) **A genome-wide RNAi screen identifies host cell factors required for the maintenance of HIV-1 latency**  
 .....  
**HIV-1 潜伏感染を制御する宿主細胞因子の同定および機能解析**  
 北村 春樹, 飯嶋 夏樹, 山岡 昇司, 武内 寛明  
 東京医科歯科大学
- 07-7 **A zinc-finger-containing protein ZCCHC3 is a novel antiretroviral host factor**  
 .....  
 Binbin Yi<sup>1</sup>, Yuri L Tanaka<sup>2</sup>, Akatsuki Saito<sup>2</sup>, Shige H. Yoshimura<sup>1</sup>  
 1) kyoto university, 2) University of Miyazaki  
 イビンビン<sup>1</sup>, 田中 友理<sup>2</sup>, 齊藤 暁<sup>2</sup>, 吉村 成弘<sup>1</sup>  
 1) 京都大学, 2) 宮崎大学
- 07-8 **Broad spectrum of the antiretroviral ZCCHC3 protein**  
 .....  
**新規抗レトロウイルス宿主因子ZCCHC3は広域に作用する**  
 田中 友理<sup>1</sup>, Binbin Yi<sup>2</sup>, バトラー田中英里佳<sup>1</sup>, 吉村 成弘<sup>2</sup>, 齊藤 暁<sup>1,3</sup>  
 1) 宮崎大学農学部獣医学科, 2) 京都大学大学院生命科学科, 3) 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

07-9 Understanding molecular mechanism by which viruses overcome human defense system

動物に感染するウイルスがヒトの抗ウイルス機構を攻略する機序の解明

芳田 剛, Weitong Yao, 橋本 紗希, 武内 寛明, 山岡 昇司

東京医科歯科大学

07-10 Superiority of RT enzyme exerted through Pol-precursor form.

HIV-1 Pol中間産物の逆転写過程における酵素学的優位性

増田 貴夫<sup>1)</sup>, 阿部 佑哉<sup>1)</sup>, 黄 渝倫<sup>1)</sup>, 長谷川温彦<sup>1)</sup>, 河合 剛太<sup>2)</sup>, 神奈木真理<sup>1)</sup>

1) 東京医科歯科大学, 2) 千葉工業大学

07-11 Capsid-dependent restriction of retroviruses by species-specific host factors, including TRIM5 $\alpha$  and CPSF6, in bat cell lines

Sadayuki Okura<sup>1)</sup>, Masumi Shimizu<sup>1)</sup>, Masayuki Horie<sup>2)</sup>, So Nakagawa<sup>3)</sup>, Haruka Osanai<sup>1)</sup>, Yoshitaka Miyagawa<sup>1)</sup>, Rimpei Morita<sup>1)</sup>

1) Nippon Medical School, 2) Osaka Prefecture University, 3) Tokai University

大倉 定之<sup>1)</sup>, 清水 真澄<sup>1)</sup>, 堀江 真行<sup>2)</sup>, 中川 草<sup>3)</sup>, 小山内遥香<sup>1)</sup>, 宮川世志幸<sup>1)</sup>, 森田 林平<sup>1)</sup>

1) 日本医科大学, 2) 大阪府立大学, 3) 東海大学

07-12 Elucidation of mechanism and derivative synthesis of a new anti-HIV-1 compound that targets the capsid dimerization interface

カプシド二量体化に関与する相互作用を標的とした新規抗HIV-1低分子化合物の作用機序解析および誘導体の創製

村上 努<sup>1)</sup>, 小早川拓也<sup>2)</sup>, 大西 立人<sup>2)</sup>, 朴 清香<sup>2)</sup>, 横山 勝<sup>3)</sup>, 小谷 治<sup>3)</sup>, 辻 耕平<sup>2)</sup>, 佐藤 裕徳<sup>3)</sup>, 玉村 啓和<sup>2)</sup>

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター, 2) 東京医科歯科大生体材料工学研究所, 3) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

07-13 Single cell RNA-seq reveals that HTLV-1 utilizes T-cell activation mechanisms for leukemic transformation

Benjy Jek Yang Tan<sup>1,2,3)</sup>, Kenji Sugata<sup>1)</sup>, Omnia Reda<sup>1,2,4,3)</sup>, Misaki Matsuo<sup>1,2)</sup>, Kyosuke Uchiyama<sup>5)</sup>, Paola Miyazato<sup>2)</sup>, Vincent Hahaut<sup>6,7)</sup>, Hitoshi Suzushima<sup>8)</sup>, Hiroo Katsuya<sup>2,9)</sup>, Masahito Tokunaga<sup>10)</sup>, Yoshikazu Uchiyama<sup>11)</sup>, Hideaki Nakamura<sup>12)</sup>, Eisaburo Sueoka<sup>13)</sup>, Atae Utsunomiya<sup>10)</sup>, Masahiro Ono<sup>14,2)</sup>, Yorifumi Satou<sup>1,2)</sup>

1) Division of Genomics & Transcriptomics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan, 2) International Research Center for Medical Sciences (IRCMS), Kumamoto University, Kumamoto, Japan, 3) Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan, 4) Department of Microbiology, High Institute of Public Health, Alexandria University, Egypt, 5) School of Medicine, Kumamoto University, Kumamoto, Japan, 6) Institute of Molecular and Clinical Ophthalmology Basel, Basel, Switzerland, 7) Department of Ophthalmology, University of Basel, Basel, Switzerland, 8) Department of Hematology, Kumamoto Shinto General Hospital, Kumamoto, Japan, 9) Division of Hematology, Respiratory Medicine & Oncology, Saga University, Saga, Japan, 10) Department of Hematology, Imamura General Hospital, Kagoshima, Japan, 11) Division of Informative Clinical Sciences, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan, 12) Department of Transfusion Medicine, Faculty of Medicine, Saga University, Saga, Japan, 13) Department of Clinical Laboratory Medicine, Faculty of Medicine, Saga University, Saga, Japan, 14) Department of Life Sciences, Imperial College London, London, UK

- 07-14 **Unique regulation of host and oncogenic viral gene expression in ATL cell line ED**  
 .....  
**成人T細胞白血病細胞株EDにおけるプロウイルス挿入部位の宿主とウイルス遺伝子の発現制御**  
 広沢 裕香<sup>1)</sup>, 浜 みなみ<sup>1)</sup>, 中村 友寿<sup>1)</sup>, 八木真裕子<sup>1)</sup>, 武田 哲<sup>2)</sup>, 駒野 淳<sup>1)</sup>  
 1)大阪医科薬科大学, 2)国立感染症研究所 安全実験管理部
- 07-15 **Analysis of mutual regulation and synergistic functions of viral proteins in HTLV-1 infection**  
 .....  
**HTLV-1感染の場におけるウイルスタンパク質の相互制御機構と相乗的機能の解析**  
 中野 和民<sup>1)</sup>, 田中 稀瑛<sup>1)</sup>, 内田 弘毅<sup>1)</sup>, 渡邊 俊樹<sup>2)</sup>, 内丸 薫<sup>1)</sup>  
 1)東京大学大学院/新領域創成科学研究科/メディカル情報生命専攻, 2)聖マリアンナ医科大学大学院 医療情報実用化マネジメント学
- 07-16 **HBZ Protein and RNA upregulate TP73 by a different mechanism of action, contributing to the Warburg effect**  
 .....  
**HTLV-1 bZIP factor (HBZ) タンパク質とmRNAは異なる作用機序でTP73を誘導し, Warburg効果に寄与する**  
 豊田 康祐, 安永純一朗, 松岡 雅雄  
 熊本大学病院 血液・膠原病・感染症内科
- 07-17 **The influence of APOBEC3B polymorphism in ATL progression**  
 .....  
**成人T細胞白血病・リンパ腫の進行におけるAPOBEC3B遺伝子型の影響**  
 中田 佳宏<sup>1,2)</sup>, 大出 裕高<sup>1)</sup>, 勝屋 弘雄<sup>3,4)</sup>, Saiful Islam<sup>3)</sup>, 今橋 真弓<sup>1)</sup>, 横幕 能行<sup>1)</sup>, 佐藤 賢文<sup>3)</sup>, 岩谷 靖雅<sup>1,2)</sup>  
 1)国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター, 2)名古屋大学大学院医学系研究科, 3)熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター, 4)佐賀大学医学部血液・呼吸器・腫瘍内科
- 07-18 **Efficacy of neutralizing monoclonal antibody against HTLV-1 infection in non-human primate model**  
 .....  
**霊長類モデルを用いた抗ヒト化HTLV-1中和単クロン抗体によるHTLV-1感染予防効果の評価**  
 浦野恵美子<sup>1)</sup>, 田中 勇悦<sup>2)</sup>, 保富 康宏<sup>1)</sup>  
 1)国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所, 2)国立大学法人琉球大学
- 07-19 **In vitro evaluation of anti-STLV-1 effects of cytolytic recombinant VSVs toward development of anti-HTLV-1 therapy in an STLV-1-infected non-human primate model**  
 .....  
**HTLV-1感染に対する細胞溶解性組換えVSVのSTLV-1感染非ヒト霊長類モデルにおける薬効評価に向けた検討**  
 大隈 和<sup>1,2)</sup>, 関 洋平<sup>2)</sup>, 村田めぐみ<sup>3)</sup>, Kidiga Maureen<sup>3)</sup>, 明里 宏文<sup>3,4)</sup>, 浜口 功<sup>2)</sup>  
 1)関西医科大学医学部 微生物学講座, 2)国立感染症研究所 血液・安全性研究部, 3)京都大学霊長類研究所 人類進化モデル研究センター, 4)京都大学ウイルス・再生医科学研究所 ウイルス感染症モデル分野

## Retrovirus 2

- 07-20 **Anti-retroviral activity, but not thiol reductase activity, is conserved in arthropod gamma-interferon-inducible lysosomal host factor**  
.....  
節足動物のγインターフェロン誘導性エンドソーム局在宿主因子GILTではチオール還元酵素活性ではなく抗ウイルス活性が保存されている  
久保 嘉直<sup>1)</sup>, 泉田 真生<sup>1)</sup>, 菅 向志朗<sup>3)</sup>, 石橋 郁人<sup>3)</sup>, 林 日出喜<sup>2)</sup>  
1) 長崎県大学熱帯医学研究所, 2) 長崎大学医学部, 3) 長崎大学水産学部
- 07-21 **Identification of host factors inhibiting the retrotransposition of human endogenous retroviruses**  
.....  
Kazuaki Monde<sup>1)</sup>, Kouki Shibata<sup>1)</sup>, Nami Monde<sup>1)</sup>, Hiromi Terasawa<sup>1)</sup>, Tomohiro Sawa<sup>1)</sup>, Yosuke Maeda<sup>1)</sup>, Hiroaki Takeuchi<sup>2)</sup>  
1) Kumamoto University, 2) Tokyo Medical and Dental University  
門出 和精<sup>1)</sup>, 柴田 光輝<sup>1)</sup>, 門出 奈美<sup>1)</sup>, 寺沢 広美<sup>1)</sup>, 澤 智裕<sup>1)</sup>, 前田 洋助<sup>1)</sup>, 武内 寛明<sup>2)</sup>  
1) 熊本大学大学院, 2) 東京医科歯科大学
- 07-22 **A model system to define the immune genes controlling reactivation of an endogenous virus**  
.....  
Anselmo Jiro Kamada, Nicholas Parrish  
RIKEN IMS Yokohama
- 07-23 **An antiviral host factor GILT controls endogenous retrovirus-induced placental formation and is associated with hypertensive disorder of pregnancy**  
.....  
Mai Izumida, Yoshinao Kubo, Koya Ariyoshi  
Nagasaki University Institute of Tropical Medicine Department of Internal Medicine  
泉田 真生, 久保 嘉直, 有吉 紅也  
長崎大学熱帯医学研究所臨床感染症学分野
- 07-24(MS1-02) **Development of novel HLA class-II multimer for virus-specific CD4 T cell detection**  
.....  
ウイルス抗原特異的CD4陽性T細胞の検出を目的とした新規HLA class-IIマルチマーの開発  
菅田 謙治<sup>1,2)</sup>  
1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター, 2) プリンセス・マーガレットがんセンター
- 07-25 **Investigation of the innate immune responses in *Eptesicus* bat cell lines**  
.....  
Hsien-Hen Lin<sup>1,2)</sup>, Yahiro Mukai<sup>1,2)</sup>, Ryo Komorizono<sup>1)</sup>, Masayuki Horie<sup>4)</sup>, Keizo Tomonaga<sup>1,2,3)</sup>  
1) Lab. of RNA Viruses, Dept. of Virus Research, Inst. for Frontier Life and Medical Sciences (InFRONT), Kyoto Univ., 2) Dept. of Mammalian Regulatory Network, Graduate School of Biostudies, Kyoto Univ., 3) Dept. of Molecular Virology, Graduate School of Medicine, Kyoto Univ., 4) Lab. of Veterinary Microbiology, Division of Veterinary Sciences, Graduate school of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture Univ.

- 07-26 **Screening for Type I IFN-inducing low molecular compound**  
 .....  
**I型IFN誘導作用を有する低分子化合物の探索と分子機序の解明**  
 根岸 英雄<sup>1)</sup>, 和田 雄佑<sup>1)</sup>, 石井 健<sup>1,2,3)</sup>  
 1) 東京大学 医科学研究所 感染・免疫部門 ワクチン科学分野, 2) 東京大学医科学研究所 国際ワクチンデザインセンター, 3) 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター モックアップワクチンプロジェクト

- 07-27 **Detailed phenotypical analysis indicates the biology of Friend virus-induced erythroleukemia cells**  
 .....  
 Tetsuo Tsukamoto<sup>1)</sup>, Yoshiyuki Hakata<sup>1)</sup>, Sachiyo Tsuji-Kawahara<sup>1)</sup>, Takashi Nakayama<sup>2)</sup>, Hitoshi Okada<sup>3)</sup>, Masaaki Miyazawa<sup>1,4)</sup>  
 1) Department of Immunology, Kindai University Faculty of Medicine, 2) Division of Chemotherapy, Kindai University Faculty of Pharmacy, 3) Department of Biochemistry, Kindai University Faculty of Medicine, 4) Kindai University Anti-Aging Center  
 塚本 徹雄<sup>1)</sup>, 博多 義之<sup>1)</sup>, 河原佐智代<sup>1)</sup>, 中山 隆志<sup>2)</sup>, 岡田 齊<sup>3)</sup>, 宮澤 正顯<sup>1,4)</sup>  
 1) 近畿大学医学部免疫学教室, 2) 近畿大学薬学部化学療法学研究室, 3) 近畿大学医学部生化学教室, 4) 近畿大学アンチエイジングセンター

Live discussion4 Day 1. November 16 [Tue] 15:00~15:30

## Others

- 08-1 **Development of Temporal Modelling for Prediction of Diarrhea Cases in Surabaya and Sidoarjo**  
 .....  
 Aussie Tahta Maharani<sup>1)</sup>, Zayyin Dinana<sup>1)</sup>, Anisa Lailatul Fitria<sup>1)</sup>, Laura Navika Yamani<sup>1)</sup>, Juniastuti Juniastuti<sup>1)</sup>, Takako Utsumi<sup>1)</sup>, Chieko Matsui<sup>2)</sup>, Lin Deng<sup>2)</sup>, Soetjipto Soetjipto<sup>1)</sup>, Maria Inge Lusida<sup>1)</sup>, Ikuo Shoji<sup>2)</sup>  
 1) Indonesia-Japan Collaborative Research Center for Emerging and Re-emerging Infectious Disease, Institute of Tropical Disease, Airlangga University, Surabaya, Indonesia, 2) Center for Infectious Disease, Kobe University Graduate School of Medicine, Hyogo, Japan
- 08-2 **Analysis of the RNA sequence recognized by a replication protein of tobacco mosaic virus**  
 .....  
**タバコモザイクウイルス複製タンパク質の認識するRNA配列の解析**  
 吉田 哲也, 石川 雅之, 石橋 和夫  
 農研機構 生物機能利用研究部門
- 08-3 **Viruses host viruses: Diverse dsRNA viruses host specific capsidless (+) ssRNA yadokariviruses**  
 .....  
 Yukiyo Sato<sup>1)</sup>, Sakae Hisano<sup>1)</sup>, Carlos López-Herrera<sup>2)</sup>, Hideki Kondo<sup>1)</sup>, Nobuhiro Suzuki<sup>1)</sup>  
 1) Institute of Plant Science and Resources, Okayama University, 2) Instituto de Agricultura Sostenible C.S.I.C., Alameda del Obispo  
 佐藤有希代<sup>1)</sup>, 久野 昌<sup>1)</sup>, Carlos López-Herrera<sup>2)</sup>, 近藤 秀樹<sup>1)</sup>, 鈴木 信弘<sup>1)</sup>  
 1) 岡山大学資源植物科学研究所, 2) Instituto de Agricultura Sostenible C.S.I.C., Alameda del Obispo

08-4 **Molecular epidemiology and dispersal dynamics of a plant virus in global and local scale.**

Shusuke Kawakubo, Kazusato Ohshima

Saga University

川久保修佑, 大島 一里

佐賀大学

08-5 **Does algal virus selectively fish their target cell by using lots of baits?**

藻類ウイルスはサビキ状分子で標的細胞を釣るか？

長崎 慶三<sup>1)</sup>, 和田 啓<sup>2)</sup>, 武部 紘明<sup>3)</sup>, 森本 大地<sup>3)</sup>, 廣本 春奈<sup>1)</sup>, 船岳 祐作<sup>1)</sup>, 高橋 迪子<sup>1)</sup>

1) 高知大学, 2) 宮崎大学, 3) 京都大学

08-6 **Characterization of human prion susceptibility in glioma cell lines**

ヒトグリオーマ細胞におけるプリオン感染動態の解析

森 剛志, 今村 守一, 高月 英恵, 井口 洋美, 大野美奈子, 新 竜一郎

宮崎大学 医学部 微生物学分野

08-7 **Drug-induced latent prion infection in Fukuoka-1 strain infected cells by pentosan polysulfate**

ペントサンポリサルフェートによるプリオン(Fukuoka-1株)持続感染細胞における薬剤誘導性潜伏感染

高月 英恵, 森 剛志, 今村 守一, 新 竜一郎

宮崎大学

# Poster Session [英語・日本語 / English・Japanese]

Live discussion3 Day 1, November 16 [Tue] 13:30~14:00

## DNA virus 3

- P1-1** Identification of a novel animal adenovirus protein required for efficient replication  
 .....  
**動物アデノウイルスの効率的な増殖に必要な新規ウイルスタンパク質の同定**  
 松郷 宙倫<sup>1,2)</sup>, 神木 春彦<sup>1)</sup>, 石田 大歩<sup>1)</sup>, 北村 知也<sup>1,3)</sup>, 関根 渉<sup>1)</sup>, 上間亜希子<sup>1)</sup>, 村上 晋<sup>1)</sup>, 堀本 泰介<sup>1)</sup>  
 1) 東京大学大学院農学生命科学研究科獣医微生物学研究室, 2) 東京大学大学院農学生命科学研究科獣医公衆衛生学研究室, 3) 動物衛生研究部門アフリカ豚熱ユニット
- P1-2** Detection of human polyomaviruses in cases of Kimura disease and angiolymphoid hyperplasia with eosinophilia  
 .....  
**木村病と好酸球性血管リンパ球増殖症におけるヒトポリオーマウイルスの検出**  
 橋田裕美子<sup>1)</sup>, 樋口 智紀<sup>1)</sup>, 氏原 隆子<sup>1,2)</sup>, 大畑 雅典<sup>1)</sup>  
 1) 高知大学医学部微生物学講座, 2) 高知大学医学部総合研究センター
- P1-3** ELISA and reporter-based neutralization assay for JC polyomavirus in serum of neurological disorders patients  
 .....  
**神経疾患患者血清のELISAと中和試験によるJCポリオーマウイルス抗体測定**  
 松田 麻未<sup>1,4)</sup>, 李 天成<sup>1)</sup>, 中西 章<sup>2)</sup>, 中道 一生<sup>1)</sup>, 齋藤 誠<sup>3)</sup>, 松浦 知和<sup>4)</sup>, 村松 正道<sup>1)</sup>, 三浦 義治<sup>3)</sup>, 鈴木 哲朗<sup>5)</sup>, 鈴木 亮介<sup>1)</sup>  
 1) 国立感染症研究所, 2) 近畿大学, 3) 東京都立駒込病院, 4) 東京慈恵会医科大学, 5) 浜松医科大学
- P1-4** Initial survey of the dog DNA virome.  
 .....  
**Yuka Saito<sup>1,2,3)</sup>, Shohei Kojima<sup>1)</sup>, Yukihide Momozawa<sup>2,3)</sup>, Nicholas Parrish<sup>1)</sup>**  
 1) Genome Immunobiology RIKEN Hakubi Research Team, RIKEN Center for Integrative Medical Sciences, 2) Laboratory for Molecular Science for Drug Discovery, Graduate School of Medical Life Science, Yokohama City University, 3) Laboratory for Genotyping Development, RIKEN Center for Integrative Medical Sciences  
**齋藤 優花<sup>1,2,3)</sup>, 小嶋 将平<sup>1)</sup>, 桃沢 幸秀<sup>2,3)</sup>, パリッシュニコラス<sup>1)</sup>**  
 1) 理化学研究所生命医科学研究センターゲノム免疫生物学理研白眉研究チーム, 2) 横浜市立大学生命医科学研究科創薬分子科学研究室, 3) 理化学研究所生命医科学研究センター基盤技術開発研究チーム
- P1-5** Genotyping of B virus infecting cynomolgus monkeys  
 .....  
**Cynomolgus monkeyに感染しているBウイルスの遺伝子型解析**  
 山田 壮一<sup>1)</sup>, 宇根 有美<sup>2)</sup>, 坂井 祐介<sup>3)</sup>, 森山亜紀子<sup>4)</sup>, 石嶋 慧多<sup>1)</sup>, 木下 一美<sup>1)</sup>, 原田志津子<sup>1)</sup>, 角崎 英志<sup>4)</sup>, 永田 良一<sup>4)</sup>, 森川 茂<sup>2)</sup>, 前田 健<sup>1)</sup>, 福士 秀悦<sup>1)</sup>, 西條 政幸<sup>1,5)</sup>  
 1) 国立感染症研究所, 2) 岡山理大・獣医, 3) 山口大・獣医, 4) 新日本科学, 5) 札幌市保健局
- P1-6** Human cytomegalovirus UL97 phosphorylates a member of the HSP40 family, DNAJA1  
 .....  
**ヒトサイトメガロウイルスUL97キナーゼの新規基質DNAJA1の同定**  
 岩堀 聡子, 伴野 愛奈, 村田 貴之  
 藤田医科大学

- P1-7 **Effects of estrogen on the reactivation of cytomegalovirus**  
.....  
**サイトメガロウイルス再活性化に及ぼすエストロゲンの影響**  
幸田 力, 石川 裕樹, 久野 芳裕, 長島 隆一, 田中 和生, 伊與田雅之  
昭和大学
- P1-8 **The expression of Cytomegalovirus Immediate Early gene is enhanced by placental microRNAs.**  
.....  
**胎盤栄養膜由来miRNA群によるサイトメガロウイルス前初期遺伝子発現の増強**  
生田 和史<sup>1)</sup>, 矢島美彩子<sup>1,2)</sup>, 神田 輝<sup>1)</sup>  
1) 東北医科薬科大学, 2) 長崎大学
- P1-9 **Prolonged activation of cytomegalovirus early gene e1-promoter exclusively in neurons during infection of the developing cerebrum**  
.....  
**周産期大脳神経細胞に特異的なサイトメガロウイルス持続感染の解析**  
小杉伊三夫, 河崎 秀陽, 岩下 寿秀  
浜松医科大学
- P1-10 **Regulation of the major immediate early gene promoter by tegument proteins of human herpesvirus-6**  
.....  
**Haokun Li, Hikaru Namba, Hirohito Ogawa, Tomoyuki Honda**  
Okayama University  
李 昊堃, 難波ひかる, 小川 寛人, 本田 知之  
岡山大学
- P1-11 **Identification of a novel entry receptor of human herpesvirus 6B**  
.....  
**ヒトヘルペスウイルス 6Bの新規細胞侵入レセプターの探索**  
小川 寛人<sup>1)</sup>, 藤倉 大輔<sup>2)</sup>, 難波ひかる<sup>1)</sup>, 山下 信子<sup>1)</sup>, 本田 知之<sup>1)</sup>, 山田 雅夫<sup>1)</sup>  
1) 岡山大学, 2) 北里大学
- P1-12 **Conditional reprogramming and long-term expansion of Epstein-Barr virus-positive gastric cancer cells from human specimens**  
.....  
**ヒト検体由来EBウイルス陽性胃がん細胞のコンディショナルリプログラミング法による長期継代培養**  
神田 輝, 生田 和史  
東北医科薬科大学 医学部 微生物学
- P1-13 **The analysis of ORF72 encoded by Kaposi's sarcoma-associated herpesvirus in Miyako Island, Okinawa**  
.....  
**沖縄県宮古島地方のKSHVがコードするORF72の機能解析**  
栗山 和志, 渡部 匡史, 大野 真治  
琉球大学大学院医学研究科ウイルス学講座
- P1-14 **KSHV ORF7 is important for the formation of mature capsid**  
.....  
**KSHV ORF7は成熟カプシドの形成に重要である**  
祝迫 佑紀<sup>1)</sup>, 渡部 匡史<sup>2)</sup>, 鈴木 陽一<sup>3)</sup>, 中野 隆史<sup>3)</sup>, 藤室 雅弘<sup>1)</sup>  
1) 京都薬科大学, 2) 琉球大学, 3) 大阪医科薬科大学

- P1-15**      **The functional analysis of KSHV ORF21**  
 .....  
**カポジ肉腫関連ヘルペスウイルス (KSHV) 複製におけるウイルス性キナーゼORF21の機能解析**  
 山口 達生, 渡部 匡史, 関根 勇一, 藤室 雅弘  
 京都薬科大学
- P1-16**      **CD81-harboring exosome induces KSHV infection.**  
 .....  
**CD81含有エクソソームはKSHV感染を促進する**  
 石丸 華子, 細川 晃平, 渡部 匡史, 藤室 雅弘  
 京都薬科大学細胞生物学分野
- P1-17**      **Identification of functional regions of KSHV ORF34 to form viral pre-initiation complex**  
 .....  
**ウイルス性転写開始前複合体形成におけるKSHV ORF34機能性領域の探索**  
 渡部 匡史<sup>1)</sup>, 栗山 和志<sup>1)</sup>, 藤室 雅弘<sup>2)</sup>, 大野 真治<sup>1)</sup>  
 1) 琉球大学大学院 医学研究科, 2) 京都薬科大学
- P1-18**      **Molecular phylogeny of gamma herpes virus in *Rhinolophus* bats in Vietnam**  
 .....  
 Fuka Kikuchi<sup>1,2)</sup>, Kae Senoo<sup>2,3)</sup>, Mami Oba<sup>1)</sup>, Satoru Arai<sup>2)</sup>, Nguyen Truong Son<sup>4,5)</sup>,  
 Vuong Tan Tu<sup>4,5)</sup>, Schuyler W. Liphardt<sup>6)</sup>, Joseph A. Cook<sup>6)</sup>, Luis A. Ruedas<sup>7)</sup>,  
 Amanda Grunwald<sup>7)</sup>, Keiko Tanaka-Taya<sup>2)</sup>, Shigeru Morikawa<sup>8)</sup>, Motoi Suzuki<sup>2)</sup>,  
 Richard Yanagihara<sup>9)</sup>, Tetsuya Mizutani<sup>1)</sup>  
 1) Tokyo Univ. of Agric. and Technol., 2) NIID, 3) Tokyo Univ. of Sci., 4) IEBR, Vietnam, 5) Graduate Univ. of Sci. & Technol., Vietnam, 6) Univ. of New Mexico, 7) Portland State Univ., 8) Okayama Univ. of Sci., 9) Univ. of Hawaii at Manoa  
 菊池 風花<sup>1,2)</sup>, 妹尾 佳英<sup>2,3)</sup>, 大場 真己<sup>1)</sup>, 新井 智<sup>2)</sup>, ソングエントラング<sup>4,5)</sup>, バンタンツ<sup>4,5)</sup>,  
 スカイラーリプハルト<sup>6)</sup>, ジョセフクック<sup>6)</sup>, ルイスルエダ<sup>7)</sup>, アマンダグリユンワルド<sup>7)</sup>,  
 多屋 馨子<sup>2)</sup>, 森川 茂<sup>8)</sup>, 鈴木 基<sup>2)</sup>, ヤナギハラリチャード<sup>9)</sup>, 水谷 哲也<sup>1)</sup>  
 1) 農工大学, 2) 感染症研, 3) 東京理科大学, 4) ベトナム生物資源研究所, 5) ベトナム科学術大学院大学, 6) ニューメキシコ大学, 7) ポートランド州立大学, 8) 岡山理科大学, 9) ハワイ大学マノア校

Live discussion1 Day 1. November 16 [Tue] 10:00~10:30

## Hepatitis virus 1

- P2-1**      **How does the ATPase domain of GRP78 impact the hepatitis B virus life cycle?**  
 .....  
 Yadarat Suwanmanee, Keiji Ueda  
 Osaka University Graduate School of Medicine
- P2-2**      **Antibodies targeting hepatitis B virus preS2 region inhibit the HBV infection**  
 .....  
**B型肝炎ウイルスpreS2領域に対する抗体はウイルス感染を抑制する**  
 矢藤 慶悟<sup>1,2)</sup>, 深野 顕人<sup>1)</sup>, 松田 麻未<sup>1)</sup>, 田中 智久<sup>3)</sup>, 森石 恆司<sup>3)</sup>, 西辻 裕紀<sup>4)</sup>, 下遠野邦忠<sup>5)</sup>,  
 田村 浩二<sup>2)</sup>, 加藤 孝宣<sup>1)</sup>, 村松 正道<sup>1)</sup>, 鈴木 亮介<sup>1,2)</sup>  
 1) 国立感染症研究所, 2) 東京理科大学, 3) 山梨大学, 4) 藤田医科大学, 5) 国立国際医療研究センター

**P2-3 Screening for anti-hepatitis B virus activity using heterocyclic compounds and HBV-NanoLuc reporter gene**

.....  
**ヘテロ環化合物類のB型肝炎ウイルス増殖抑制効果の検討**

黒木 大祐<sup>1)</sup>, 阿部 隆之<sup>1)</sup>, 松井千絵子<sup>1)</sup>, 鄧 琳<sup>1)</sup>, 武田 紀彦<sup>2)</sup>, 安井 基博<sup>2)</sup>, 上田 昌史<sup>2)</sup>, 沖津 貴志<sup>3)</sup>, 山野由美子<sup>3)</sup>, 波多野 学<sup>3)</sup>, 下遠野邦忠<sup>4)</sup>, 勝二 郁夫<sup>1)</sup>

1) 神戸大学大学院 医学研究科 附属感染症センター 感染制御学分野, 2) 神戸薬科大学 薬品化学研究室, 3) 神戸薬科大学 生命有機化学研究室, 4) 国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター

**P2-4 Virtual screening and docking analysis of hits with the reverse transcriptase domain of HBV polymerase**

.....  
Eriko Ohsaki, Yadarat Suwanmanee, Masami Wada, Keiji Ueda

Osaka University

大崎恵理子, Yadarat Suwanmanee, 和田 真実, 上田 啓次

大阪大学大学院

**P2-5 A biflavonoid amentoflavone inhibits hepatitis B virus infection**

.....  
**アメントフラボンのB型肝炎ウイルス感染阻害活性について**

靱 千恵<sup>1)</sup>, Pugh Indrasetiawan<sup>1)</sup>, 深野 顕人<sup>2)</sup>, 村松 正道<sup>2)</sup>, 堀田 博<sup>1,3)</sup>, 亀岡 正典<sup>1)</sup>

1) 神戸大学大学院保健学研究科, 2) 国立感染症研究所, 3) 甲南女子大学

**P2-6 Functional analysis of a highly conserved YXXΦ motif in the ORF2 protein of hepatitis E virus**

.....  
Shigeo Nagashima, Putu Prathiwi Primadharsini, Masaharu Takahashi, Hiroaki Okamoto, Kazumoto Murata

Division of Virology, Department of Infection and Immunity, Jichi Medical University School of Medicine

長嶋 茂雄, プトゥ プラティウィプリマダルシニ, 高橋 雅春, 岡本 宏明, 村田 一素

自治医科大学 医学部 感染・免疫学講座 ウイルス学部門

**P2-7 Screening for anti-HEV compounds**

.....  
**低分子化合物ライブラリーを用いたHEV増殖阻害物質の探索**

杉山 隆一<sup>1)</sup>, 石井 孝司<sup>2)</sup>, 鈴木 亮介<sup>1)</sup>, 脇田 隆字<sup>3)</sup>, 村松 正道<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部, 2) 国立感染症研究所 品質保証・管理部, 3) 国立感染症研究所

**Live discussion Day 1. November 16 [Tue] 15:00~15:30**

**dsRNA virus**

**P3-1 Development of next-generation rotavirus-based vectors**

.....  
**進化型ロタウイルスベクターの開発**

福田 佐織, 畑澤莉緒奈, 谷口 孝喜, 村田 貴之, 河本 聡志

藤田医科大学

**P3-2 Molecular characterization of the first human G15 rotavirus strain of zoonotic origin from the bovine species**

.....  
Takeshi Tsugawa<sup>1)</sup>, Yoshiki Fujii<sup>2)</sup>, Kenji Kondo<sup>1,3)</sup>

1) Department of Pediatrics, Sapporo Medical University School of Medicine, 2) Department of Virology 2, National Institute of Infectious Diseases, 3) Department of Pediatrics, Sunagawa City Medical Center

津川 毅<sup>1)</sup>, 藤井 克樹<sup>2)</sup>, 近藤 謙次<sup>1,3)</sup>

1) 札幌医科大学 小児科, 2) 国立感染症研究所 ウイルス第二部, 3) 砂川市立病院 小児科

**P3-3 Full-genome analysis of rotavirus G12 strains that caused a small epidemic in Sapporo**

Yoshiki Fujii<sup>1</sup>, Takeshi Tsugawa<sup>2</sup>, Shuji Nakata<sup>3</sup>, Masamichi Muramatsu<sup>1</sup>

1) Department of Virology II, National Institute of Infectious Diseases, 2) Department of Pediatrics, Sapporo Medical University School of Medicine, 3) Nakata Pediatric Clinic

藤井 克樹<sup>1</sup>, 津川 毅<sup>2</sup>, 中田 修二<sup>3</sup>, 村松 正道<sup>1</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部, 2) 札幌医科大学 小児科, 3) なかた小児科

**P3-4 Determining the role of rotavirus NSP4 N-glycosylation sites using reverse genetics approach**

Jeffery A. Nurdin, Yuta Kanai, Tomohiro Kotaki, Takahiro Kawagishi, Shohei Minami, Ryotaro Nouda, Moeko Yamasaki, Takeshi Kobayashi

Department of Virology, Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University

**Live discussion4 Day 1. November 16 [Tue] 15:00~15:30**

**negative-strand RNA virus 3**

**P4-1 Cannabinoid 1 inhibitors suppress cell fusion activity of Lujo virus**

カンナビノイド受容体1阻害剤によるルジョウウイルス細胞融合の抑制

木村 美幸<sup>1</sup>, 山下 純<sup>2</sup>, 谷 英樹<sup>3</sup>

1) 富山大学, 2) 帝京大学, 3) 富山県衛生研究所

**P4-2 Analysis of relationship between replication of Hokkaido virus and autophagy**

Hokkaidoウイルスの複製とオートファジーとの関連の解析

田宮 和真, 小林進太郎, 荻和 宏明

北海道大学大学院 獣医学研究院 公衆衛生学教室

**P4-3 Roles of TIM protein family molecules on pathogenicity of Hantaan virus in mice model**

Zhuoxing Wei<sup>1</sup>, Kenta Shimizu<sup>2</sup>, Yoshimi Tsuda<sup>3</sup>, Kumiko Yoshimatsu<sup>1</sup>

1) Laboratory of animal experiment, Institute for genetic medicine, Hokkaido University, 2) Laboratory of microbiology and infectious disease, Graduate school of medicine, Hokkaido University, 3) National Research Center for the Control and Prevention of Infectious Diseases (CCPID), Nagasaki University

危 卓行<sup>1</sup>, 清水 健太<sup>2</sup>, 津田 祥美<sup>3</sup>, 吉松 組子<sup>1</sup>

1) 北海道大学遺伝子病制御研究所附属動物実験施設, 2) 北海道大学医学研究院病原微生物教室, 3) 長崎大学感染症共同研究拠点

**P4-4 Understanding of RNP complex formation of SFTSV through subcellular localization of nucleocapsid and L proteins.**

Sithumini Madubashini Lokupathirage<sup>1,2</sup>, Tsuda Yoshimi<sup>3</sup>, Kisho Noda<sup>4</sup>, Kenta Shimizu<sup>4</sup>, Devinda Muthusinghe<sup>1,2</sup>, Kumiko Yoshimatsu<sup>1,2</sup>

1) Graduate School of Infectious Diseases, Hokkaido University, 2) Institute for Genetic Medicine, Hokkaido University, 3) National Research Center for the Control and Prevention of Infectious Diseases (CCPID), Nagasaki University, 4) Faculty of Medicine, Hokkaido University

P4-5 **Development of a Simplified RT-LAMP Assay for the Detection of SFTS Virus**  
.....  
**簡易前処理法を用いたRT-LAMPによるSFTSウイルス迅速検出系の構築**  
福土 秀悦, 山田 壮一, 木下 一美, 原田志津子, 吉河 智城, 黒須 剛, 下島 昌幸, 西條 政幸  
国立感染症研究所

P4-6 **Efficacy of favipiravir against Kemerah orthonairovirus infection.**  
.....  
**ケテラオルソナイロウイルス感染症に対するファビピラビルの有効性**  
杉元 聡子<sup>1,2)</sup>, 黒須 剛<sup>2)</sup>, 吉河 智城<sup>2)</sup>, 高松 由基<sup>2)</sup>, 大場 真己<sup>3)</sup>, 大松 勉<sup>3)</sup>, 水谷 哲也<sup>1,3)</sup>,  
西條 政幸<sup>2)</sup>, 下島 昌幸<sup>2)</sup>  
1) 東京農工大学農学部共同獣医学専攻, 2) 国立感染症研究所ウイルス第一部, 3) 東京農工大学農学部附属感染症未来疫学研究センター

P4-7 **Generation of a recombinant fluorescent Schmallenberg virus**  
.....  
**蛍光発現組換えシュマーレンベルグウイルスの作出**  
上間亜希子<sup>1)</sup>, 松郷 宙倫<sup>1,2)</sup>, 関根 渉<sup>1)</sup>, 片山 美沙<sup>1)</sup>, 村上 晋<sup>1)</sup>, 堀本 泰介<sup>1)</sup>  
1) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 獣医微生物学, 2) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 獣医公衆衛生学

P4-8 **Akabane virus NSs protein shows strain-related variation as a factor for neurovirulence with post-natal infection in a murine model**  
.....  
**Misuzu Okajima<sup>1,2)</sup>, Isshu Kojima<sup>1)</sup>, Kiyotada Naitou<sup>3)</sup>, Makoto Ozawa<sup>1,4)</sup>, Yuto Suda<sup>5)</sup>,  
Tohru Yanase<sup>5)</sup>, Naoto Ito<sup>2,6)</sup>, Tatsunori Masatani<sup>2,6,7)</sup>**  
1) Joint Graduate School of Veterinary Medicine, Kagoshima University, 2) Joint Graduate School of Veterinary Sciences, Gifu University, 3) Department of Basic Veterinary Science, Joint Faculty of Veterinary Medicine, Kagoshima University, 4) Laboratory of Animal Hygiene, Joint Faculty of Veterinary Medicine, Kagoshima University, 5) Kagoshima Research Station, National Institute of Animal Health, NARO, Kagoshima, 6) Laboratory of Zoonotic Diseases, Faculty of Applied Biological Sciences, Gifu University, 7) Transboundary Animal Diseases Research Center, Joint Faculty of Veterinary Medicine, Kagoshima University  
岡島 美鈴<sup>1,2)</sup>, 児島 一州<sup>1)</sup>, 内藤 清惟<sup>3)</sup>, 小澤 真<sup>1,4)</sup>, 須田 遊人<sup>5)</sup>, 梁瀬 徹<sup>5)</sup>, 伊藤 直人<sup>2,6)</sup>, 正谷 達磨<sup>2,6,7)</sup>  
1) 鹿児島大 共同獣医学研究科, 2) 岐阜大 共同獣医学研究科, 3) 鹿児島大 共同獣医・基礎獣医学, 4) 鹿児島大 共同獣医・動物衛生学, 5) 農研機構 動物衛生研究部門 鹿児島研究拠点, 6) 岐阜大 応用生物科学・人獣共通感染症学, 7) 鹿児島大 共同獣医学部附属 越境性動物疾病制御研究センター

P4-9 **Seroepidemiology of tick-virus infections among wild animals and humans**  
.....  
**ダニ保有ウイルスの野生動物、ヒトへの感染**  
Ngo Tran<sup>1)</sup>, 下田 宙<sup>1)</sup>, 水野 純子<sup>1)</sup>, 石嶋 慧多<sup>2)</sup>, 米満 研三<sup>2)</sup>, 南 昌平<sup>1)</sup>,  
Supriyono Supriyono<sup>1)</sup>, 黒田 雄大<sup>1,2)</sup>, 立本 完吾<sup>1,2)</sup>, Milagros Mendoza<sup>1,2)</sup>, 鍛田 龍星<sup>3)</sup>,  
朴ウンシル<sup>2)</sup>, 高野 愛<sup>1)</sup>, 武藤 正彦<sup>4)</sup>, 伊澤 晴彦<sup>2)</sup>, 沢辺 京子<sup>2)</sup>, 早坂 大輔<sup>1)</sup>, 前田 健<sup>1,2)</sup>  
1) 山口大学, 2) 国立感染症研究所, 3) 岡山理科大学, 4) 山口県総合医療センター

P4-10 **The role of TSG101 in RABV life cycle**  
.....  
**狂犬病ウイルス感染増殖過程におけるESCRT-1構成因子TSG101の役割**  
板倉友香里<sup>1)</sup>, 伊藤 直人<sup>2)</sup>, 大場 靖子<sup>1)</sup>, 澤 洋文<sup>1,3)</sup>, 佐々木道仁<sup>1)</sup>  
1) 北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所 分子病態・診断部門, 2) 岐阜大学 応用生物科学部 人獣共通感染症学研究室, 3) 北海道大学 One Health Research Center

**P4-11 Stress granule formation mechanism related to amino acid substitution at position 95 in rabies virus matrix protein**

Isshu Kojima<sup>1</sup>, Koji Onomoto<sup>2</sup>, Kiyotada Naitou<sup>3</sup>, Kosuke Okuya<sup>4</sup>, Misuzu Okajima<sup>1,5</sup>, Naoto Ito<sup>5</sup>, Makoto Sugiyama<sup>5</sup>, Makoto Ozawa<sup>6,1</sup>, Mitsutoshi Yoneyama<sup>2</sup>, Takashi Fujita<sup>7</sup>, Tatsunori Masatani<sup>4,5</sup>

1) Joint Graduate School of Veterinary Medicine, Kagoshima University, 2) Medical Mycology Research Center, Chiba University, 3) Department of Basic Veterinary Science, Joint Faculty of Veterinary Medicine, Kagoshima University, 4) Transboundary Animal Diseases Research Center, Joint Faculty of Veterinary Medicine, Kagoshima University, 5) Laboratory of Zoonotic Diseases, Faculty of Applied Biological Sciences, Gifu University, 6) Laboratory of Animal Health, Joint Faculty of Veterinary Medicine, Kagoshima University, 7) Laboratory of Regulatory Information, Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University

児島 一州<sup>1</sup>, 尾野本浩司<sup>2</sup>, 内藤 清惟<sup>3</sup>, 奥谷 公亮<sup>4</sup>, 岡島 美鈴<sup>1,5</sup>, 伊藤 直人<sup>5</sup>, 杉山 誠<sup>5</sup>, 小澤 真<sup>6,1</sup>, 米山 光俊<sup>2</sup>, 藤田 尚志<sup>7</sup>, 正谷 達磨<sup>4,5</sup>

1) 鹿児島大学 共同獣医学研究科, 2) 千葉大学 真菌医学研究センター, 3) 鹿児島大学 共同獣医学部 基礎獣医学講座, 4) 鹿児島大学 共同獣医学部 附属越境性動物疾病制御研究センター, 5) 岐阜大学 応用生物科学部 人獣共通感染症学研究室, 6) 鹿児島大学 共同獣医学部 動物衛生学研究室, 7) 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所

**P4-12 Epitranscriptomic regulation of Borna disease virus replication and gene expression.**

Da Teng<sup>1</sup>, Keiji Ueda<sup>1</sup>, Tomoyuki Honda<sup>2</sup>

1) Division of Virology, Department of Microbiology and Immunology, Osaka University Graduate School of Medicine, 2) Division of Virology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences

Da Teng<sup>1</sup>, 上田 啓次<sup>1</sup>, 本田 知之<sup>2</sup>

1) 大阪大学医学系研究科ウイルス学, 2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病原ウイルス学

**P4-13 Development of an in vitro system for evaluation of the integration efficiency of Borna disease virus 1 transcripts**

Michiko Iwata<sup>1,2</sup>, Masayuki Horie<sup>3</sup>, Keizo Tomonaga<sup>1,2,4</sup>

1) Laboratory of RNA Viruses, Department of Virus Research, Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University, 2) Laboratory of RNA Viruses, Department of Mammalian Regulatory Network, Graduate School of Biostudies, Kyoto University, 3) Division of Veterinary Sciences, Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University, 4) Department of Molecular Virology, Graduate School of Medicine, Kyoto University

岩田美智子<sup>1,2</sup>, 堀江 真行<sup>3</sup>, 朝長 啓造<sup>1,2,4</sup>

1) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所RNAウイルス分野, 2) 京都大学大学院生命科学研究所生体動態制御学分野, 3) 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻獣医微生物学教室, 4) 京都大学大学院医学研究科分子ウイルス学分野

**P4-14 Inhibition of filovirus entry by cyclic peptides derived from the Niemann-Pick C1 loop structure**

**Niemann-Pick C1 のループ構造由来環状ペプチドによるフィロウイルス侵入阻害効果**

高橋 侑嗣, 高館 佳弘, 宮本 洋子, 梶原 将大, 五十嵐 学, 高田 礼人

北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所国際疫学部門

- P4-15 Search for host factors involved in the late stages of mumps virus propagation**  
.....  
Yaqing Liu<sup>1,2)</sup>, Hiroshi Katoh<sup>2)</sup>, Tsuyoshi Sekizuka<sup>3)</sup>, Aika Wakata<sup>2)</sup>, Chaewon Bae<sup>2)</sup>,  
Fumihiro Kato<sup>2)</sup>, Makoto Takeda<sup>2)</sup>  
1) Department of Virology, School of Public Health, Shandong University, China, 2) Department of Virology III,  
Institute of Infectious Diseases, 3) Pathogen Genomics Center, National Institute of Infectious Diseases  
劉 亜軽<sup>1,2)</sup>, 加藤 大志<sup>2)</sup>, 関塚 剛<sup>3)</sup>, 若田 愛加<sup>2)</sup>, 裴 彩元<sup>2)</sup>, 加藤 文博<sup>2)</sup>, 竹田 誠<sup>2)</sup>  
1) 中国山東大学公共衛生学院ウイルス学系, 2) 国立感染症研究所ウイルス第三部, 3) 国立感染症研究所病原体ゲノム  
解析研究センター
- P4-16 A survey of anti-mumps virus antibody titer and vaccination coverage in young adults**  
.....  
**若齢層におけるムンプスウイルスに対する抗体価の調査**  
佐々木 啓<sup>1)</sup>, 石川 裕樹<sup>2)</sup>, 柴田 展人<sup>1)</sup>  
1) 順天堂大学, 2) 昭和大学
- P4-17 Recent molecular evolution of human metapneumovirus and subdivision of A2 subtype**  
.....  
**近年のHMPVの分子進化とA2亜型の細分類**  
直 亨則<sup>1,7)</sup>, 七種美和子<sup>2)</sup>, 佐藤 光<sup>3)</sup>, 関塚 剛史<sup>4)</sup>, 宇宿 秀三<sup>2)</sup>, 田中 伸子<sup>2)</sup>, 西村 秀一<sup>5)</sup>,  
竹田 誠<sup>6)</sup>  
1) 北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所, 2) 横浜市衛生研究所, 3) 東北大学大学院医学系研究科 感染分子病  
態解析学分野, 4) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター, 5) 仙台医療センター 臨床研究部 ウイルスセ  
ンター, 6) 国立感染症研究所 ウイルス第三部, 7) 北海道大学 One Health Research Center
- P4-18 Tumorlytic effect of recombinant Newcastle disease virus to melanoma cell lines**  
.....  
Supaporn Numpadit<sup>1)</sup>, Chiaki Ito<sup>1)</sup>, Takaaki Nakaya<sup>2)</sup>, Katsuro Hagiwara<sup>1)</sup>  
1) Rakuno Gakuen University, 2) Kyoto Prefectural University of Medicine  
Supaporn Numpadit<sup>1)</sup>, 伊藤 千暁<sup>1)</sup>, 中屋 隆明<sup>2)</sup>, 萩原 克郎<sup>1)</sup>  
1) 酪農学園大学, 2) 京都府立医科大学
- P4-19 Sendai virus V protein decreases nitric oxide production by inhibiting RIG-I signaling in infected RAW264.7 macrophages**  
.....  
**センダイウイルスV蛋白質はRIG-Iシグナルを阻害することで一酸化窒素の産生を抑制する**  
森田奈央子<sup>1)</sup>, 田中 幸枝<sup>2)</sup>, 小松 孝行<sup>1)</sup>  
1) 愛知医科大学, 2) 福井大学
- P4-20 Lipid kinase PI5P4K-dependent early multiplication mechanism of influenza virus and coronavirus**  
.....  
**脂質キナーゼPI5P4K依存的なインフルエンザウイルスとコロナウイルスの初期増殖機構**  
國本 航平<sup>1)</sup>, 黒木 崇央<sup>1)</sup>, 竹内 恒<sup>2)</sup>, 川口 敦史<sup>1,3)</sup>  
1) 筑波大学 人間総合科学学術院, 2) 国立研究開発法人産業技術総合研究所, 3) 筑波大学 医学医療系 感染生物学
- P4-21 Analysis of packaging signal sequences of the influenza A virus neuraminidase segment**  
.....  
**A型インフルエンザウイルスNA分節パッケージングシグナル配列の解析**  
百瀬 文隆<sup>1,2)</sup>, 瀬下恵利佳<sup>1)</sup>, 栗田 啓嗣<sup>1)</sup>, 森川 裕子<sup>1)</sup>  
1) 北里大学, 2) 国立感染症研究所

- P4-22 **Adaptation of H3N2 canine influenza virus to  $\alpha$ 2,6 linked sialic acid**  
 H3N2インフルエンザウイルスの $\alpha$ 2,6型シアロ糖鎖への結合に必要な変異の探索  
 関根 渉<sup>1)</sup>, 神木 春彦<sup>1)</sup>, 石田 大歩<sup>2)</sup>, 大平 浩輔<sup>1)</sup>, 松郷 宙倫<sup>1)</sup>, 上間亜希子<sup>1)</sup>, 村上 晋<sup>1)</sup>,  
 堀本 泰介<sup>1)</sup>  
 1) 東京大学, 2) テキサス大学
- P4-23 **Double mutations in the H9N2 avian influenza virus PB2 gene act cooperatively to increase viral host adaptation and replication for human infections**  
 近年中国で優勢に流行するH9N2亜型鳥インフルエンザウイルスのPB2遺伝子に選択された同時変異群はヒト適応性を高く変化させている  
 荒井 泰葉<sup>1)</sup>, Elgendy Emad<sup>2,1)</sup>, 川下理日人<sup>3)</sup>, 磯邊 綾菜<sup>1)</sup>, 大道寺 智<sup>1)</sup>, 中屋 隆明<sup>1)</sup>,  
 渡邊 洋平<sup>1)</sup>  
 1) 京都府立医科大学, 2) ダマンフル大学, 3) 近畿大学
- P4-24 **Local spread of influenza A (H1N1) viruses without a mutation for the maximum duration of an epidemic season in Japan**  
 インフルエンザA(H1N1)ウイルスは国内流行期間に変異することなく伝播する  
 徳永 朱乃, 金井 亨輔, 景山 誠二  
 鳥取大学
- P4-25 **Structure-guided creation of an anti-HA stalk antibody F11 derivative that neutralizes both F11-sensitive and -resistant influenza A (H1N1) pdm09 viruses**  
 Osamu Kotani<sup>1)</sup>, Yasushi Suzuki<sup>2)</sup>, Shinji Saito<sup>3)</sup>, Akira Ainai<sup>3)</sup>, Akira Ueno<sup>3)</sup>, Takuya Hemmi<sup>3)</sup>,  
 Kaori Sano<sup>3)</sup>, Koshiro Tabata<sup>3,4)</sup>, Masaru Yokoyama<sup>1)</sup>, Tadaki Suzuki<sup>3)</sup>, Hideki Hasegawa<sup>2)</sup>,  
 Hironori Sato<sup>1)</sup>  
 1) Center for Pathogen Genomics, National Institute for Infectious Diseases, 2) Center for Influenza and Respiratory Virus Research, National Institute of Infectious Diseases, 3) Department of Pathology, National Institute of Infectious Diseases, 4) International institute for zoonosis control, Hokkaido University  
 小谷 治<sup>1)</sup>, 鈴木 康司<sup>2)</sup>, 齊藤 慎二<sup>3)</sup>, 相内 章<sup>3)</sup>, 上野 朗<sup>3)</sup>, 逸見 拓矢<sup>3)</sup>, 佐野 芳<sup>3)</sup>,  
 田畑耕史郎<sup>3,4)</sup>, 横山 勝<sup>1)</sup>, 鈴木 忠樹<sup>3)</sup>, 長谷川秀樹<sup>2)</sup>, 佐藤 裕徳<sup>1)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター, 2) 国立感染症研究所 インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター, 3) 国立感染症研究所 感染病理部, 4) 北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所
- P4-26 **Evaluation of antiviral activity using enantiomer of plant-derived components**  
 植物由来成分の鏡像異性体を用いた抗ウイルス活性の評価  
 嶋崎 典子<sup>1)</sup>, 大嶋 美月<sup>2)</sup>, 渡士 幸一<sup>2,3)</sup>, 信澤 枝里<sup>4)</sup>, 竹田 誠<sup>1)</sup>, 太田凌太郎<sup>5)</sup>, 西井 良典<sup>5)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 ウイルス第三部, 2) 国立感染症研究所 ウイルス第二部, 3) 国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター, 4) 国立感染症研究所 インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター, 5) 信州大学 繊維学部

Live discussion2 Day 1. November 16 [Tue] 11:00~11:30

## positive-strand RNA virus 2

- P5-1 **Survey of *Wolbachia* infection in domestic Aedes and examination of its ability to suppress the growth of dengue virus**  
 共生細菌 *Wolbachia* の国内ヤブ蚊保有調査およびそのアルボウイルス増殖抑制能の検討  
 岩瀬 聖華  
 京都大学大学院

P5-2 **Generation and characterization of genetically and antigenically diverse infectious clones of dengue virus serotypes 1-4**

Tomokazu Tamura, Jiayu Zhang, Michael P Schwoerer, Vrinda Madan, Thomas R Cafiero, Abhishek Biswas, Brigitte L Heller, Wei Wang, Alexander Ploss

Princeton University

田村 友和, Jiayu Zhang, Michael Schwoerer, Vrinda Madan, Thomas Cafiero, Abhishek Biswas, Brigitte Heller, Wei Wang, Alexander Ploss

Princeton University

P5-3 **Development and evaluation of anti-dengue single chain variable fragment antibodies which do not cause antibody-dependent enhancement of viral infection**

抗体依存性感染増強を起こさない抗デング組換え単鎖抗体の作製および評価

長井友理恵<sup>1)</sup>, 小瀧 将裕<sup>2)</sup>, 中村 叡奈<sup>1)</sup>, 亀岡 正典<sup>1)</sup>

1) 神戸大学大学院, 2) 大阪大学微生物病研究所

P5-4 **Analysis of Dengue virus E protein and type 2-specific antibody by using molecular dynamics simulation**

デングウイルスEタンパク質と2型特異的中和抗体の分子動力学計算による解析

横山 勝<sup>1)</sup>, 中山 英美<sup>2)</sup>, 小谷 治<sup>1)</sup>, 塩田 達雄<sup>2)</sup>, 佐藤 裕徳<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所, 2) 大阪大学

P5-5 **Synthesis of dengue virus polyprotein for reconstitution of the viral replication complex using a wheat cell-free protein synthesis system**

コムギ無細胞系によって合成したデングウイルスポリプロテインによるin vitroでのウイルス複製複合体の再構成

江村 祐希<sup>1)</sup>, 野澤 彰<sup>1)</sup>, G.Vasudevan Subhash<sup>2)</sup>, 高橋 宏隆<sup>1)</sup>, 澤崎 達也<sup>1)</sup>

1) 愛媛大学/プロテオサイエンスセンター, 2) Program in Emerging Infectious Diseases, DUKE-NUS Medical School, Singapore

P5-6 **Examination of the pathogenesis of Tick-borne encephalitis by comparison between two viral strains**

病原性の異なるウイルス株の比較によるダニ媒介性脳炎の病態形成機構の解析

辻野 代<sup>1)</sup>, 好井健太郎<sup>1,2)</sup>, 高橋 侑嗣<sup>1)</sup>, 荻和 宏明<sup>1)</sup>, 小林進太郎<sup>1)</sup>

1) 北海道大学大学院 獣医学研究院 公衆衛生学教室, 2) 長崎大学 感染症共同研究拠点

P5-7 **Analysis of the pathogenesis of West Nile encephalitis focusing on ubiquitin accumulation**

ユビキチンの蓄積に着目したウエストナイルウイルスの脳炎病態形成機構の解析

武田 千咲<sup>1)</sup>, 川上 怜子<sup>1)</sup>, 好井健太郎<sup>1,2)</sup>, 荻和 宏明<sup>1)</sup>, 小林進太郎<sup>1)</sup>

1) 北海道大学大学院 獣医学研究院 公衆衛生学教室, 2) 長崎大学 感染症共同研究拠点

- P5-8** **A campaign targeting a conserved Hsp70 binding site uncovers how subcellular localization is linked to distinct biological activities**  
 .....  
 Shuhei Taguwa<sup>1,4,5</sup>, Hao Shao<sup>3</sup>, Rahmi Dianty<sup>1,2</sup>, Chikako Ono<sup>4,2</sup>, Jason Gestwicki<sup>3</sup>, Judith Frydman<sup>5</sup>, Yoshiharu Matsuura<sup>1,2</sup>  
 1) Laboratory of Virus Control, Center for Infectious Disease Education and Research,, 2) Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, Osaka, Japan, 3) Department of Pharmaceutical Chemistry, University of California, San Francisco, San Francisco, USA, 4) Laboratory for Cell Polarity Regulation, RIKEN Center for Biosystems Dynamics Research, Osaka, Japan, 5) Department of Biology and Genetics, Stanford University, Stanford, USA
- P5-9** **Characterization of persistent replication of yellow fever virus 17D subgenomic replicons in Vero cells**  
 .....  
**Verocellにおける黄熱ウイルス17D株サブゲノミックレプリコンの持続的な複製の性状解析**  
 齊藤 恭子<sup>1</sup>, 深澤 征義<sup>1</sup>, 鈴木 亮介<sup>2</sup>, 高崎 智彦<sup>3</sup>, 花田賢太郎<sup>1</sup>  
 1) 国立感染症研究所細胞化学部, 2) 国立感染症研究所ウイルス第二部, 3) 神奈川県衛生研究所
- P5-10** **Genetic analysis of Rubella virus detected from Rubella outbreak in Tokyo, Japan from Jul. 2018 to 2019**  
 .....  
**東京都で2018年7月から2019年にかけて検出された風しんウイルスの遺伝子解析**  
 森 功次, 内田 悠太, 鈴木 愛, 熊谷 遼太, 原田 幸子, 糟谷 文, 天野 有紗, 鈴木 淳, 貞升 健志  
 東京都健康安全研究センター
- P5-11** **An HDAC inhibitor enhances the oncolytic activity of Sindbis virus by promoting the expression of viral proteins**  
 .....  
**HDAC阻害剤はシンドビスウイルス蛋白の発現を亢進し腫瘍融解効果を増強する**  
 齋藤 謙悟<sup>1</sup>, 馬 雪<sup>1</sup>, 小川 知子<sup>1</sup>, 矢田部沙羅<sup>1</sup>, 大野 吉史<sup>1</sup>, 室山 良介<sup>1</sup>, 井戸 栄治<sup>1</sup>, Tang Kang<sup>2</sup>, 松原 久裕<sup>2</sup>, 白澤 浩<sup>1</sup>  
 1) 千葉大学 大学院医学研究院 分子ウイルス学, 2) 千葉大学 大学院医学研究院 先端応用外科学
- P5-12** **Establish of a reverse genetics system for Rubella virus using mammalian cell expression vector**  
 .....  
**哺乳類細胞遺伝子発現ベクターを用いた風疹ウイルスリバースジェネティクス系の構築**  
 坂田 真史, 中津祐一郎, 加藤 文博, 大槻 紀之, 竹田 誠, 森 嘉生  
 国立感染症研究所 ウイルス第三部
- P5-13** **A search for receptors for Saffold virus infection using CRISPR/Cas9 system**  
 .....  
**CRISPR/Cas9システムを用いたSaffoldウイルス感染受容体同定の試み**  
 大桑 孝子<sup>1</sup>, 姫田 敏樹<sup>1</sup>, 宇谷 公一<sup>1</sup>, 小林 郷介<sup>2</sup>, 小池 智<sup>3</sup>, 樋口 雅也<sup>1</sup>  
 1) 金沢医科大学 医学部 微生物学講座, 2) 東京都医学総合研究所 ゲノム医科学研究分野 ウイルス感染プロジェクト, 3) 東京都医学総合研究所 疾患制御研究分野 ウイルス感染プロジェクト
- P5-14** **Comparison of glycolipids and N-glycans between Theiler's murine encephalomyelitis virus binding and non-binding cells**  
 .....  
**タイラマウス脳脊髄炎ウイルス受容体に関与する糖脂質・糖タンパク質の解析**  
 武田 和也<sup>1</sup>, 姫田 敏樹<sup>2</sup>, 海部 知則<sup>1</sup>, 大原 義朗<sup>3</sup>, 中村 晃<sup>1</sup>  
 1) 東北医科薬科大学, 2) 金沢医科大学, 3) 葵会仙台病院

P5-15 Phylogenetic analysis of porcine enteroviruses in wild boars in Amakusa, Kumamoto Prefecture, Japan

熊本県天草地方イノシシにおける豚エンテロウイルスの系統発生解析

日塔 浩太<sup>1)</sup>, 湊屋 万里<sup>1)</sup>, 奈良崎孝一郎<sup>2)</sup>, 木庭 獵達<sup>1)</sup>, 遠矢 幸伸<sup>1)</sup>

1) 日本大学生物資源科学部獣医微生物学研究室, 2) 奈良崎動物医療センター

P5-16 Identification of novel inhibitors of hepatitis A virus

A型肝炎ウイルスにおける新規抑制剤の開発

鄭 シン<sup>1)</sup>, 史 紹春<sup>2)</sup>, 鈴木 亮介<sup>1)</sup>, 結城(平井)明香<sup>1)</sup>, 若江 亨祥<sup>1)</sup>, 劉 慶博<sup>2)</sup>,

宋 少江<sup>2)</sup>, 村松 正道<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所, 2) 瀋陽薬科大学

P5-17 Study of human norovirus proliferation method using commercial human iPS cell-derived small intestinal epithelial like cell

市販ヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞を用いたヒトノロウイルスの増殖法に関する研究

富瀬 彩加<sup>1)</sup>, 美馬 伸治<sup>1)</sup>, 今倉 悠貴<sup>1)</sup>, 栗本 佑介<sup>1)</sup>, 大西 由美<sup>1)</sup>, 前田 芳政<sup>1)</sup>, 稲崎 倫子<sup>2)</sup>, 大石 和徳<sup>2)</sup>, 岩尾 岳洋<sup>3)</sup>, 松永 民秀<sup>3)</sup>, 遠藤 撰<sup>1)</sup>, 中谷 俊幸<sup>1)</sup>, 鈴木 亮<sup>1)</sup>

1) 富士フイルム株式会社 バイオサイエンス&エンジニアリング研究所, 2) 富山県衛生研究所, 3) 名古屋市立大学 大学院薬学研究科 臨床薬学分野

P5-18 NKT cells contribute to murine norovirus clearance by inducing the virus-specific secretory IgA in intestine

マウスノロウイルス感染においてNKT細胞は腸管内に特異的IgA抗体を誘導することでウイルス排除に寄与する

石川 裕樹<sup>1)</sup>, 佐々木 啓<sup>2)</sup>, 幸田 力<sup>1)</sup>, 久野 芳裕<sup>1)</sup>, 長島 隆一<sup>1)</sup>, 田中 和生<sup>1)</sup>, 伊與田雅之<sup>1)</sup>

1) 昭和大学医学部微生物学免疫学講座, 2) 順天堂大学スポーツ健康科学部健康学科

P5-19 Evaluation of the antibody induction for human norovirus capsid protein in the oral inoculation

経口摂取におけるノロウイルスカプシド蛋白質に対する抗体誘導の評価

佐賀由美子<sup>1)</sup>, 梶川 揚申<sup>2)</sup>, 木村 美幸<sup>3)</sup>, 五十嵐笑子<sup>1)</sup>, 稲崎 典子<sup>1)</sup>, 沖津 祥子<sup>4)</sup>, 牛島 廣治<sup>4)</sup>, 谷 英樹<sup>1)</sup>

1) 富山県衛生研究所ウイルス部, 2) 東京農業大学応用生物科学部, 3) 富山大学学術研究部医学系, 4) 日本大学医学部

Live discussion4 Day 1. November 16 [Tue] 15:00~15:30

## Coronavirus 3

P6-1 Longitudinal antibody and cytokine responses in association with age and severity in COVID-19 patients, Japan

Mizuki Fukuta<sup>1,2)</sup>, Norihiro Matsumoto<sup>1,2)</sup>, Daisuke Muraoka<sup>1)</sup>, Chris Fook Sheng Ng<sup>1)</sup>, Takahiro Takazono<sup>1,3)</sup>, Nobuyuki Ashizawa<sup>1,3)</sup>, Hiroto Yamanashi<sup>1,4)</sup>, Shingo Inoue<sup>1,2)</sup>, Koya Ariyoshi<sup>1,4)</sup>, Hiroshi Mukae<sup>1,5)</sup>, Koichi Izumikawa<sup>1,4)</sup>, Koichi Morita<sup>1,2)</sup>, Meng Ling Moi<sup>1,2)</sup>

1) Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University, Nagasaki, Japan, 2) WHO Collaborating Center for Reference and Research on Tropical and Emerging Virus Diseases, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, 3) Department of Respiratory Medicine, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan, Department of Infectious Diseases, 4) Department of Infectious Diseases, Nagasaki University Hospital, 5) Infection Control and Education Center, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan

- P6-2 SARS-CoV-2 Nucleocapsid Protein is a Substrate for ISGylation**  
 .....  
 Aulia Fitri Rhamadianti<sup>1</sup>, Takayuki Abe<sup>1</sup>, Chikako Ono<sup>2</sup>, Yoshiharu Matsuura<sup>2</sup>, Ikuo Shoji<sup>1</sup>  
 1) Division of Infectious Disease Control, Center for Infectious Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan., 2) Center for Infectious Diseases Education and Research (CiDER) Research Institute for Microbial Diseases (RIMD) Osaka University, Osaka, Japan
- P6-3 Functional analysis of polymeric monoclonal anti-SARS-CoV-2 IgA antibodies**  
 .....  
 Akira Ueno<sup>1,2</sup>, Kaori Sano<sup>1</sup>, Sho Miyamoto<sup>1</sup>, Shinji Saito<sup>1</sup>, Akira Ainai<sup>1</sup>, Saya Moriyama<sup>1</sup>, Shuetsu Fukushi<sup>1</sup>, Keisuke Tonouchi<sup>1,2</sup>, Takuya Hemmi<sup>1,3</sup>, Yoshimasa Takahashi<sup>1</sup>, Haruko Takeyama<sup>2</sup>, Tadaki Suzuki<sup>1</sup>  
 1) National Institute of Infectious Diseases, 2) Waseda University, 3) Tokyo university of Science  
 上野 朗<sup>1,2</sup>, 佐野 芳<sup>1</sup>, 宮本 翔<sup>1</sup>, 齊藤 慎二<sup>1</sup>, 相内 章<sup>1</sup>, 森山 彩野<sup>1</sup>, 福士 秀悦<sup>1</sup>, 登内 奎介<sup>1,2</sup>, 逸見 拓矢<sup>1,3</sup>, 高橋 宜聖<sup>1</sup>, 竹山 春子<sup>2</sup>, 鈴木 忠樹<sup>1</sup>  
 1) 国立感染症研究所, 2) 早稲田大学大学院, 3) 東京理科大学大学院
- P6-4 Analysis of immune response and vaccine efficacy induced by intranasal COVID-19 vaccine using recombinant SARS-CoV-2 spike protein as vaccine antigen**  
 .....  
 SARS-CoV-2 S組換えタンパクを抗原としたワクチンの経鼻接種によって誘導される免疫応答とワクチン効果の解析  
 逸見 拓矢<sup>1,2</sup>, 相内 章<sup>1</sup>, 橋口 隆生<sup>3</sup>, 飛梅 実<sup>1</sup>, 宮本 翔<sup>1</sup>, 菅野 隆之<sup>1</sup>, 上野 朗<sup>1,4</sup>, 佐野 芳<sup>1</sup>, 田村 浩二<sup>2</sup>, 鈴木 亮介<sup>2,5</sup>, 鈴木 忠樹<sup>1</sup>  
 1) 国立感染症研究所 感染病理部, 2) 東京理科大学 先進工学研究科 生命システム工学専攻, 3) 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 ウイルス制御分野, 4) 早稲田大学 先進理工学研究科 生命医科学専攻, 5) 国立感染症研究所 ウイルス第二部
- P6-5 Construction of a self-replicative RNA vaccine against SARS-CoV-2 using yellow fever virus replicon**  
 .....  
 黄熱ウイルスレプリコンを用いた自己複製可能なSARS-CoV-2 RNAワクチンの構築  
 中村 叡奈<sup>1</sup>, 小瀧 将裕<sup>2</sup>, 長井友理恵<sup>1</sup>, 亀岡 正典<sup>1</sup>  
 1) 神戸大学大学院保健学研究科, 2) 大阪大学微生物病研究所
- P6-6 Characterization of recombinant bovine torovirus with EGFP gene.**  
 .....  
 EGFP遺伝子を保持する組換え牛トロウイルスの特性とその遺伝子安定性に関する研究  
 浅原 愛里<sup>1</sup>, 漆山 尚也<sup>1</sup>, 江藤 由佳<sup>1</sup>, 田口 文広<sup>1</sup>, 神谷 亘<sup>2</sup>, 氏家 誠<sup>1</sup>  
 1) 日本獣医生命科学大学 獣医学部 獣医感染症学研究室, 2) 群馬大学 大学院医学系研究科 生体防衛学講座
- P6-7 Middle East Respiratory Syndrome coronavirus ORF4b protein inhibits type I IFN signaling pathway through inhibition of STAT1/2 phosphorylation**  
 .....  
 MERSコロナウイルスORF4b蛋白質によるI型IFN応答経路の阻害  
 北川 善紀<sup>1</sup>, 野中 梨聖<sup>2,1</sup>, 高澤 博人<sup>1</sup>, 伊藤 正恵<sup>2</sup>, 後藤 敏<sup>1</sup>  
 1) 滋賀医科大学, 2) 長浜バイオ大学
- P6-8 Molecular epidemiology of feline enteric coronavirus in stool specimen from asymptomatic cats in Japan**  
 .....  
 猫の正常便を対象とした猫腸コロナウイルスの分子疫学調査  
 熊野 一実, 中川 敬介, 福士 秀人  
 岐阜大学 応用生物科学部 獣医微生物学研究室

**P6-9 Identification of novel MERS coronavirus entry inhibitors using an interdisciplinary approach**

Jiei Sasaki<sup>1,3</sup>, Iori Okabe<sup>1</sup>, Katsumi Maenaka<sup>2</sup>, Yusuke Yanagi<sup>1</sup>, Takao Hashiguchi<sup>3</sup>

1) Kyushu University, 2) Hokkaido University, 3) Kyoto University

佐々木慈英<sup>1,3</sup>, 岡部 伊織<sup>1</sup>, 前仲 勝美<sup>2</sup>, 柳 雄介<sup>1</sup>, 橋口 隆生<sup>3</sup>

1) 九州大学, 2) 北海道大学, 3) 京都大学

**P6-10 Antiviral effect of favipiravir derivatives and flavonoids against human coronavirus**

ヒトコロナウイルスに対するファビピラビル誘導体とフラボノイドによる抗ウイルス効果

梅田 実希<sup>2</sup>, 酒井 隆季<sup>1</sup>, 南 有紗<sup>1</sup>, 南 志帆<sup>1</sup>, 鈴木史奈子<sup>1</sup>, 石田ゆかり<sup>1</sup>, 武本 眞清<sup>1</sup>, 大黒 徹<sup>1</sup>

1) 北陸大学薬学部, 2) 名古屋大学大学院 医学系研究科 ウイルス学

**P6-11 Genetic stability of Hemagglutinin-Esterase of recombinant bovine torovirus.**

組換え牛トロウイルスの血球凝集素 - エステラーゼ (HE) 遺伝子の安定性に関する研究

酒井 悠輔<sup>1</sup>, 荻原 里奈<sup>1</sup>, 漆山 尚也<sup>1</sup>, 江藤 由佳<sup>1</sup>, 田口 文広<sup>1</sup>, 神谷 亘<sup>2</sup>, 氏家 誠<sup>1</sup>

1) 日本獣医生命科学大学獣医学部 獣医感染症学研究室, 2) 群馬大学 大学院医学系研究科 生体防御学講座

**P6-12 Design of conditionally replicating coronavirus**

制限増殖型コロナウイルスの設計

後藤 史門<sup>1,2</sup>, 佐々木 瞳<sup>1,2</sup>, 神谷 亘<sup>3</sup>, 蝦名 博貴<sup>1,2</sup>

1) 大阪大学 先導的学際研究機構 BIKEN次世代ワクチン協働研究所 ウイルスワクチングループ, 2) 一般財団法人 阪大微生物病研究会, 3) 群馬大学 大学院医学系研究科 生体防御学分野

**P6-13 Development of a SARS-CoV-2 replicon using fosmid system**

Fosmidを用いたSARS-CoV-2レプリコンの構築

小瀧 将裕<sup>1,2</sup>, 高澤 駿太<sup>1</sup>, 亀岡 正典<sup>1</sup>

1) 神戸大学大学院 保健学研究科, 2) 大阪大学 微生物病研究所

**P6-14 A platform to prepare highly stable coronavirus S proteins for developing vaccines and antivirals**

Tateki Suzuki<sup>1</sup>, Yukihiko Sugita<sup>2,3</sup>, Takeshi Noda<sup>2,4</sup>, Takao Hashiguchi<sup>1</sup>

1) Laboratory of Medical Virology, Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University,

2) Laboratory of Ultrastructural Virology, Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University,

3) Hakubi Center for Advanced Research, Kyoto University, 4) Laboratory of Ultrastructural Virology, Graduate School of Biostudies, Kyoto University

鈴木 干城<sup>1</sup>, 杉田 征彦<sup>2,3</sup>, 野田 岳志<sup>2,4</sup>, 橋口 隆生<sup>1</sup>

1) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 ウイルス制御分野, 2) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 微細構造ウイルス学分野, 3) 京都大学白眉センター, 4) 京都大学大学院 生命科学系研究科 微細構造ウイルス学分野

**P6-15 Establishment of a lethal model using SARS-CoV-2 mouse passaged virus**

SARS-CoV-2マウス継代ウイルスによる致死モデルの確立

岩田(吉河)奈織子<sup>1</sup>, 志和 希<sup>1</sup>, 関塚 剛<sup>2</sup>, 佐野 芳<sup>1</sup>, 相内 章<sup>1</sup>, 逸見 拓矢<sup>1,3</sup>, 片岡 紀代<sup>1</sup>, 黒田 誠<sup>2</sup>, 長谷川秀樹<sup>4</sup>, 鈴木 忠樹<sup>1</sup>, 永田 典代<sup>1</sup>

1) 国立感染症研究所感染病理部, 2) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター, 3) 東京理科大学生物工学専攻, 4) 国立感染症研究所インフルエンザ・呼吸器ウイルス研究センター

- P6-16 Pathological study of the infection and replication sites of SARS-CoV-2 using an animal model**  
 .....  
**動物モデルを用いたSARS-CoV-2の感染および複製部位に関する病理学的研究**  
 志和 希, 岩田(吉河)奈織子, 片岡 紀代, 長谷川秀樹, 鈴木 忠樹, 永田 典代  
 国立感染症研究所
- P6-17 Elucidation of the pathophysiology of COVID-19 using liver chips**  
 .....  
**肝臓チップを用いた新型コロナウイルス感染症の病態解明**  
 出口 清香<sup>1)</sup>, 根来 亮介<sup>2)</sup>, 小杉 佳織<sup>1)</sup>, 山本 拓也<sup>1,3)</sup>, 野田 岳志<sup>4)</sup>, 鳥澤 勇介<sup>5)</sup>, 高山 和雄<sup>1)</sup>  
 1) 京都大学iPS細胞研究所, 2) 立命館大学薬学部, 3) 京都大学ヒト生物学高等研究拠点, 4) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所, 5) 京都大学大学院工学研究科
- P6-18 Analysis of intestinal epithelial cells differentiated from human induced pluripotent stem cells as a more suitable tool for the study of SARS-CoV-2**  
 .....  
**Shohei Minami, Naomi Matsumoto, Ryotaro Nouda, Jeffery Nurdin, Moeko Yamasaki, Tomohiro Kotaki, Yuta Kanai, Shintaro Sato, Takeshi Kobayashi**  
 Department of Virology, Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University  
 南 昌平, 松本 直実, 納田遼太郎, Nurdin Jeffery, 山崎 萌子, 小瀧 将裕, 金井 祐太, 佐藤慎太郎, 小林 剛  
 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野
- P6-19 Interaction between SARS-CoV-2 and host type II transmembrane serine proteases (TTSP)**  
 .....  
**SARS-CoV-2と宿主II型膜貫通型セリンプロテアーゼ(TTSP)の相互作用**  
 岸本 麻衣<sup>1)</sup>, 上村健太郎<sup>2,3)</sup>, 佐名木孝央<sup>2,3)</sup>, 佐藤 彰彦<sup>2,3)</sup>, 大場 靖子<sup>1)</sup>, 澤 洋文<sup>1)</sup>, 佐々木道仁<sup>1)</sup>  
 1) 北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所、分子病態・診断部門, 2) 塩野義製薬、創薬疾患研究所, 3) 北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所、シオノギ抗ウイルス薬研究部門
- P6-20 Cell-based high throughput membrane fusion assay for SARS-CoV-2 S protein**  
 .....  
**Mizuki Yamamoto<sup>1)</sup>, Jun-ichiro Inoue<sup>2)</sup>, Yasushi Kawaguchi<sup>1,3)</sup>, Jin Gohda<sup>1)</sup>**  
 1) Research Center for Asian Infectious Diseases, Institute of Medical Science, The University of Tokyo, 2) Senior Professor Office, The University of Tokyo, 3) Division of Molecular Virology, Department of Microbiology and Immunology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo  
 山本 瑞生<sup>1)</sup>, 井上純一郎<sup>2)</sup>, 川口 寧<sup>1,3)</sup>, 合田 仁<sup>1)</sup>  
 1) 東京大学医科学研究所アジア感染症研究拠点, 2) 東京大学特命教授室, 3) 東京大学医科学研究所ウイルス病態制御分野
- P6-21 Single nucleotide polymorphisms in human angiotensin-converting enzyme 2 receptor and cell susceptibility to SARS-CoV-2**  
 .....  
**Takanari Hattori, Takeshi Saito, Yoshihiro Takadate, Kosuke Okuya, Nodoka Kasajima, Akina Kajihara, Hiroko Miyamoto, Masahiro Kajihara, Ayato Takada**  
 Division of Global Epidemiology, International Institute for Zoonosis Control, Hokkaido University  
 服部 貴成, 斎藤 健, 高館 佳弘, 奥谷 公亮, 笠島 和, 梶原亜紀奈, 宮本 洋子, 梶原 将大, 高田 礼人  
 北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所 国際疫学部門

P6-22 Cohort study of SNP variants that determine the infection risk against SARS-CoV-2

濃厚接触者を対象にしたSARS-CoV-2の感染性を決定するSNP変異の探索

関屋 健史<sup>1)</sup>, 甲斐 平康<sup>1)</sup>, 山縣 邦弘<sup>1)</sup>, 広浜美香子<sup>1)</sup>, 大川 詩乃<sup>2)</sup>, 川口 敦史<sup>1)</sup>

1) 筑波大学 医学医療系, 2) 筑波大学 生物学類

P6-23 Application of allele specific primer for PCR to detect point mutation in SARS-CoV-2

SARS-CoV-2変異検出PCRにおけるallele specific primerの応用

斎藤 博之, 秋野和華子, 藤谷 陽子, 檜尾 拓子, 柴田ちひろ, 佐藤由衣子, 齊藤志保子

秋田県健康環境センター

P6-24 Molecular Epidemiology and Viral Genomic Characterization of SARS-CoV-2 Isolated from Nagoya Area, Japan

名古屋地域におけるSARS-CoV-2 ゲノム配列に基づく分子疫学的特徴に関する考察

大出 裕高<sup>1)</sup>, 中田 佳宏<sup>1,2)</sup>, 久保田 舞<sup>1)</sup>, 松岡 和弘<sup>1)</sup>, 松田 昌和<sup>1)</sup>, 中筋 美穂<sup>1)</sup>, 森 美喜子<sup>1,2)</sup>, 今橋 真弓<sup>1)</sup>, 横幕 能行<sup>1)</sup>, 岩谷 靖雅<sup>1,2)</sup>

1) 国立病院機構名古屋医療センター, 2) 名古屋大学大学院医学系研究科

P6-25 Characterization of neutralizing antibodies against SARS-CoV-2

SARS-CoV-2に対する中和抗体の作製とその作用機序の解明

安齋 樹<sup>1)</sup>, 小野 慎子<sup>2,3)</sup>, 小坂洋一郎<sup>4)</sup>, 宮本 由紀<sup>4)</sup>, 七戸新太郎<sup>1)</sup>, 高田 光輔<sup>1)</sup>, 梶田 忠宏<sup>4)</sup>, 松浦 善治<sup>2,3)</sup>, 渡辺登喜子<sup>1)</sup>

1) 大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス分野, 2) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス制御学グループ, 3) 大阪大学 感染症総合教育研究拠点, 4) 株式会社バイオマトリックス研究所 抗体グループ

P6-26 Construction of the screening system for development of anti-coronavirus drugs

抗コロナウイルス薬創製のためのスクリーニング系の構築

佐藤 彰彦<sup>1,2)</sup>, 上村健太郎<sup>1,2)</sup>, 鳥羽 晋輔<sup>1,2)</sup>, 丸山 優樹<sup>1,2)</sup>, 日下部伸治<sup>1,2)</sup>, 佐名木孝夫<sup>2)</sup>, 宍戸 貴雄<sup>2)</sup>, 佐々木道仁<sup>1)</sup>, 大場 靖子<sup>1)</sup>, 澤 洋文<sup>1,3)</sup>

1) 北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所, 2) 塩野義製薬 創薬疾患研究所, 3) 北海道大学 One Health Research Center

P6-27 Chemical genetics study for understanding sex differences in SARS-CoV-2 replication

SARS-CoV-2感染における性差の化学遺伝学的な解析

大川 詩乃<sup>1)</sup>, Aileen Mojica<sup>2)</sup>, 川口 敦史<sup>3)</sup>

1) 筑波大・生物学類, 2) 筑波大・大学院・フロンティア医科学, 3) 筑波大・医学医療系

P6-28 Measurement of antibody titer and adverse reactions after vaccination of COMIRNATY™ (mRNA COVID-19 vaccine)

コミナティ™ (新型コロナウイルスワクチン) 接種前後の抗体価測定と副反応についての検討

新家 葉子, 田中希宇人, 梅本真太郎, 由井 照絵, 山村 啓之, 大津 陽, 堀内 淳郎, 原田 尚子, 宮尾 直樹

日本鋼管病院

- P6-29 **Genome-signature changes associated with host adaptation of coronaviruses including SARS-CoV-2**  
 .....  
**コロナウイルスの宿主適応に関連した連続塩基組成の変化**  
 岩崎 裕貴<sup>1)</sup>, 阿部 貴志<sup>2)</sup>, 安藤 大喜<sup>1)</sup>, 池村 淑道<sup>1)</sup>  
 1) 長浜バイオ大学, 2) 新潟大学
- P6-30 **Prediction of a number of patients with COVID-19 by using deep learning algorithm**  
 .....  
**深層学習の手法を用いた新型コロナウイルス感染症の感染報告者数の予測**  
 吉田 和央  
 前国立国際医療研究センター
- P6-31 **Inactivation of SARS-CoV-2 by the dry fog of hypochlorous acid water and hydrogen peroxide solution**  
 .....  
**次亜塩素酸水溶液および過酸化水素水のドライフォグ噴霧によるSARS-CoV-2不活性化**  
 亀岡 正典<sup>1)</sup>, 漆谷 雅弘<sup>2)</sup>, 川吉 明<sup>2)</sup>, 小瀧 将裕<sup>1)</sup>, 佐伯 圭一<sup>3)</sup>, 森 康子<sup>4)</sup>  
 1) 神戸大学大学院保健学研究科, 2) いけうち株式会社, 3) 神戸大学大学院農学研究科, 4) 神戸大学大学院医学研究科
- P6-32 **The potential of COVID-19 patients' sera to cause antibody-dependent enhancement of infection and IL-6 production**  
 .....  
**iPS細胞由来ミエロイド系細胞株を用いたCOVID-19回復患者血清における抗体依存性感染増強活性およびIL-6産生増強活性の検出**  
 清水 淳<sup>1)</sup>, 佐々木正大<sup>2)</sup>, 山中 敦史<sup>3)</sup>, 市原 葉子<sup>1)</sup>, 瀨瀬 律子<sup>2)</sup>, 實宗 由浩<sup>2)</sup>, クルスペドロ<sup>1)</sup>, 佐藤 圭<sup>1)</sup>, 丹賀 直美<sup>1)</sup>, 吉村 結花<sup>1)</sup>, 村上 愛海<sup>1)</sup>, 山田 美鈴<sup>1)</sup>, 糸井 清恵<sup>1)</sup>, 中山 英美<sup>2)</sup>, 宮崎 和雄<sup>1)</sup>, 塩田 達雄<sup>2)</sup>  
 1) マイキャン・テクノロジーズ(株), 2) 大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野, 3) MOCID (Mahidol-Osaka Center for Infectious Diseases), Mahidol University, Thailand.

Live discussion3 Day 1. November 16 [Tue] 13:30~14:00

## Retrovirus 2

- P7-1 **High frequency of mixed infection with different coreceptor usage in CRF01\_AE-HIV-1-infected intravenous drug users in northern Vietnam**  
 .....  
 Yosuke Maeda<sup>1)</sup>, Takayuki Chikata<sup>2)</sup>, Taichiro Takemura<sup>3)</sup>, Hiromi Terasawa<sup>1)</sup>, Tetsu Matsufuji<sup>1)</sup>, Nozomi Kuse<sup>2)</sup>, Kazuaki Monde<sup>1)</sup>, Tomohiro Sawa<sup>1)</sup>, Futoshi Hasebe<sup>3)</sup>, Masafumi Takiguchi<sup>2)</sup>  
 1) Faculty of Life Sciences, Kumamoto University, 2) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, 3) Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University  
 前田 洋助<sup>1)</sup>, 近田 貴敬<sup>2)</sup>, 竹村太地郎<sup>3)</sup>, 寺沢 広美<sup>1)</sup>, 松藤 哲<sup>1)</sup>, 久世 望<sup>2)</sup>, 門出 和精<sup>1)</sup>, 澤 智裕<sup>1)</sup>, 長谷部 太<sup>3)</sup>, 滝口 雅文<sup>2)</sup>  
 1) 熊本大学大学院生命科学研究部, 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同センター, 3) 長崎大学熱帯医学研究所
- P7-2 **Recruitment of Viral RNA into Lentivirus Particles is Facilitated by Gag Ubiquitination**  
 .....  
**レンチウイルス粒子へのウイルスRNAの動員はGagのユビキチン化によって促進される**  
 氷見 雄哉, 柿原 慧遵, 加藤 明, 駒田 雅之, 福嶋 俊明  
 東京工業大学

- P7-3 **Analysis of Interleukin-6 kinetics in SIV infected simianized mice**  
.....  
**SIV感染サル化マウスにおけるIL-6動態の解析**  
西本佳那子<sup>1)</sup>, 三浦 弓月<sup>1)</sup>, 阪脇 廣美<sup>2)</sup>, 三浦 智行<sup>2)</sup>, 伊吹謙太郎<sup>1)</sup>  
1) 京都大学 大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻, 2) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 感染症モデル研究センター
- P7-4 **Evaluation of cellular functions affected by the long non-coding RNA encoded by bovine leukemia virus**  
.....  
Kiyohiko Andoh, Asami Nishimori, Yuichi Matsuura  
National Institute of Animal Health, NARO  
安藤 清彦, 西森 朝美, 松浦 裕一  
農研機構 動物衛生研究部門
- P7-5 **Analysis of cis-elements involved in the promotion of polysome formation of full-length mRNA of murine leukemia virus**  
.....  
**マウス白血病ウイルス全長mRNAのポリソーム形成促進に寄与するシスエレメントの解析**  
是枝 良<sup>1)</sup>, 鳥井 幸恵<sup>1)</sup>, 高瀬 明<sup>1,2)</sup>  
1) 創価大学 大学院理工学研究科 生命理学専攻, 2) 創価大学 糖鎖生命システム融合研究所
- P7-6 **Investigation of a long non-coding RNA, whose expression is specifically regulated by HTLV-1 infection**  
.....  
**HTLV-1感染特異的に発現制御される長鎖ノンコーディングRNAの解析**  
和田 雄治<sup>1)</sup>, 内藤 忠相<sup>1)</sup>, 田中 勇悦<sup>2)</sup>, 齊藤 峰輝<sup>1)</sup>  
1) 川崎医科大学微生物学, 2) 琉球大学医学部保健学科 病態検査学講座 血液免疫検査学分野
- P7-7 **Infectivity of paralysis-induced murine retrovirus to brain vascular pericytes**  
.....  
**麻痺誘発性マウスレトロウイルスの脳血管ペリサイトへの感染性について**  
大上 厚志<sup>1)</sup>, 増田 道明<sup>2)</sup>  
1) 群馬大学大学院医学系研究科附属生物資源センター, 2) 獨協医科大学医学部微生物学講座
- P7-8 **Oncogenic transformation of cells by enzootic nasal tumor virus type 2 envelope protein**  
.....  
Naoyoshi Maeda<sup>1)</sup>, Yasuo Inoshima<sup>2)</sup>, Katsumi Maenaka<sup>1,3)</sup>  
1) Center for Research and Education on Drug Discovery, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Hokkaido University, 2) Laboratory of Food and Environmental Hygiene, Cooperative Department of Veterinary Medicine, Gifu University, 3) Laboratory of Biomolecular Science, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Hokkaido University  
前田 直良<sup>1)</sup>, 猪島 康雄<sup>2)</sup>, 前仲 勝実<sup>1,3)</sup>  
1) 北海道大学 大学院薬学研究院 創薬科学研究教育センター バイオ医薬学部門, 2) 岐阜大学 応用生物科学部 共同獣医学科 食品環境衛生学研究室, 3) 北海道大学 大学院薬学研究院 生体分子機能学研究室

## Others

- P8-1 Development of an insect virus-based temperature-sensitive replicon system**  
 Paola Miyazato<sup>1,2)</sup>, Takafumi Noguchi<sup>1,2)</sup>, Mitsuyo Kosaka<sup>1,2)</sup>, Hidehiko Suzuki<sup>1,2)</sup>, Sayuri Komatsu<sup>1,2)</sup>, Hirotaka Ebina<sup>1,2)</sup>  
 1) Virus vaccine group, BIKEN Innovative Vaccine Research Alliance Laboratories, Institute for Open and Transdisciplinary Research Initiatives, Osaka University, 2) The Research Foundation for Microbial Diseases of Osaka University  
 宮里パオラ<sup>1,2)</sup>, 野口 貴史<sup>1,2)</sup>, 高坂 光代<sup>1,2)</sup>, 鈴木 英彦<sup>1,2)</sup>, 小松さゆり<sup>1,2)</sup>, 蝦名 博貴<sup>1,2)</sup>  
 1) 大阪大学先導的学際研究機構BIKEN次世代ワクチン協働研究所ウイルスワクチングループ, 2) 一般財団法人阪大微生物病研究会
- P8-2 Reactive analyses of anti-mosquito-specific flavivirus antibodies against vertebrate-infecting flaviviruses.**  
 蚊特異的フラビウイルス抗体の脊椎動物感染性フラビウイルスへの反応性解析  
 田畑耕史郎<sup>1)</sup>, 板倉友香里<sup>1)</sup>, 岸本 麻衣<sup>1)</sup>, 佐々木道仁<sup>1)</sup>, 澤 洋文<sup>1,2)</sup>, 大場 靖子<sup>1)</sup>  
 1) 北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所, 2) 北海道大学 One Health Research Center
- P8-3 Hidden viral sequences in public sequencing data and warning for future emerging diseases**  
 Junna Kawasaki<sup>1,2)</sup>, Shohei Kojima<sup>1)</sup>, Keizo Tomonaga<sup>1,2,3)</sup>, Masayuki Horie<sup>1,4,5)</sup>  
 1) Laboratory of RNA Viruses, Department of Virus Research, Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University, 2) Laboratory of RNA Viruses, Department of Mammalian Regulatory Network, Graduate School of Biostudies, Kyoto University, 3) Department of Molecular Virology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, 4) Hakubi Center for Advanced Research, Kyoto University, 5) Division of Veterinary Sciences, Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University  
 川崎 純菜<sup>1,2)</sup>, 小嶋 将平<sup>1)</sup>, 朝長 啓造<sup>1,2,3)</sup>, 堀江 真行<sup>1,4,5)</sup>  
 1) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所RNAウイルス分野, 2) 京都大学大学院生命科学研究科生体動態制御学分野, 3) 京都大学大学院医学研究科分子ウイルス学分野, 4) 京都大学白眉センター, 5) 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻獣医微生物学教室

## 協賛企業・団体一覧／Sponsorship

(2021年10月20日現在／As of October 20, 2021 五十音順)

### 展示

---

株式会社イナリサーチ  
株式会社エトスコレーション  
MDPI Japan G.K.  
ジェンスクリプトジャパン株式会社  
シスメックス株式会社  
株式会社セルフリースサイエンス  
株式会社バイロクエスト  
株式会社For Realize

### 広告

---

関東化学株式会社  
協和キリン株式会社  
ギリアド・サイエンシズ株式会社  
塩野義製薬株式会社  
株式会社東海電子顕微鏡解析  
一般財団法人 阪大微生物病研究会  
PHC株式会社バイオメディカ事業部  
株式会社堀場製作所  
ヤンセンファーマ株式会社  
和研薬株式会社

### 寄付

---

アッヴィ合同会社  
千寿製薬株式会社  
ナカライテスク株式会社  
一般財団法人 阪大微生物病研究会  
広瀬化学薬品株式会社

### 助成金

---

公益財団法人中内力コンベンション振興財団  
公益財団法人内藤記念科学振興財団  
神戸コンベンションビューロー（一般財団法人 神戸観光局）

## 日本製薬団体連合会

---

旭化成ファーマ株式会社	中外製薬株式会社
あすか製薬株式会社	株式会社ツムラ
アステラス製薬株式会社	帝人ファーマ株式会社
アストラゼネカ株式会社	テルモ株式会社
アルフレッサ ファーマ株式会社	トーアエイヨー株式会社
栄研化学株式会社	東和薬品株式会社
エーザイ株式会社	鳥居薬品株式会社
大塚製薬株式会社	日本化薬株式会社
株式会社大塚製薬工業	日本ケミファ株式会社
小野薬品工業株式会社	日本新薬株式会社
科研製薬株式会社	日本製薬株式会社
キッセイ薬品工業株式会社	日本臓器製薬株式会社
杏林製薬株式会社	日本たばこ産業株式会社
協和キリン株式会社	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
クラシエ製薬株式会社	ニプロファーマ株式会社
佐藤製薬株式会社	バイエル薬品株式会社
沢井製薬株式会社	扶桑薬品工業株式会社
参天製薬株式会社	ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
株式会社三和化学研究所	丸石製薬株式会社
塩野義製薬株式会社	マルホ株式会社
ゼリア新薬工業株式会社	株式会社ミノファージェン製薬
第一三共株式会社	Meiji Seika ファルマ株式会社
大正製薬株式会社	持田製薬株式会社
大日本住友製薬株式会社	株式会社ヤクルト本社
大鵬薬品工業株式会社	ロート製薬株式会社
武田薬品工業株式会社	わかもと製薬株式会社
田辺三菱製薬株式会社	

# ウイルス関連試薬 お探しですか？

関東化学では、ウイルス検査法の開発や研究に有用な抗ウイルスモノクローナル抗体の開発・製造およびウイルス遺伝子検出用PCRキットの販売を行っております。ウイルス関連試薬をお探しの際は、関東化学までお問い合わせください。

## 抗ウイルス抗体 取扱品目

- 抗新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）抗体
- 抗HBc抗体
- 抗HBx抗体
- 抗NTCP抗体
- 抗TSPyV-VP1抗体 など

\* 本製品群は、横浜市立大学大学院医学群微生物学教授 梁 明秀 先生との共同開発によって開発されました。



## 遺伝子検出 リアルタイムPCR試薬 PowerChek™ シリーズ

- 呼吸器系関連ウイルス遺伝子  
（新型コロナウイルス、新型コロナウイルスS遺伝子変異検出など）
- インフルエンザウイルス遺伝子
- 腸管系ウイルス遺伝子
- 熱帯病ウイルス
- ダニ媒介感染症原因菌遺伝子 など

\* PowerChek™ はKogene Biotech社の商標です。



## 前処理用 シカジーニアス® 核酸精製キット

- シカジーニアス® DNA/RNAプレップキット(ウイルス用)

関東化学は「総合試薬メーカー」として、さまざまな分野の研究開発に貢献すべく、お客様のニーズにお応えする高品質な製品を提供しております。製品については、弊社製品情報検索サイト『Cica-Web』にてお調べ頂けます。

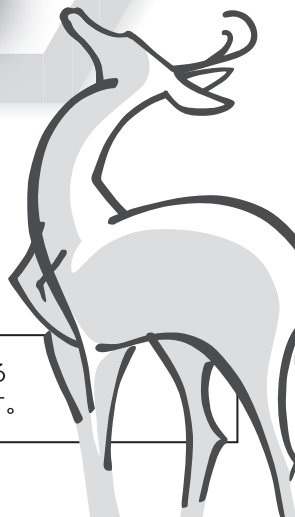


関東化学株式会社

試薬事業本部

《<http://www.kanto.co.jp>》

103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号 (03)6214-1090





## LN<sub>2</sub>回生式 低温試料保存容器

### MVE Fusion 1500TM

#### 特徴

- ①液体窒素の再充填不要★<sup>1</sup>
- ②100V電源で-150℃以下を実現
- ③電源喪失後、7日間-150℃以下を実現
- ④配管不要で設置場所を選ばない

★<sup>1</sup>初回のみ約50リットルの充填必要 (別途見積)

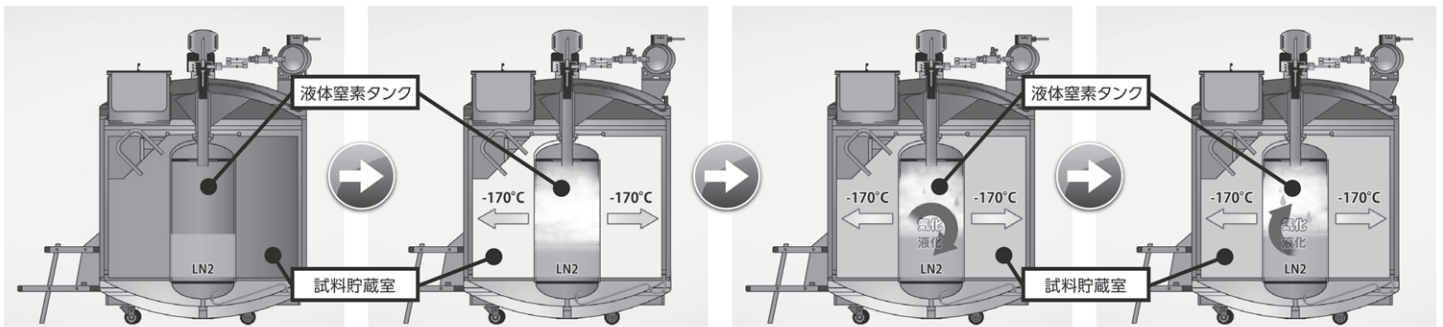
377 kg

\*液体窒素充填後重量  
(ラック重量除く)



※設置環境：室温18℃～27℃、湿度50%以下推奨

#### LN<sub>2</sub>回生メカニズム



①液体窒素を『液体窒素本体タンク』内に約50リットル投入

※液体窒素は搬入・設置後投入致します。  
(\*別途見積)

②『液体窒素本体タンク』内の液体窒素が気化し、試料貯蔵室の温度が冷やされる

※液体窒素と試料貯蔵室が『液体窒素本体タンク』で隔離されている為、液体窒素由来のコンタミなし

③MVE Fusion 1500TM 上部のクライオクーラーで気化した液体窒素を冷却し再液化します

★<sup>2</sup>クライオクーラー部は裏面参照

④②～③を繰り返す

ラックの種類	数量	1.2ml又は2ml バイアル収納本数
ラック (100本立てBOX:13段仕様)	20 個	26,000 本
ラック (25本立てBOX:13段仕様)	16 個	5,200 本
合計	36 個	31,200 本

※ラックにBOXは含んでおりません

\*MVE Fusion 1500TMは「高圧ガス二種製造設備」となりますので、設置前には各地域行政への届け出が必要です。また、警戒表の掲示と年1回の保安教育の実施が必要です。安全にお使い頂くため、年1回程度の定期点検をお勧めいたします。  
\*液体窒素の取り扱いに関しては十分注意してください。液体窒素はその量が微量でも、大量の気化した窒素が発生するという点で更に危険です。従って、補充用・保存用の容器を保存または設置する場所は、常に十分な換気をする必要があります。液体窒素を運搬する際には、偶発的に液体窒素あるいは低温の窒素蒸気に顔や皮膚が接しないように、あらゆる措置を講じなければなりません。また、安全のために液体窒素容器を使用する場所や部屋には警報機能付き酸素濃度モニターを必ず設置してください。また、以下の様な推奨されている超低温液体窒素用保護服を着用してください。

●クライオグローブ・フェイスシールド (フルフェイス)・クライオエプロン・長袖上着と長スボン (皮膚の露出不可)・保護性能がある 靴類

●当社では製品の内容物の保証は出来ませんので予めご了承ください。

●掲載商品の価格には、消費税・地方消費税・配送料・設置料・関連工事費などは含まれておりません。

製造元：MVE Biological Solutions (米国)

輸入発売元：株式会社巴商会

#### お問い合わせは

PHC株式会社  
バイオメディカ事業部  
〒105-8433  
東京都港区西新橋2丁目38番5号

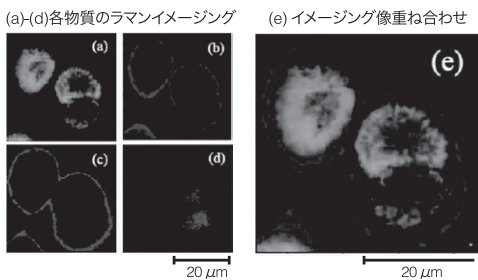
北海道営業所 TEL 011-817-7151 FAX 011-817-167  
東北営業所 TEL 022-266-2131 FAX 022-215-5582  
東京営業所 TEL 03-5408-7277 FAX 03-5408-0873  
南関東営業所 TEL 045-978-5134 FAX 045-978-5150

中部営業所 TEL 052-211-8880 FAX 052-211-8882  
近畿営業所 TEL 06-6136-1415 FAX 06-6136-1449  
中国営業所 TEL 082-247-7532 FAX 082-240-2701  
九州営業所 TEL 092-292-7719 FAX 092-291-5353

## ウイルス研究に「光」を使った 分析・イメージング技術によるソリューションを提案

### 非染色・非破壊・非接触 ラマン分光による細胞イメージング

#### ■ ラマン分光による細胞イメージング



試料：HeLa細胞

#### 細胞内物質由来ラマンスペクトルによる細胞イメージングが可能

ラマンスペクトルは分子の構造情報を反映しており、それらを利用して、細胞質 (a,b)、細胞膜 (c)、核 (d) のイメージングが可能です。

ラマン分光分析なら、電子顕微鏡での分析手法に必要な固定も不要で、生きた細胞も観察可能です。



#### 倒立型共焦点ラマン顕微鏡 XploRA INV

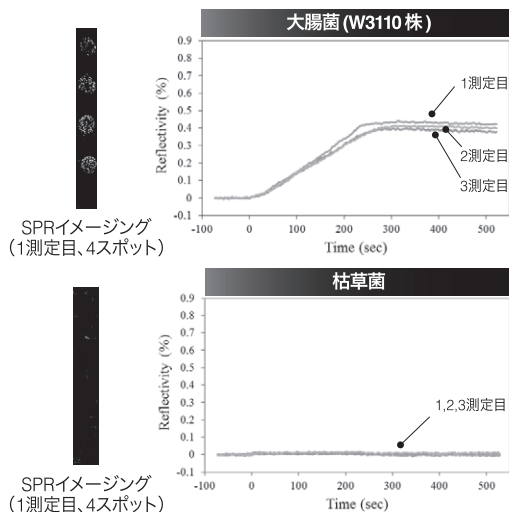
生体試料測定用の倒立型顕微鏡ラマン  
蛍光観察やインキュベーションセルを  
搭載可能



製品についての  
詳細はこちら

### 表面プラズモン共鳴イメージング (SPR イメージング) 法による分子間相互作用解析

#### ■ λファージと大腸菌の相互作用解析



#### ウイルス-宿主相互作用解析で基礎研究や活性評価に貢献

大腸菌の表面に存在する蛋白質 LamB に特異的に結合するλファージをリガンドとして大腸菌との相互作用を測定しました。大腸菌で相互作用を検出、陰性対象である枯草菌では検出されなかったことから、菌体特異的な相互作用が確認でき、また、その相互作用は、SPR イメージでも確認できました。



#### ラベルフリー 生体分子間相互作用解析装置 OpenPlex

細胞、タンパク質、ペプチド、核酸などの  
生体試料から薬物などの低分子化  
合物まで、あらゆる分子間相互作用を  
ラベルフリーで解析可能



製品についての  
詳細はこちら

#### 蛍光吸光分光装置

蛍光と吸光を同時に測定可能  
100 ミリ秒以下の時間間隔での  
高速スペクトル測定を実現



Duetta

#### パーティクルトラッキング装置

3 波長光源とカラー CCD を搭載し、  
ワイドレンジかつ高い分解能での  
粒子径測定が可能



ViewSizer3000

#### 水質分析装置

ラボからフィールドまで、  
多彩な水質分析ニーズに



LAQUA シリーズ



抗ウイルス剤  
**ハーボニー 配合錠**  
 HARVONI® Combination Tablets  
 (レジバスピル/ソホスビル配合錠)  
処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

抗ウイルス剤  
**エプクルーサ 配合錠**  
 EPCLUSA® Combination Tablets  
 (ソホスビル/ペルバタスピル配合剤)  
処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

抗ウイルス化学療法剤  
**ベムリディ錠25mg**  
 VEMLIDY® Tablets (テノホビルアラフェナミド fumarate)  
処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元

**ギリアド・サイエンシズ株式会社**

〒100-6616 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 16階

<http://www.gilead.co.jp/>

資料請求先

**メディカルサポートセンター**

フリーダイヤル: 0120-506-295 9:00-17:30 (土日祝日及び会社休日を除く)

EPC19SW0055AD

2019年1月作成



**命を明日につなぐ。希望は世界中にある。**

課題と国境を越えて、人々の明日をひらく製薬会社、ヤンセンファーマ。

世界のすべてが、私たちの研究室。

病と懸命に闘う患者さんのために、高い科学技術、独創的な知性、世界中の力を合わせ、新しい可能性を切り拓く。

すべては、私たちの解決策を待つ、ひとつの命のために。複雑な課題にこそ挑んでいく。新しい薬を創るだけでなく、それを最適な方法で提供する。

革新的な薬や治療法を、届ける。世界中に、私たちを待つ人がいる限り。

誰もが健やかに、いきいきと暮らす社会。

そんな「当たり前」の願いのために、自ら変化し、努力を続けます。

ヤンセンファーマ株式会社

[www.janssen.com/japan](http://www.janssen.com/japan)

[www.facebook.com/JanssenJapan](https://www.facebook.com/JanssenJapan)

**Janssen**  
 PHARMACEUTICAL COMPANIES OF  
 Johnson & Johnson



# シオノギ製薬の 感染症領域におけるCSR\*推進活動

シオノギ製薬は「感染症の脅威からの解放」を取り組むべき社会課題の一つとし、感染症薬の研究・開発・適正使用の推進に努めています。

2018年4月に、CSR推進部 適正使用推進室を新設し、感染症に関する様々な問題に挑み、皆さま方の感染症対策に少しでも貢献できるように積極的に取り組んでいます。

\* Corporate Social Responsibility (CSR) 企業の社会的責任 (社会・環境・経済等に対する企業の責任)



## 高齢者感染症ナビ



感染症に関する様々な情報を  
分かりやすくまとめました。  
高齢者の健康づくりに、  
皆さままでお役立てください。

高齢者感染症ナビ

トップページ こんな症状ありませんか? 知っておきたい! 高齢者の感染症 予防しましょう! 高齢者の感染症

かかりやすい感染症は?  
感染症にかからないようにするには?  
介助者ができる予防対策は?

こんな症状ありませんか?  
知っておきたい! 高齢者の感染症  
予防しましょう! 高齢者の感染症

[https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/informations-for-id/senior\\_navi.html](https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/informations-for-id/senior_navi.html)

## 女性感染症ナビ



女性に特有の感染症って?  
気になる体の悩みや  
不安の解消に  
お役立ていただけます。

あなたの年代でかかりやすい女性の疾患・感染症を知っておきましょう

女性のライフステージと多い疾患・感染症

多  
少

0歳 10歳 20歳 30歳 40歳 50歳 60歳 70歳 80歳

月経異常 子宮頸がん  
子宮内腫瘍・子宮筋腫 乳がん  
子宮体がん  
更年期障害 骨粗鬆症  
母子感染症 尿路感染症  
女性の臓器・部位の感染症  
性感染症 帯状疱疹

この年の感染症の情報は「子ども感染症ナビ」(シオノギ製薬)

帯状(びょうちゅう)疱疹は小児に発生し、女性に発生した場合に、感染になることもあります。

[https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/informations-for-id/female\\_navi.html](https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/informations-for-id/female_navi.html)



## 子ども感染症ナビ

[https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/informations-for-id/infection\\_navi.html](https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/informations-for-id/infection_navi.html)



## マَسギャザリング感染症ナビ

[https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/informations-for-id/msg\\_navi.html](https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/informations-for-id/msg_navi.html)



## 保育所における感染症対策ガイドライン

(2018年改訂版)を活用するために

<https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/informations-for-id/nursery.html>



BIKEN



## 乾燥弱毒生水痘ワクチン


薬価基準未収載

生物由来製品 | 劇薬 | 処方箋医薬品（注意一医師等の処方箋により使用すること）

# 乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」

効能・効果、用法・用量、接種不相当者を含む接種上の注意等については、添付文書をご参照ください。

ウイルスワクチン類 生物学的製剤基準

 製造販売元  
一般財団法人 阪大微生物病研究会  
香川県観音寺市瀬戸町四丁目1番70号

2020年12月作成